

# 新宿区第二次実行計画策定に向けた 区民討議会実施報告書



開催日時：平成23年10月22(土)・23日(日)  
午前10時～午後5時(両日)

平成23年12月

新宿区

---

## はじめに

区では、基本構想に掲げる「新宿力で創造する、やすらぎとにぎわいのまち」の実現を目指して、平成24年度から平成27年度までに優先的計画的に取り組む事業をまとめた第2次実行計画の策定を進めています。実行計画の策定にあたり、普段あまり区政に参画する機会のない区民の方の声も、できるだけ取り入れていきたいとの思いから、区民討議会を実施することといたしました。実施にあたっては、事業ごとに討議した内容を班別に発表するということに加え、事業の評価と判定も行う、いわゆる事業仕分けの手法を活用した区民討議会とすることとしました。これは、おそらく全国的にも初めての試みだと思います。

この初めての試みに挑戦するにあたり、学識経験者と区の職員で構成する区民討議会準備会を設置し、討議対象事業の選定、わかりやすい情報提供のあり方など、参加者が討議しやすい環境を整えるよう準備を重ねました。初めての試みであっただけに、さらに工夫すべき点もいくつかありましたが、全体としては、非常に有意義な区民討議会になったと思います。

討議会の場で初めて出会った、20代から80代までの幅広い世代の方々が、お互いの話を真剣に聞き、目を輝かせながら議論している姿は、まさしく新宿の自治の力である新宿力を感じさせるものでした。

この報告書は、こうした2日間にわたる討議結果をまとめたものです。ここでいただいたご意見は、パブリック・コメントや地域説明会でいただいたご意見と合わせて、総合的に判断し、多様な区民による透明性の高い計画づくりとしていきます。

今回、2日間にわたり熱心に討議していただいた参加者の皆様に、改めてお礼を申し上げます。

今後とも、生活者であり、自治の主役である区民の皆様の声を大事にしながら、区政を進めてまいります。区民の皆様におかれましても様々な機会を通じて、なお一層区政に対し、ご意見をお寄せくださいますようお願いいたします。



新宿区長 中山 弘子

# 目次

## 本編

はじめに

1 新宿区第二次実行計画の基本的考え方	2
2 第二次実行計画策定に向けた区民討議会について	4
3 区民討議会準備会の活動	5
4 区民討議会の実施概要	7
5 区民討議会の進め方	8
6 区民討議会プログラム	10
7 討議対象事業の主な意見と評価・判定結果	12

あとがき

## 資料編

資料1 討議対象事業とグループ・班別討議結果	58
資料2 参加者の属性	111
資料3 参加者名簿	114
資料4 参加者アンケート結果	115
資料5 参加希望者アンケート結果	119
資料6 不参加者アンケート結果	123
資料7 区民討議会準備会委員名簿	128

# 1

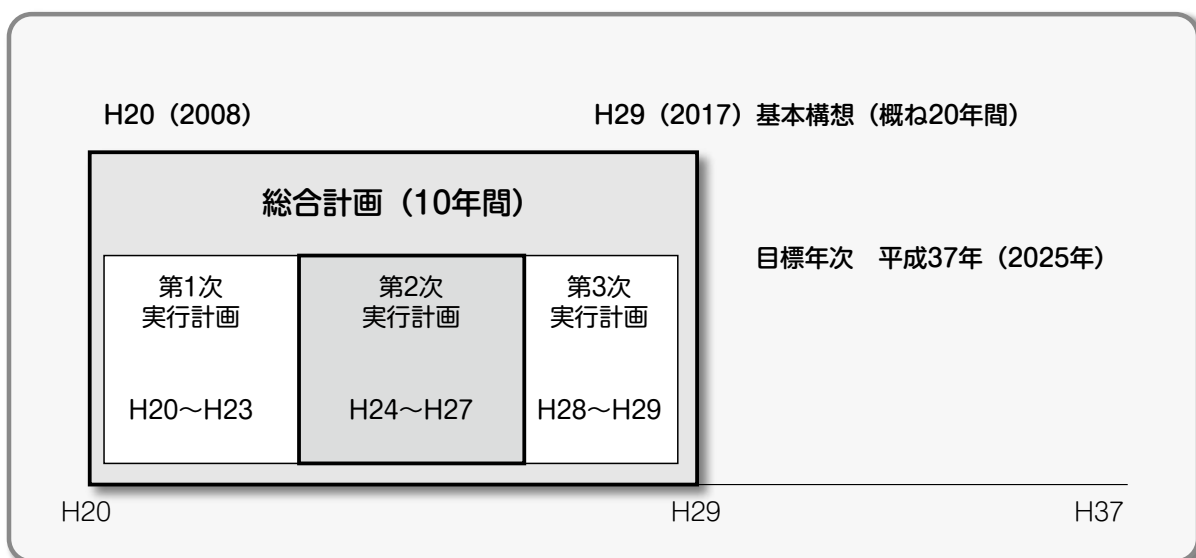
## 新宿区第二次実行計画の基本的考え方

### (1) 計画の目的・性格

この実行計画は、新宿区基本構想に定めためざすまちの姿「『新宿力』で創造する、やすらぎとにぎわいのまち」の実現をめざし、新宿区総合計画に示した施策を具体の事業として計画的に実施していくために策定する行財政計画であり、区政運営の具体的指針となるものです。

### (2) 計画の期間

第二次実行計画の計画期間は、平成24（2012）年度から平成27（2015）年度までの4か年です。



### (3) 計画の構成

計画は、総合計画の構成を受け、「まちづくり編」と「区政運営編」の二編で構成します。

「まちづくり編」では、まちづくりに係る事業を示し、「区政運営編」では、まちづくり事業を推進し、下支えする事業を示します。

なお、計画には、財源の裏づけをもって計画的・優先的に実施する「計画事業」と経常的に実施する「経常事業」を示します。このことにより、区が実施する施策や事業の全体像を明らかにします。

#### (4) 計画策定の基本的考え方

厳しい財政環境の中、基本構想や総合計画で示した方針を実現するためには、限られた資源の有効活用と重点的・効果的な財源配分を徹底し、区民に最も身近な基礎自治体として、区民の目線で、区民が真に必要とするサービスを効果的・効率的に提供していかなければなりません。また、現場現実を重視した柔軟で総合性の高い区政、公正で透明性の高い区政、多くの区民との協働と参画による区政を実現していくことが必要です。

第二次実行計画は、こうした視点を踏まえ、下記の考えに基づき策定することとしました。

- (1) 第二次実行計画は、行政評価の結果を十分踏まえるとともに、多様な区民の声を取り入れた計画とします。
- (2) 社会状況の変化に伴う新たな行政需要や区民生活が直面する課題等に的確に対応した計画とします。
- (3) 限られた財源を重点的・効果的に配分した計画とし、施策や事業の「選択と集中」を図るものとします。

## 2 第二次実行計画策定に向けた区民討議会について

### ◆無作為抽出された区民による討議会

新宿区では、基本構想に定めた「めざすまちの姿」を実現するため、平成24年度から27年度までに区が計画的・優先的に推進していく事業を取りまとめた「第二次実行計画」を策定します。

第二次実行計画の策定では、より多くの区民の意見を聴き、透明性の高い計画とするため、これまで区が行ってきた地域説明会やパブリック・コメントなどに加えて、区民から選出された参加者による「区民討議会」を開催することにしました。

区民討議会と名づけられたこの会議は、区民から「無作為抽出」で参加者を募ることにより、区政に対して発言する機会の少ない区民の方々が、世代や職業を越えて集い、まちづくりについて話し合い、その声を行政に届け、区民が直接参加・参画するきっかけを作る新しい仕組みです。

ドイツで行われている「プラーヌクスツェレ」という市民参加方式がモデルになっています。新宿区では、昨年の自治基本条例素案の取りまとめにあたり区民討議会を開催しましたので、今回が2度目の実施になります。

### ◆55名の参加者が3つのグループに分かれ討議

無作為に抽出した18歳以上1,200人の区民のうち、参加申込みのあった94名の応募者から抽選で60名（ただし、討議会当日の参加者は55名）が選出され、10月22日、23日の2日間にわたって討議を行いました。

討議会は、55名の参加者をA、B、C3つのグループに分け、各グループごとに討議対象テーマを設定しました。各グループは、1班を4～5名とする4つの班に構成し、班単位で同じテーマの討議を行い、1つのテーマが変わるたびに班のメンバーを入れ替えて討議を進めました。

### ◆準備会の設置

区民討議会の実施にあたり、討議会のテーマや、その運営方法、プログラムの構成、情報提供の方針、報告書の作成方法などについて検討するため、学識経験者3名と区職員3名の計6名（資料編「準備会委員名簿」参照）による区民討議会準備会を設置しました。

## 3 区民討議会準備会の活動

区民討議会準備会は8月から11月までの期間に5回開催しました。各準備会の議事概要は区のホームページで公表しています。

### 区民討議会準備会開催状況

#### ●第1回準備会

**開催日時** 平成23年8月4日（月）午後3時30分～5時30分

**会場** 新宿区役所本庁舎6階会議室

#### 議事概要

1. 準備会の運営方法について検討、決定
  - ・ 準備会の会議、議事録の公開について検討、決定
  - ・ 準備会委員有志による作業チームの設置
2. 準備会（5回開催）各回の主な審議項目と日程の確認
3. 参加者依頼について
  - ・ 参加者依頼状の発送時期の確認
  - ・ 参加者依頼状の文案作成、作業工程など検討
  - ・ QRコードについて

#### ●第2回準備会

**開催日時** 平成23年9月1日（月）午後3時～5時30分

**会場** 新宿区役所本庁舎6階会議室

#### 議事概要

1. 事務局より、参加者依頼等の経過報告
2. 討議対象事業の選定基準の検討・決定
  - ・ 選定基準の基本的な考え方
  - ・ 討議対象事業の選定
3. 区民討議会の進行方法の検討
  - ・ グループ構成
  - ・ 討議の方法
  - ・ 投票の方法
  - ・ プログラムの構成

## ●第3回準備会

**開催日時** 平成23年9月30日（金）午後3時～5時

**会場** 新宿区役所本庁舎6階会議室

**議事概要**

1. 事務局より、公開抽選会などの経過報告
2. 討議対象事業の選定（確認）
  - ・実施日別、分野別に討議対象事業の報告・確認
3. 区民討議会の進行方法の検討
  - ・情報提供の方法
  - ・討議および投票の方法
4. 討議会プログラムの検討
  - ・グループ別コマごとの時間配分

## ●第4回準備会

**開催日時** 平成23年10月7日（木）午後3時～5時

**会場** 新宿区役所本庁舎3階会議室

**議事概要**

1. 経過報告（第二次実行計画素案、決定通知の送付など）
2. 参加者への事前送付資料の検討
3. 区民討議会プログラムの検討（確認）
4. 区民討議会当日の運営等の検討
5. 報告書作成の方針の検討

## ●第5回準備会

**開催日時** 平成23年11月1日（火）午前10時～12時

**会場** 新宿区役所本庁舎3階会議室

**議事概要**

1. 経過報告（区民討議会など）
2. 区民討議会の総括
3. 区民討議会実施報告書（速報版）の検討・決定
4. 区民討議会実施報告書の作成について



## 4 区民討議会の実施概要

### ① 討議参加者のグループ分け

討議参加者55名は、Aグループ19名、Bグループ18名、Cグループ18名に分かれます。各グループでは1班4～5名で4班を編成しました。グループ内の班のメンバーは、テーマごとに入れ替えました。他のグループとのメンバーの入れ替えはありません。

### ② 専門家による情報提供

討議の前にテーマに沿った情報提供を行いました。新宿区が策定する第二次実行計画の素案事業に対して討議をするため、まずテーマごとに事業を担当する区の職員が事業内容を説明。さらに、外部の有識者が質疑応答形式で、第三者の視点から、分かりやすく事業のポイントとなる論点を示すことで、討議参加者の皆さんがより具体的に考えることができるようにしました。

### ③ 討議参加者だけで討議・意見を集約・投票

討議は参加者の皆さんだけで班ごとに行いました。討議の進行についての質問にはスタッフが回答しますが、討議には参加しません。2日間で各グループ6回の討議がありますが、1回ごとにメンバーの入れ替えをするため、多くの参加者と偏りなく意見交換・討議ができます。

班の討議の結果を討議ボード(模造紙)にまとめながら、班としての意見を記入し、班ごとにグループ内で発表しました。参加者は各班の発表を聞き、各事業について評価と判定を個人投票で行いました。

投票結果はグループ単位で集計し、討議終了後に発表しました。

### ④ 討議結果のまとめ・公表

討議の結果のまとめは、区民討議会準備会で検討し本報告書に掲載しました。また、本報告書は区のホームページで一般にも公表します。

### ⑤ 参加者への謝礼

区民の皆さんには時間を割いてこの討議会に参加していただいたため、各参加者には2日間で1万2000円の謝礼をお支払いしました。

# 5 区民討議会の進め方

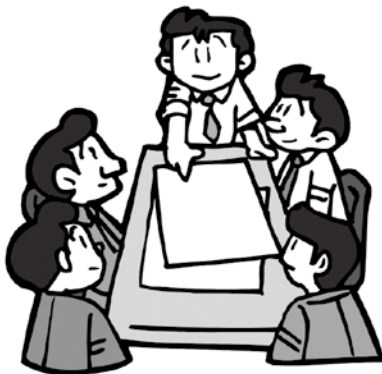
## 1 3つのグループに分かれ情報提供を聞きます

ただし、1日目の最初の討議だけは、グループに分かれず、全員で情報提供を聞きます。

討議の対象となる事業計画について、区の担当職員が質疑応答形式で情報を提供します。



## 2 班に分かれ討議します



書いて貼る

それぞれが自分の思う意見をどんどん付箋に書いて貼ります

付箋をまとめながら討議

話し合いをしながら意見をまとめていきます

討議ボード(模造紙)

A-1 グループ	メンバー：4～5名
討議テーマ	○ ○ ○ ○ ○ ○ 計画事業 ・ □ □ □ □ (枝) 事業
<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; height: 40px; margin: 5px;"></div> <div style="width: 50%; height: 40px; margin: 5px;"></div> <div style="width: 50%; height: 40px; margin: 5px;"></div> <div style="width: 50%; height: 40px; margin: 5px;"></div> <div style="width: 50%; height: 40px; margin: 5px;"></div> <div style="width: 50%; height: 40px; margin: 5px;"></div> </div>	
<p>主な意見 (5つまで)</p>	

## 3 各グループ発表・投票

- ・各グループで班ごとに順番に発表をします。
- ・その後、参加者それぞれに投票用紙を配布します。  
討議した事業について、評価（事業の必要性、緊急性など）と判定（拡大、原案どおり、縮小など）の投票をします。
- ・投票結果は、次の討議時間が始まる前に集計し、グループごとに掲示します。

## 4 個人投票用紙

- ・グループ発表後、参加者それぞれに投票用紙を配布します。
- ・討議した事業について、評価（事業の必要性、緊急性、手法の適切性）と判定（拡大、原案どおり、縮小、廃止）の投票をします。
- ・グループごとに投票を集計し、発表します。

**投票用紙 討議① A-1班**

■○○○○○○○○○○事業

**1. 評価**

評価項目	評価点
必要性	3      2      1      0 ┌──────────┴──────────┐ 大いにある ←────────── ない
緊急性	3      2      1      0 ┌──────────┴──────────┐ 大いにある ←────────── ない
手法の適切性	3      2      1      0 ┌──────────┴──────────┐ 大いにある ←────────── ない

**2. 判定**

拡大	原案どおり	縮小	廃止
┌──────────┴──────────┐			

評価、判定ともに、4つの選択肢のいずれか1つだけを○で囲んで投票してください。

## 5 グループチェンジ

- ・1つの討議テーマが終わるごとに班のメンバーを入れ替えます。

# 6 区民討議会プログラム

1日目 (10月22日) 10:00~17:00

時間	会議内容	討議テーマ (討議対象の計画事業と枝事業)		
		Aグループ (19名・4班)	Bグループ (18名・4班)	Cグループ (18名・4班)
10:00	開会 ・区長挨拶 ・第二次実行計画概要説明 (財政フレーム含む) ・討議会の運営説明			
10:40 )	討議① ・情報提供⇒各グループ会場へ移動し 討議 ・まとめ・発表 ・投票	<b>新宿の魅力の発信</b> ①新宿フィールドミュージアム事業の展開 *討議①では、全体で同じテーマを討議しました。		
12:05	昼食・休憩 ⇒メンバーチェンジ			
13:00 )	討議② ・情報提供・討議 ・まとめ・発表 ・投票	<b>災害情報システムの再構築</b>  <b>災害用避難施設及び備蓄物資の充実等</b>	<b>建築物等の耐震性強化</b> ①建築物等耐震化支援事業 ②擁壁・がけ改修等支援事業	<b>道路・公園の防災性の向上</b> ①道路・公園の治水対策 ②道路・公園擁壁の安全対策 ③公園における災害対応施設の整備
14:45	休憩 ⇒メンバーチェンジ			
15:00 )	討議③ ・情報提供・討議 ・まとめ・発表 ・投票  *グループによって 時間延長 (10分程度) あり	<b>NPO や地域活動団体等、多様な主体との協働の推進</b> ①協働事業提案制度の推進 ②協働推進基金を活用したNPO活動資金助成 ③NPOをはじめ地域を支える社会活動団体のネットワークの拡充 ④協働促進のための情報提供	<b>道路の温暖化対策</b> ①環境に配慮した道づくり ②道路の節電対策	<b>新宿らしいみどりづくり</b> ①みんなでみどり公共施設緑化プラン ②空中緑花都市づくり ③樹木、樹林等の保存支援
17:00	終了			

## 2日目（10月23日）10：00～17：00

時間	会議内容	討議テーマ（討議対象の計画事業と枝事業）		
		Aグループ (19名・4班)	Bグループ (18名・4班)	Cグループ (18名・4班)
10：00 }	討議④ ・情報提供・討議 ・まとめ・発表 ・投票  *グループによって 時間延長（10分 程度）あり	<b>地球温暖化対策の推進</b> ①区民の低炭素な暮らしとまちづくりへの取組みの促進・支援 ②事業者の低炭素な暮らしとまちづくりへの取組みの促進・支援 ③区が率先して取り組む地球温暖化対策	<b>ごみ発生抑制を基本とするごみの減量とリサイクルの推進</b> ①資源回収の推進 ②プラスチックの資源回収の推進 ③ごみの発生抑制の推進	<b>自転車等の適正利用の推進</b> ①駐輪場等の整備 ②放置自転車の撤去及び啓発 ③自動二輪車の駐車対策
11：50	昼食・休憩 ⇒メンバーチェンジ			
12：50 }	討議⑤ ・情報提供・討議 ・まとめ・発表 ・投票  *グループによって 時間延長（10分 程度）あり	<b>路上喫煙対策の推進</b>	<b>高齢者を地域で支えるしくみづくり</b> ①認知症高齢者支援の推進 ②地域安心カフェの展開 ③支援付き高齢者住宅の整備	<b>保護者が選択できる多様な保育環境の整備</b> ①私立認可保育所の整備支援 ②認証保育所への支援 ③保育園・幼稚園の子ども園への一元化
14：35	休憩 ⇒メンバーチェンジ			
14：50 }	討議⑥ ・情報提供・討議 ・まとめ・発表 ・投票	<b>地域協働学校（コミュニティ・スクール）の推進</b>	<b>障害者、高齢者、若年非就業者等に対する総合的な就労支援  雇用促進支援の充実</b>	<b>新中央図書館等の建設  図書館サービスの充実（区民に役立つ情報センター）</b>
16：30	⇒大会議室へ移動 アンケート、閉会挨拶、謝礼支払い			
17：00	終了			

# 7

## 討議対象事業の主な意見と評価・判定結果

討議の結果は、各グループの班ごとに討議ボードに主な意見としてまとめ、発表しました。発表された意見を参考にして、参加者は討議対象事業について個人投票により評価と判定を行いました。以下に、班ごとの主な意見と、グループ単位で集計した個人投票の結果を掲載します。

なお、最後に載せた「主な意見のまとめと意見の傾向」は、参考として準備会学識経験者委員が、各グループの班ごとの主な意見を集約して整理し、グループとしてどのような意見の傾向がみられるのかまとめたものです。

討議対象事業の事業内容と班ごとの討議結果をまとめた討議ボードについては、資料編の資料1に掲載していますので、参照してください。

### 1日目討議① A・B・Cグループ (55名)

(討議対象事業)

#### 新宿の魅力の発信

①新宿フィールドミュージアム事業の展開

事業内容 P58

討議ボード P59～61

## 1 Aグループ (19名)

### ◆班別の主な意見

#### A-1

- ・過去の遺産だけではなく、国際化に向けても発信するのに、ホテル・都庁・企業などと重点ポイント作りをしてほしい
- ・サービス産業で雇用を生み出す・豊かさを実現していくため（路上ライブなど…区民 定期的に月1）
- ・経費がかかりすぎる（1年で2千万円くらい）、収支報告を区民にわかるように（無駄をなくするため）

#### A-2

- ・そこに集まった人々が被災者になった場合の対策も1つの柱として考えてほしい（例）ディズニールンドの3.11
- ・健康な人だけではなく、参加困難な人への対策
- ・歌舞伎町のイメージ……何となく今は怖い

#### A-3

- ・若年層を意識した企画が少ない（小・中・高）
- ・若年層に対するアピール性の欠陥 携帯・スマートフォン・学校の課外授業取り込み
- ・緑化事業なども取込み環境＝文化とする
- ・新宿で育つ子供、教育を受ける人に新宿に対する愛情が生まれる様な課外授業に利用

## A-4

- ・区外向けの情報発信は十分なので、区民向けの発信に力を入れるべき
- ・地域振興も兼ね、地元や学校等もまきこんだ取り組みとすべき
- ・区がやる分野は人気観光地ではない地域のPRに力を入れるべき

### ■事業評価・判定

<評価>

評価項目	評価点 (大いにある ← → ない)				平均点
	3点	2点	1点	0点	
必要性	8名	11名	0名	0名	2.4
緊急性	2名	9名	6名	2名	1.6
手法の適切性	2名	6名	10名	1名	1.5

<判定>

拡大	原案どおり	縮小	廃止	白票等
6名	10名	1名	1名	1名

### 主な意見のまとめと意見の傾向

事業の必要性を認め、情報発信、事業手法、企画の内容などに対し、改善のための課題の指摘と提言が意見の大半を占めた。主な意見は以下のとおり。

- 1) 若年層（小・中・高校生）へのアピールが不足している。学校の課外授業での利用、携帯・スマートフォンの活用を進める。
- 2) 区民、地元向けの情報発信、地域振興を兼ねた地域のPRに力を入れ、地元・学校を巻き込んで取り組む。
- 3) 地域振興、雇用、緑化事業に結び付けた企画をたてる。
- 4) 国際化に向けた発信では、ホテル・都庁・企業との協働による企画の重点ポイントづくりを図る。
- 5) 大震災対策、参加困難者の参加対策および事業経費の無駄をなくすための分かりやすい収支報告づくりを行う。

## 2 Bグループ (18名)

### ◆班別の主な意見

#### B-1

- ・事業内容については賛成

- ・インターネット、パンフレット両方のアピールが足りない
- ・お金の問題
- ・名称がわかりづらい
- ・期間が短い

### B-2

- ・「これぞ新宿」と思わせる様なイベントが必要
- ・民間、事業者の自由な参加
- ・費用対効果を重視
- ・外国人への有効なPR
- ・ボランティアの有効活用

### B-3

- ・経済効果重視（イベントでの物販等）
- ・新宿ブランド作製

### B-4

- ・「フィールドミュージアム」名前が悪い
- ・地域が偏っている
- ・新宿区に愛着を持ってもらいたい？
- ・税金がほしい ラーメン屋繁栄 観光誘致

## ■事業評価・判定

<評価>

評価項目	評価点 (大いにある ←————→ ない)				平均点
	3点	2点	1点	0点	
必要性	5名	8名	5名	0名	2.0
緊急性	0名	4名	11名	3名	1.1
手法の適切性	0名	4名	12名	2名	1.1

<判定>

拡大	原案どおり	縮小	廃止
5名	7名	5名	1名

## 主な意見のまとめと意見の傾向

必要性をある程度認めて実施上の工夫への提言と、事業手法やPRについて課題の指摘が多くなった。また、事業目的が不明確であるという疑問も出された。主な意見は以下のとおり。

### <課題、疑問の指摘>

- 1) 事業のアピールが不足している。
- 2) 事業の名称が分かりにくい、よくない。



- 3) 実施期間が短い、地区に偏りがある。
- 4) 費用対効果を重視する。
- 5) 事業目的がどの層を対象に設定しているのか不明である。

**<事業実施での工夫、提言>**

- 1) 経済（波及）効果重視のメニューを組み立てる。
- 2) シンボルとなる「新宿ブランド」作成やイベントを実施する。
- 3) 外国人への有効なPRを工夫する。
- 4) 民間・事業者の自由な参加、ボランティアの活用を図る。

### 3 Cグループ (18名)

◆班別の主な意見

#### C-1

- ・場所が分かりにくい
- ・なにをしているのか、内容がわからない
- ・興味がわからない
- ・それ以外の事で忙しくて（年齢的に）手がまわらない
- ・ギャラリーオーガードみるっぐ 展示方法を一考 明るい照明を使ってイメージを考えた方がいい

#### C-2

- ・最終目的が判らない（何を発信したいのか、しなくちゃいけないのか）
- ・テーマがぼやけているし、対象もぼやけている
- ・短期および住んでいる外国人向けのガイドがないし、その人達向けなら日本文化も強調した方がいい
- ・やるなら町名とかにキャッチフレーズをつけたインスピレーションがわくようにしたらどうか
- ・あちこちでいろいろやるのもよいが、1か所でも長期にいつもやっているものも必要

#### C-3

- ・区民にもっとアピールが必要
- ・掲示板を使用してアピール
- ・掲示板にパンフをいれるポケットの設置
- ・パンフレットの置き場所の拡大
- ・大久保通りの韓国文化の提案

#### C-4

- ・新宿の魅力を発掘し発信していくという基本方針には賛成
- ・誰に対し発信しているのか、この活動の先に何があるか良くわからない
- ・パンフレットが多過ぎる
- ・各事業の歴史的な意味が良くわからない

## ■事業評価・判定

<評価>

評価項目	評価点 (大いにある ← → ない)				平均点
	3点	2点	1点	0点	
必要性	6名	8名	2名	2名	2.0
緊急性	0名	7名	6名	5名	1.1
手法の適切性	1名	6名	6名	5名	1.2

<判定>

拡大	原案どおり	縮小	廃止	白票等
0名	6名	9名	2名	1名※

※白票は「必要性はあるが、根本的な目的を変える」と記入

### 主な意見のまとめと意見の傾向

目的や内容がよくわからず、事業を行うことについて否定的意見が多かった。一方、必要性はあるとして、PRの方法などについての提言も多く見られた。主な意見は以下のとおり。

- 1) 何を発信したいのか目的がわからない、テーマも対象もぼやけている。
- 2) 内容がわからない、各事業の歴史的意味が良く分からない。
- 3) 住んでいる外国人へのガイドがない、区民へのアピールが必要、事業の場所が分かりにくい。
- 4) 展示方法を考える、掲示板を利用したアピールを行う、パンフレットの置き場所を工夫する。
- 5) 町名にキャッチフレーズをつけインスピレーションがわくようにする、外国人向けに日本文化を強調する、1か所で恒常的に行う事業も必要、大久保通りの韓国文化を提案する。

## 4 A・B・Cグループ 総計 (55名)

<評価>

評価項目	評価点 (大いにある ← → ない)				平均点
	3点	2点	1点	0点	
必要性	19名	27名	7名	2名	2.1
緊急性	2名	20名	23名	10名	1.3
手法の適切性	3名	16名	28名	8名	1.3

<判定>

拡大	原案どおり	縮小	廃止	白票等
11名	23名	15名	4名	2名

**1日目討議② Aグループ (19名)**

(討議対象事業)

**災害情報システムの再構築  
災害用避難施設及び備蓄物資の充実等**

事業内容 p.62,63

討議ボード p.64

## ◆班別の主な意見

**A-1**

- ・ 備蓄の適正な配置（薬を特に）の検討と企業との連携強化
- ・ 防災無線の使い方を検証し、必要な情報を的確に届ける体制整備
- ・ 区民の自助意識の育成 そのために具体的な行動に結びつく訓練の実施、備蓄の準備の奨励

**A-2**

- ・ 弱者に対する情報提供方法を充実する
- ・ 災害時の情報提供のためAMラジオの活用を充実する
- ・ 区境近くに住んでいる場合、隣の区の施設を利用できるようにする（ex目白通りの場合、新宿区と豊島区）
- ・ 短期計画で完了してほしい

**A-3**

- ・ 都がやっているような防災訓練を区でも行ってほしい。例えば体育館を利用した被災者体験等
- ・ 大きな組織（商業施設、会社）に対する情報伝達 帰宅しないでも安否確認できるシステム
- ・ 災害時要援護者名簿について 高齢で認知症の一人暮らしの方・高齢で日中独居の方・透析など持病についての把握・障がい児のいらっしゃる家族 どうなっているか 地域住民がどうしてあげられるか
- ・ コンビニ、ガソリンスタンドを備蓄場所として義務づける 個人宅設置義務づけ（笛）
- ・ 公園、公共施設の通常はベンチで、緊急時、簡易トイレになる場所がどこか分かるようにしてもらいたい 数を増やしてもらいたい

**A-4**

- ・ 他自治体と共通の基盤・やり方を作ってほしい
- ・ 各家に防災ラジオ・避難地図の配布を
- ・ 小さなコミュニティでの避難訓練を

## ■事業評価・判定

### 1) 災害情報システムの再構築

<評価>

評価項目	評価点 (大いにある ←————→ ない)				平均点
	3点	2点	1点	0点	
必要性	17名	2名	0名	0名	2.9
緊急性	19名	0名	0名	0名	3.0
手法の適切性	10名	7名	2名	0名	2.4

<判定>

拡大	原案どおり	縮小	廃止	白票等
10名	7名	0名	0名	2名

### 2) 災害用避難施設及び備蓄物資の充実等

<評価>

評価項目	評価点 (大いにある ←————→ ない)				平均点
	3点	2点	1点	0点	
必要性	17名	2名	0名	0名	2.9
緊急性	15名	4名	0名	0名	2.8
手法の適切性	10名	7名	2名	0名	2.4

<判定>

拡大	原案どおり	縮小	廃止	白票等
9名	8名	0名	0名	2名

## 主な意見のまとめと意見の傾向

東日本大震災を経験し、災害に直接関わる必要性、緊急性の高い事業という認識をほぼ全員が共有し、ほとんどが対策の提言及び要望的意見であった。主な意見は以下のとおり。

### <災害情報システムの再構築について>

- 1) 必要な情報を的確に提供・受け取る体制を整備（防災無線の使い方の検証、AMラジオの活用など）する、防災ラジオ・避難地図を各戸配布する。
- 2) 災害弱者への情報提供、家族などの安否確認、商業施設や企業など大きな組織への情報伝達の方法・システムの充実を図る。

### <災害用避難施設及び備蓄物資の充実等について>

- 1) 防災訓練の充実、災害時要援護者の避難対応、区境住民の隣区施設の相互利用を図る。
- 2) 備蓄の適正配置、備蓄の奨励、コンビニ・ガソリンスタンドを備蓄場所とする。
- 3) 公園、公共施設にある緊急時に簡易トイレとなるベンチを増やし、場所を明示する。

**1日目討議② Bグループ (18名)**

(討議対象事業)

**建築物等の耐震性強化**

- ①建築物等耐震化支援事業
- ②擁壁・がけ改修等支援事業

事業内容 p.65,66

討議ボード p.67

**◆班別の主な意見****B-1**

- ・火災対策もあわせたほうが良い (大震災)
- ・優先度と重要度を考慮して進めた方が良い
- ・国、都、鉄道会社、民間企業と調整し、財源を決めた方が良い
- ・目標に対して進捗が遅すぎる

**B-2**

- ・昭和56年以降、以前にしばらく耐震診断はすべての家屋を対象に
- ・危険な擁壁箇所は看板等で知らせてほしい
- ・補助金について告知不足

**B-3**

- ・擁壁・がけ改修は今の計画より、もっと早く進めてほしい
- ・耐震補強・診断をもっとアピールするべき
- ・耐震補強の補助金の増額を希望

**B-4**

- ・建物の基準より、老人世帯など住んでいる人への津波・地震火災など複合的に考えるべき
- ・看板・ビルの窓ガラス等の規準
- ・規準はそもそも守られているのか？
- ・人口の密集も考慮すべきだ
- ・防災ベッドの補助は認知されていない

**■事業評価・判定**

## 1) 建築物等耐震化支援事業

&lt;評価&gt;

評価項目	評価点 (大いにある ← → ない)				平均点
	3点	2点	1点	0点	
必要性	14名	2名	2名	0名	2.7
緊急性	14名	2名	2名	0名	2.7
手法の適切性	4名	2名	8名	0名	1.7

&lt;判定&gt;

拡大	原案どおり	縮小	廃止	白票等
11名	5名	1名	0名	1名

## 2) 擁壁・がけ改修等支援事業

<評価>

評価項目	評価点 (大いにある ← → ない)				平均点
	3点	2点	1点	0点	
必要性	13名	3名	1名	1名	2.6
緊急性	13名	3名	0名	2名	2.5
手法の適切性	5名	6名	5名	0名	1.8

<判定>

拡大	原案どおり	縮小	廃止
11名	5名	2名	0名

### 主な意見のまとめと意見の傾向

東日本大震災を経験した区民からは修正提案を含め、積極的な事業推進、メニュー拡充への意見が多く寄せられた。一方で、大規模な利害関係者となる国・都・鉄道事業者・民間企業との財源負担の調整を求める声、課題を指摘する意見もあった。主な意見は以下のとおり。

- 1) 火災対策もあわせたほうがよい、高齢者世帯などに対し津波・地震火災など複合的に考える、人口の密集も考慮する。
- 2) 耐震診断はすべての家屋を対象にする、耐震補強・診断をもっとアピールする。
- 3) 危険な擁壁箇所を看板等で知らせる、擁壁・がけ改修をもっと早く進める。
- 4) 看板・ビルの窓ガラスの基準は守られているのか、基準はあるのか。
- 5) 国・都・鉄道事業者・民間企業との財源負担を調整する、補助金について告知が不足している、防災ベッドの補助は認知されていない、耐震補強の補助金増額を望む。
- 6) 優先度と重要度を考慮して進める、目標に対し進捗が遅い。

**1日目討議② Cグループ (18名)**

(討議対象事業)

**道路・公園の防災性の向上**

- ①道路・公園の治水対策
- ②道路・公園擁壁の安全対策
- ③公園における災害対応施設の整備

事業内容 p.68,69

討議ボード p.70

## ◆班別の主な意見

**C-1**

- ・防災対策は必要、今できることからやってほしい
- ・検討過程が知りたい（道路の透水性舗装が最適か）（緑化による保水性確保）

**C-2**

- ・歩道の目づまり対策で傾斜になっているのは良いが、歩行者の安全性からみてどうか？（車いす、ベビーカー系）
- ・防災マップの配布とイベント等で、防災トイレや井戸等を紹介するのはどうか（ゲーム感覚で）
- ・公園の非常用電源はどうなっているのか（防災マップにのせたらどうか）
- ・道路や樹木が倒れた時の情報はどうやって知るのか？
- ・危険をどうやって知るのか？防災トイレは誰が設置するのか（管理者がわからない）

**C-3**

- ・簡易トイレを各家に配ってほしい
- ・とにかくトイレをいっぱい作ってほしい
- ・豪雨対策を時間あたり100ミリまで上げてほしい
- ・区民が使う私道は区のお金で整備してほしい 工事のあと点検して
- ・雨水と雨水を貯める空間をもっと有効に使えないのか

**C-4**

- ・防災トイレの設置場所・使用方法を区民に知らせてほしい
- ・風に対する対策の検討を始めてほしい

## ■事業評価・判定

## 1) 道路・公園の治水対策

&lt;評価&gt;

評価項目	評価点 (大いにある ← → ない)				平均点
	3点	2点	1点	0点	
必要性	11名	7名	0名	0名	2.6
緊急性	11名	6名	1名	0名	2.6
手法の適切性	10名	6名	2名	0名	2.4

&lt;判定&gt;

拡大	原案どおり	縮小	廃止	白票等
9名	8名	0名	0名	1名





### 主な意見のまとめと意見の傾向

東日本大震災での経験をもとに、大筋で事業内容を支持し、事業の改善や事業推進を要望する声が多かった。一方、短時間の情報提供では事業全体を把握しづらく、結果として質問型の意見も多い。主な意見は以下のとおり。

#### <事業内容に対する改善、要望意見>

- 1) 防災対策は今できることからやってほしい。
- 2) 防災マップやイベント等で防災トイレや井戸、公園の非常用電源を紹介する。
- 3) 防災トイレをたくさん作る、簡易トイレを各家に配布する、防災トイレの設置場所・使用方法を区民に知らせる。
- 4) 豪雨対策を時間あたり雨量100ミリまであげる、雨水を貯める空間を有効に使う。
- 5) 風対策の検討を始める、区民が使う私道の整備を区で負担する。

#### <事業への質問型意見>

- 1) 道路の透水性舗装、緑化による保水性確保の検討過程を知りたい。
- 2) 歩道の目詰まり対策は歩行者の安全性からみてどうか。
- 3) 危険をどうやって知るのか、道路に樹木が倒れたときの情報はどうやって知るのか。
- 4) 防災トイレは誰が設置するのか。

## 1日目討議③ Aグループ (19名)

(討議対象事業)

### NPOや地域活動団体等、多様な主体との協働の推進

- ①協働事業提案制度の推進
- ②協働推進基金を活用したNPO活動資金助成
- ③NPOをはじめ地域を支える社会活動団体のネットワークの拡充
- ④協働促進のための情報提供

事業内容 p.71～74

討議ボード p.75

### ◆班別の主な意見

#### A-1

- ・ 第三者機関の監視体制の強化
- ・ コスト分析……どの事業にどれだけの費用がかかっているのか明確に
- ・ 団体の数を増やさない 行政のコントロールが出来ず活動が浅くなる

#### A-2

- ・ 具体的な活動内容がわからない
- ・ 情報提供・情報公開→重要度（ランク分け等）・緊急性をわかりやすく
- ・ 決定過程に区民の声を
- ・ 採用事業の継続的評価

#### A-3

- ・ NPOと区が対等な関係を築くことができるよう、自立したNPO育成が事業全体の基本方針
- ・ ふれあい広場をNPO育成の中核地として活用（自立までの一定期間、オフィス貸与ノウハウ提供、共有等、好循環の仕組み作りが大事）
- ・ 基金により寄付が集まる仕組み作り大事（寄付の効果が見える形でサポーターをまきこむ仕組み）
- ・ 情報発信には更なる工夫が必要

#### A-4

- ・ やすらぎ、にぎわいにどうつながるのか見えてこない
- ・ 基金の管理・運用の厳格化が必要
- ・ 助成金によって管理・審査コストをかけるより、自由にして側面支援すべき
- ・ 「ふれあい広場」の目的・実態が不明（人件費？）

## ■事業評価・判定

## 1) 協働事業提案制度の推進

&lt;評価&gt;

評価項目	評価点 (大いにある ←————→ ない)				平均点
	3点	2点	1点	0点	
必要性	4名	13名	2名	0名	2.1
緊急性	3名	5名	9名	2名	1.5
手法の適切性	2名	11名	6名	0名	1.8

&lt;判定&gt;

拡大	原案どおり	縮小	廃止
3名	12名	4名	0名

## 2) 協働推進基金を活用したNPO活動資金助成

&lt;評価&gt;

評価項目	評価点 (大いにある ←————→ ない)				平均点
	3点	2点	1点	0点	
必要性	3名	10名	6名	0名	1.8
緊急性	2名	7名	9名	1名	1.5
手法の適切性	1名	10名	6名	2名	1.5

&lt;判定&gt;

拡大	原案どおり	縮小	廃止
1名	11名	5名	1名

## 3) NPOをはじめ地域を支える社会活動団体のネットワークの拡充

&lt;評価&gt;

評価項目	評価点 (大いにある ←————→ ない)				平均点
	3点	2点	1点	0点	
必要性	7名	9名	2名	1名	2.2
緊急性	2名	9名	6名	2名	1.6
手法の適切性	3名	9名	6名	1名	1.7

&lt;判定&gt;

拡大	原案どおり	縮小	廃止
2名	15名	2名	0名

#### 4) 協働促進のための情報提供

<評価>

評価項目	評価点 (大いにある ←————→ ない)				平均点
	3点	2点	1点	0点	
必要性	9名	10名	0名	0名	2.5
緊急性	7名	7名	4名	1名	2.1
手法の適切性	4名	7名	7名	1名	1.7

<判定>

拡大	原案どおり	縮小	廃止	白票等
4名	10名	4名	0名	1名

#### 主な意見のまとめと意見の傾向

意見は大別すると、①NPOなどの活動、事業がよく分からないので情報提供や情報発信の工夫と充実、監視機能の強化、②NPOなどへの助成・支援に対する費用対効果分析、資金管理・運営のチェック、決定への市民参加、③NPOなどとの協働の必要性を認め、その支援・育成の手法の提案、にまとめられる。主な意見は以下のとおり。

- 1) 各事業について事業費の情報公開、コスト分析、継続的評価、助成基金の管理・運用の監視強化、助成などの決定への市民参加を行う。
- 2) NPOに対し活動の透明化、第三者機関による監視、行政によるコントロールを図る。
- 3) 協働を推進するために、自立したNPO育成を基本方針とする、ふれあい広場をNPO育成の拠点として活用、基金による寄付集めの仕組みづくり、助成金にコストをかけるより側面支援を重視することを提案する。
- 4) やすらぎ・にぎわいにどうつながるのか見えてこない、ふれあい広場について目的と実態が不明である。

**1日目討議③ Bグループ (18名)**

(討議対象事業)

**道路の温暖化対策**

- ①環境に配慮した道づくり
- ②道路の節電対策

事業内容 p.76,77

討議ボード p.78

**◆班別の主な意見****B-1**

- ・なぜこの方法を取り入れたのか？（遮熱性舗装、低VOC塗料）
- ・新宿区だけの問題では収まりきらない（他の都市、区の連携が必要）
- ・あえて新宿区に木製防護柵が必要か？
- ・街路灯は早めにLED街路灯を導入

**B-2**

- ・遮熱性舗装：歩道に限定、新塗料、除染を先に
- ・木製防護柵：鉄に比べて頑丈？間伐材は別の用途にも
- ・低VOC塗装：費用対効果に疑問
- ・LED：初期費用は高いが、世界の流れ  
：街灯は、太陽光パネル・バッテリーとの併用を

**B-3**

- ・遮熱性舗装は良いのでぜひ推進していきたい
- ・低VOCについては環境汚染軽減の観点から適用だけではなく他もしていきたい
- ・繁華街のイメージアップの為に木製防柵を設置する
- ・蛍光灯が切れたら、LEDに交換していく

**B-4**

- ・環境に配慮した道づくりの3事業は必要性が考えられない
- ・街路樹を増やしてほしい
- ・LED街路灯は率先して増やしてほしい
- ・街路灯にソーラーパネルをつけ自家発電できるようにしてはどうか？

**■事業評価・判定**

## 1) 環境に配慮した道づくり

&lt;評価&gt;

評価項目	評価点 (大いにある ← → ない)				平均点
	3点	2点	1点	0点	
必要性	4名	7名	4名	3名	1.7
緊急性	2名	5名	9名	2名	1.4
手法の適切性	3名	5名	7名	3名	1.4

&lt;判定&gt;

拡大	原案どおり	縮小	廃止
2名	7名	5名	4名

## 2) 道路の節電対策

<評価>

評価項目	評価点 (大いにある ←————→ ない)				平均点
	3点	2点	1点	0点	
必要性	10名	5名	1名	2名	2.3
緊急性	4名	9名	3名	2名	1.8
手法の適切性	7名	8名	2名	1名	2.2

<判定>

拡大	原案どおり	縮小	廃止
6名	10名	0名	2名

### 主な意見のまとめと意見の傾向

環境に配慮した道路づくりの事業については、費用対効果の点、必要性などから疑問視する意見が多くなった。道路の節電対策では必要性を認め、LED灯導入を支持する意見が多かった。ほかに、区単独ではなく広域での連携・実施を指摘する意見も寄せられた。主な意見は以下のとおり。

#### <環境問題に配慮した道路づくり>

- 1) なぜ低VOC塗装と木製防護柵を取り入れたのか、木製防護柵は必要か、3事業の必要性が考えられない、低VOC塗装の費用対効果に疑問がある。
- 2) 低VOC塗装は環境汚染低減だけでなくほかにも適用したい、遮熱性舗装はぜひ推進する、繁華街のイメージアップの為に木製防柵を設置する。
- 3) 遮熱性舗装は歩道に限定して利用する、低VOC塗装は除染を優先する、木製防護柵は頑丈か疑問である。

#### <道路の節電対策>

- 1) LED街路灯を早めに導入する、導入は世界の流れ、LED街路灯は率先して増やす、蛍光灯が切れたらLEDに交換していく。
- 2) 街灯は太陽光パネル・バッテリーとの併用を、街路灯にソーラーパネルをつけ自家発電できるようにしてはどうか。

**1日目討議③ Cグループ (18名)**

(討議対象事業)

**新宿らしいみどりづくり**

- ①みんなでみどり公共施設緑化プラン
- ②空中緑花都市づくり
- ③樹木、樹林等の保存支援

事業内容 p.79～81

討議ボード p.82

**◆班別の主な意見****C-1**

- ・「新宿らしさ」はデザイナー（公募等）をつけて都会らしく考えた方がよい
- ・川沿いのツタは涼しそう（美しい）なのでもっとふやしてほしい
- ・地震を経験して、屋上の緑化は難しい（ソーラーに負ける）
- ・今後建設する建物には、一定の補助を出してはどうか
- ・樹木に対し、一律の補助はやめて、所得制限を設ける（神社・寺は制限する）

**C-2**

- ・個人で緑化するのは難しいので公共施設で緑化していくのは良いと思う。その際、長期的（4年以上）な目標を具体的に持つべき
- ・区立公園 災害時避難場所としての活用と緑の保護との両立を
- ・ハンギングバスケットは、根付かない・高所で見にくい等、採用はいかなものか
- ・大きい樹木は生活者として癒されます 保存支援に賛成
- ・緑を増やすこととして、「花の名所として（つつじ）（けやき）の公園作り」「屋上緑化に野菜作り」をとり入れ区民参加を促す

**C-3**

- ・緑化の助成の拡大（アフター管理）
- ・区民への協力の連携方法を考えてほしい
- ・業者への技術・知識の指導・管理をしてほしい
- ・屋上緑化の補助の基準をきめ細かくしてほしい

**C-4**

- ・子供たちが集まる公園に緑を増やす（で充分）
- ・空中緑花はビルを傷めることもあるし、よく見えない
- ・今ある樹木をちゃんと管理してほしい（水やり車が走ってない）

## ■事業評価・判定

### 1) みんなでみどり公共施設緑化プラン

<評価>

評価項目	評価点 (大いにある ←————→ ない)				平均点
	3点	2点	1点	0点	
必要性	7名	7名	4名	0名	2.2
緊急性	0名	7名	9名	2名	1.3
手法の適切性	1名	8名	7名	2名	1.4

<判定>

拡大	原案どおり	縮小	廃止
3名	9名	6名	0名

### 2) 空中緑花都市づくり

<評価>

評価項目	評価点 (大いにある ←————→ ない)				平均点
	3点	2点	1点	0点	
必要性	0名	6名	8名	4名	1.1
緊急性	0名	4名	9名	5名	0.9
手法の適切性	0名	3名	9名	6名	0.8

<判定>

拡大	原案どおり	縮小	廃止
1名	5名	10名	2名

### 3) 樹木・樹林等の保存支援

<評価>

評価項目	評価点 (大いにある ←————→ ない)				平均点
	3点	2点	1点	0点	
必要性	9名	8名	1名	0名	2.4
緊急性	3名	9名	6名	0名	1.8
手法の適切性	2名	13名	3名	0名	1.9

<判定>

拡大	原案どおり	縮小	廃止
1名	13名	4名	0名



### 主な意見のまとめと意見の傾向

全体として事業内容を肯定する意見が多く、事業実施に当たっての改善提案が多く示された。一方で、空中緑花都市づくりについては必要性は低く否定的意見が多く出された。主な意見は以下のとおり。

#### <事業の推進・改善の意見>

- 1) 川沿いのツタは涼しそうなので増やす、長期的目標をもって公共施設で緑化する、大きい樹木は癒されるので保存する、区立公園は災害時避難場所と緑の保護の両立を図る、子どもたちの集まる公園に緑を増やす。
- 2) 今後建設する建物に一定の補助を出す、緑化への助成を拡大する、屋上緑化補助の基準をきめ細かくする。
- 3) 「新宿らしさ」はデザイナーを付けて都会らしく考える、「花の名所としての公園作り」「屋上緑化に野菜作り」をとり入れ区民参加を促す、区民への協力の連携方法を考える。
- 4) 業者への技術・知識の指導・管理をする、今ある樹木をきちんと管理する。

#### <事業への疑問・批判的意見>

- 1) ソーラー化の推進から屋上緑化は難しい、根付かない・高所で見えにくいハンギングバスケット導入はいかなものか、空中緑化はビルを傷めることがある。
- 2) 樹木への一律補助はやめ、所得制限を設ける。

## 2日目討議④ Aグループ (19名)

(討議対象事業)

### 地球温暖化対策の推進

- ①区民の低炭素な暮らしとまちづくりへの取組みの促進・支援
- ②事業者の低炭素な暮らしとまちづくりへの取組みの促進・支援
- ③区が率先して取り組む地球温暖化対策

事業内容 p.83～85

討議ボード p.86

### ◆班別の主な意見

#### A-1

- ・初期投資後、細く長く展開できる計画が必要
- ・「新宿らしさ」のある施策に注力すべき
- ・全体目標達成までのロードマップを示すべき
- ・マンション・企業・道路を重点ポイントに
- ・学校での環境教育を強化すべき

#### A-2

- ・新建設物への庭園・太陽光発電設置の義務化
- ・中小企業へのISO取得支援・補助のアピール強化
- ・区民の意識の向上の為、家電製品などの購入時の特典制度
- ・課外授業などへの取り入れにより子供などにも参加できるようにする
- ・パンフレット等を駅、病院などに置き身近なものにする

#### A-3

- ・区民への対策としては具体的な行動メニューを示すことが大事。個別助成は費用対効果をよく考えるべき
- ・事業者対策の事業の目標値が低く事業の実施効果が疑問。方法論としては、事業者のインセンティブを高める手法を中心に再検討
- ・取組みを実感できる仕組みを作り、意識啓発や区民の参加を引き出す工夫が必要

#### A-4

- ・街作りとして、空家が多くなり駐車場（マンション建設）になっている。住宅地に多くなっている駐車場の問題（アスファルトの素材・透水性・義務づけ）
- ・西日対策として地域に声掛け（すだれ・ゴーヤ・打ち水等）。やっている人たちは確かにいるのでその人たちからのアプローチ
- ・新宿工コ隊に参加可能事業所をつのる（70%有る10人未満の事業所<意識改革→個人へつながる。隊員証でなく隊員事業所という看板>）
- ・節電の効果が明確に出来る装置（メーター・料金までも出る）

## ■事業評価・判定

## 1) 区民の低炭素な暮らしとまちづくりへの取り組みの促進・支援

&lt;評価&gt;

評価項目	評価点 (大いにある ←————→ ない)				平均点	白票等
	3点	2点	1点	0点		
必要性	17名	2名	0名	0名	2.9	0名
緊急性	10名	7名	2名	0名	2.4	0名
手法の適切性	6名	10名	1名	0名	2.1	2名

&lt;判定&gt;

拡大	原案どおり	縮小	廃止
9名	7名	3名	0名

## 2) 事業者の低炭素な暮らしとまちづくりへの取り組みの促進・支援

&lt;評価&gt;

評価項目	評価点 (大いにある ←————→ ない)				平均点
	3点	2点	1点	0点	
必要性	14名	4名	1名	0名	2.7
緊急性	10名	7名	2名	0名	2.4
手法の適切性	8名	7名	4名	0名	2.2

&lt;判定&gt;

拡大	原案どおり	縮小	廃止
9名	7名	3名	0名

## 3) 区が率先して取り組む地球温暖化対策

&lt;評価&gt;

評価項目	評価点 (大いにある ←————→ ない)				平均点	白票等
	3点	2点	1点	0点		
必要性	14名	5名	0名	0名	2.7	0名
緊急性	10名	7名	2名	0名	2.4	0名
手法の適切性	7名	9名	1名	0名	2.1	2名

&lt;判定&gt;

拡大	原案どおり	縮小	廃止
12名	5名	2名	0名

## 主な意見のまとめと意見の傾向

地球温暖化への関心は高く、事業の必要性、緊急性を認め、区が取り組む対策を中心に手法の改善、新たな施策を提言する意見が多くを占めている。主な意見は以下のとおり。

### <区民の低炭素な暮らしと街づくりへの取り組みの促進・支援>

- 1) 家電製品など購入への特典制度、節電効果が明確に分かる装置への補助を行う。
- 2) 区民に対する具体的行動メニューの提示、すだれ・打ち水の呼びかけ、区民の啓発を行う。

### <事業者の低炭素な暮らしと街づくりへの取り組みの促進・支援>

- 1) 中小企業へのISO取得支援・補助、新宿エコ隊への参加の呼びかけを行う。
- 2) 事業者対策の実施効果に疑問、事業者のインセンティブを高める手法を再検討する。

### <区が率先して取り組む地球温暖化対策>

- 1) 全体目標達成までのロードマップを示す、長期的に展開できる計画を作成する。
- 2) 「新宿らしさ」のある施策に注力、マンション・企業・道路対策を重点化する。
- 3) 学校での教育による子どもの参加や取り組みの効果を実感できる仕組みをつくる。
- 4) 新たな建設物への庭園・太陽光発電装置の義務化、駐車場の緑化・透水性の義務化を図る。

**2日目討議④ Bグループ (18名)**

(討議対象事業)

**ごみ発生抑制を基本とするごみの減量とリサイクルの推進**

- ①資源回収の推進
- ②プラスチックの資源回収の推進
- ③ごみの発生抑制の推進

事業内容 p.87,88

討議ボード p.89

**◆班別の主な意見****B-1**

- ・個人の意識改革の推進
- ・資料・チラシ等、不必要な配布・・・
- ・学校等教育の場で教える
- ・エコポイント・景品を新宿区内で使用できる商品券に
- ・23区内、または都内での連携

**B-2**

- ・分別のための教育が大切で、外国のようにごみ量に応じた料金負担を考える
- ・企業レベルでゴミの発生を減らす仕組みを推進、チェックも必要
- ・資源ごみを洗うことで水が汚れる。本当に環境にやさしいか疑問
- ・エコ自慢ポイントは魅力がないので廃止

**B-3**

- ・全体的にアピールが不足。配布資料も存在を知らなかった
- ・違法投棄の対策はどうお考えか？
- ・エコ自慢ポイント、レジ袋辞退の推進について不明確
- ・ゴミの分類方法がわかりづらい、分別ボックスを置く等対応して欲しい
- ・費用の掛け加減が分からない。焼却炉を区でもつのはどうか？

**B-4**

- ・資源回収の推進、啓蒙に力を入れる。効率up
- ・有価資源ならば可能な限り高価で売る
- ・「買う時には捨てる時の事も考えて」啓蒙
- ・エコ自慢ポイント、子供にも分かる様にして教育に組み入れる。子供のおこづかい、返還を容易にする。

## ■事業評価・判定

### 1) 資源回収の推進

<評価>

評価項目	評価点 (大いにある ←————→ ない)				平均点
	3点	2点	1点	0点	
必要性	15名	2名	1名	0名	2.8
緊急性	8名	6名	4名	0名	2.2
手法の適切性	3名	10名	3名	2名	1.8

<判定>

拡大	原案どおり	縮小	廃止
6名	12名	0名	0名

### 2) プラスチックの資源回収の推進

<評価>

評価項目	評価点 (大いにある ←————→ ない)				平均点
	3点	2点	1点	0点	
必要性	12名	4名	2名	0名	2.6
緊急性	7名	7名	4名	0名	2.2
手法の適切性	3名	8名	4名	3名	1.6

<判定>

拡大	原案どおり	縮小	廃止
5名	13名	0名	0名

### 3) ごみの発生抑制の推進

<評価>

評価項目	評価点 (大いにある ←————→ ない)				平均点
	3点	2点	1点	0点	
必要性	11名	3名	3名	1名	2.3
緊急性	7名	4名	6名	1名	1.9
手法の適切性	3名	5名	5名	5名	1.3

<判定>

拡大	原案どおり	縮小	廃止
6名	7名	3名	2名

### 主な意見のまとめと意見の傾向

個人の意識改革やそのための学校教育、PR、あるいはそれを補助するための分別ボックス設置や、従量制での有料化など、広い意味での生活者個人への「教育」とインセンティブ設定に関心が集まる結果となった。全体としては計画内容を不支持とする意見はあまり見られなかった。一方で手法については具体的な提案が多く出された。主な意見は以下のとおり。

#### <事業の推進・改善の意見>

- 1) 個人の意識改革の推進、学校教育の場で教える、分別の為の教育が必要で外国のようにごみ量に応じた料金負担を考える、資源回収は啓発に力を入れる、エコ自慢ポイントは子供にも分かる様にして教育に組み入れる、「買う時には捨てる時の事も考えて」啓発する。
- 2) エコポイント・景品を新宿区内で使用できる商品券にする、23区内または都内での連携を図る、企業レベルでゴミの発生を減らす仕組みを推進する。
- 3) ゴミの分類方法がわかりづらく分別ボックスを置く等対応する、有価資源ならば可能な限り高価で売る。

#### <事業への疑問・批判的意見>

- 1) エコ自慢ポイントは魅力がないので廃止する、レジ袋辞退の推進について不明確。
- 2) 全体的にアピール不足で配布資料の存在も知らなかった、資源ごみを洗うことで水が汚れ本当に環境にやさしいのか、違法投棄の対策はどうお考えか、費用の掛け加減が分からない、焼却炉を区でもつのはどうか。

## 2日目討議④ Cグループ (18名)

(討議対象事業)

### 自転車等の適正利用の推進

- ①駐輪場等の整備
- ②放置自転車の撤去及び啓発
- ③自動二輪車の駐車対策

事業内容 p.90～92

討議ボード p.93

### ◆班別の主な意見

#### C-1

- ・駐輪場の整備（野ざらしにしない建物、出し入れしやすい設備）
- ・駐輪場のパンフレットを作る（場所や空き情報の提供、警告キップに添付する）
- ・時間貸の駐輪場を作る（短時間利用は返金制にして利用を促す）
- ・自転車を買った人に規則のパンフレットを配る、小学校等でマナーを教える、保険の加入を進める
- ・撤去の日にちを決めない、声かけ以外も兼務する

#### C-2

- ・駅を主体に考えているが、公共施設についても検討が必要ではないか (①)
- ・車両の中の自転車の位置付けがあいまい（自転車の免許制・自転車の全面登録制、ナンバープレート） (②)
- ・人件費の割合が高すぎる。人材センター、ボランティア等を活用 (②)
- ・タイム24との提携等をし、小規模で設置箇所を多くする (③)

#### C-3

- ・行政が今まで通りやれるところは維持して、変更点を加える所は変えて、やった政策の内容はPRしていく
- ・行政以外にも個人も意識を持てるようにしていく
- ・二輪メーカーからの反発はないのか

#### C-4

- ・駐輪代が高すぎる、保管料も高すぎる
- ・強制力を持って一斉の撤去をこころみる。教育（小学校）を徹底する
- ・国・都・区でやるべきこと（やれること）をはっきりする。（自転車道）成功例を探す
- ・（提言です…）自転車を売る側もまきこんで登録番号制にする（インターネットで変更可能とする）
- ・（提言です…）区で震災用の自転車の確保も含めた再利用（シェアリング）



## ■事業評価・判定

## 1) 駐輪場等の整備

&lt;評価&gt;

評価項目	評価点 (大いにある ← → ない)				平均点
	3点	2点	1点	0点	
必要性	10名	6名	2名	0名	2.4
緊急性	7名	6名	5名	0名	2.1
手法の適切性	3名	6名	8名	1名	1.6

&lt;判定&gt;

拡大	原案どおり	縮小	廃止	白票等
6名	8名	3名	0名	1名

## 2) 放置自転車の撤去及び啓発

&lt;評価&gt;

評価項目	評価点 (大いにある ← → ない)				平均点
	3点	2点	1点	0点	
必要性	12名	6名	0名	0名	2.7
緊急性	10名	4名	4名	0名	2.3
手法の適切性	3名	5名	9名	1名	1.6

&lt;判定&gt;

拡大	原案どおり	縮小	廃止	白票等
9名	5名	3名	0名	1名

## 3) 自動二輪車の駐車対策

&lt;評価&gt;

評価項目	評価点 (大いにある ← → ない)				平均点
	3点	2点	1点	0点	
必要性	11名	6名	1名	0名	2.6
緊急性	9名	7名	2名	0名	2.4
手法の適切性	4名	6名	8名	0名	1.8

&lt;判定&gt;

拡大	原案どおり	縮小	廃止	白票等
5名	10名	2名	0名	1名

## 主な意見のまとめと意見の傾向

今までの違法駐輪対策を様々な手法を使ってより柔軟に進めていくべきであるという意見が多かった。一方で新宿区だけの取り組みでは対処できない提案もいくつかあり、都市部で深刻化する違法駐輪対策に対して国レベルでの対応を求める意見もあった。主な意見は以下のとおり。

### <事業の推進・改善の意見>

- 1) 駐輪場を整備する、時間貸しの駐輪場を作る、タイム24との提携等をして小規模で設置箇所を多くする、(駐輪場は) 駅だけでなく公共施設についても検討する。
- 2) 駐輪場のパンフレットを作る、自転車を買った人に規則のパンフレットを配る、小学校等でマナーを教える・教育を徹底する、行政以外にも個人も意識を持てるようにしていく 保険の加入を進める。
- 3) 撤去日を決めない、強制力を持って一斉撤去する。
- 4) 自転車を登録番号制にする、区で震災用自転車の確保も含め再利用する、国・都・区でやるべきことを明確にする。

### <事業への疑問・批判的意見>

- 1) 駐輪代・保管料が高すぎる。
- 2) 車両の中の自転車の位置付けがあいまい(自転車の免許制・自転車の全面登録番号制、ナンバープレートを検討する)

**2日目討議⑤ Aグループ (19名)**

(討議対象事業)

**路上喫煙対策の推進**

事業内容 p.94

討議ボード p.95

## ◆班別の主な意見

**A-1**

- ・喫煙場所を増やすべき（新宿西口、高田馬場）
- ・パトロール強化（費用をかけない方法、地域のコンビニの協力、住人に有償ボランティアを募り、生活道路の美化参加）等 町会支援
- ・罰金を設ける、タバコの値上げ等が必要なのか？
- ・喫煙場所や道路をキレイにすることで意識を育てる

**A-2**

- ・喫煙場所を増やしてほしい
- ・パトロール目的を複合的にして見直しをしてほしい
- ・重点地区を設置し、成果を上げるシステムを造り水平展開
- ・第一次実行計画の結果（実態状況）から新たな施策を生み出してほしい
- ・マナーの徹底化、（外国人）生活文化の違い

**A-3**

- ・禁止は周知されたので、罰則設定はあり（期間を区切るなどでもよい）
- ・喫煙場所の費用(設置・管理)はJTに頼らず区でも負担する
- ・生活道路（通学路など）の喫煙者チェックをPTA・地元の人に依頼
- ・パトロールの効果測定を実施（一定期間やめて変化をみるなど）
- ・（区役所などで）喫煙を人事評価に関連させる

**A-4**

- ・喫煙場所を確保するため企業との連携強化（条例で一定規模以上の企業に喫煙場所設置を努力義務とし、設置助成する等）
- ・行きたくなる喫煙所（ベンチ・自販機設置）を増やし、喫煙者が集まるよう工夫する
- ・一定期間に目標を達成するためのロードマップを作製し、計画的な取組みと施策効果の測定が必要

## ■事業評価・判定

### 1) 路上喫煙対策の推進

<評価>

評価項目	評価点 (大いにある ←————→ ない)				平均点
	3点	2点	1点	0点	
必要性	11名	7名	1名	0名	2.5
緊急性	7名	7名	3名	2名	2.0
手法の適切性	1名	12名	6名	0名	1.7

<判定>

拡大	原案どおり	縮小	廃止
6名	8名	5名	0名

### 主な意見のまとめと意見の傾向

これまでの対策が一定の成果をあげていることから、事業の必要性を認めたいうえで、費用対効果と効率化を図る点からの事業手法の改善、新たな施策についての提言的意見が多くを占めた。また、事業の効果測定を求める意見もあった。主な意見は以下のとおり。

#### <喫煙場所について>

- 1) 数を増やす、場所を確保するために企業と連携する。
- 2) 行きたくなる喫煙所を増やし喫煙者が集まるように工夫する、設置・管理に区も負担する。

#### <パトロールについて>

- 1) 費用をかけないパトロール強化—地元の町会、コンビニ、PTAの協力のほか住民から有償ボランティアを募る。
- 2) パトロールの効果測定を行う、目的を複合化して見直す。

#### <全体として>

- 1) 目標達成にロードマップを作成する、施策効果を測定する、重点地区を設置し成果をあげるシステムをつくる。
- 2) マナーの徹底、路上や喫煙場所をきれいにすることによる意識の啓発を図る。
- 3) 罰則・罰金を設ける、区役所など喫煙を人事評価に関連させる。

**2日目討議⑤ Bグループ (18名)**

(討議対象事業)

**高齢者を地域で支えるしくみづくり**

- ①認知症高齢者支援の推進
- ②地域安心カフェの展開
- ③支援付き高齢者住宅の整備

事業内容 p.96～98

討議ボード p.99

**◆班別の主な意見****B-1**

- ・すべてにおいて、スタッフが少なすぎる（お給料も少ない）
- ・民生委員の選出方法が不明 申請後時間がかかる
- ・ほっと安心カフェの充実 歳を重ねるのが楽しくなる様に
- ・住宅は充実してほしい 入居代を落としてほしい

**B-2**

- ・個々の地域の人たちが熱意を持って認知症高齢者を支える
- ・安心カフェのピーアール（内容の告知）
- ・支援付高齢者住宅の民間企業参入の促進を早くする

**B-3**

- ・全体的に計画が漠然としている
- ・若い世代（子供）のボランティアの活用
- ・支援付住宅整備より1人暮らしの高齢者サポート

**B-4**

- ・認知症サポーターの必要性に疑問。物理的ケアを拡充してほしい
- ・後見人制度の拡充のほうが急務ではないのか
- ・カフェでの活動内容 当事者のニーズに答えていない（年寄り扱いしすぎる）スマートフォン、メイク
- ・支援付き住宅 活動内容は難しくわかりづらいが、支援付き住宅の必要性は強く感じる

**■事業評価・判定**

## 1) 認知症高齢者支援の推進

&lt;評価&gt;

評価項目	評価点 (大いにある ← → ない)				平均点
	3点	2点	1点	0点	
必要性	15名	1名	2名	0名	2.7
緊急性	13名	2名	3名	0名	2.6
手法の適切性	3名	6名	8名	0名	1.6

&lt;判定&gt;

拡大	原案どおり	縮小	廃止
11名	5名	2名	0名

## 2) 地域安心カフェの展開

<評価>

評価項目	評価点 (大いにある ← → ない)				平均点
	3点	2点	1点	0点	
必要性	6名	6名	5名	1名	1.9
緊急性	4名	7名	5名	2名	1.7
手法の適切性	1名	4名	11名	2名	1.2

<判定>

拡大	原案どおり	縮小	廃止
6名	8名	3名	1名

## 3) 支援付き高齢者住宅の整備

<評価>

評価項目	評価点 (大いにある ← → ない)				平均点
	3点	2点	1点	0点	
必要性	10名	6名	2名	0名	2.4
緊急性	9名	7名	2名	0名	2.4
手法の適切性	3名	8名	5名	2名	1.7

<判定>

拡大	原案どおり	縮小	廃止	白票等
7名	5名	4名	1名	1名

### 主な意見のまとめと意見の傾向

施策自体の方向性としてはおおむね肯定的な意見が多かったが、個別の実施項目では進め方を巡って意見が分かれる結果となった。主な意見は以下のとおり。

#### <認知症高齢者支援の推進>

- 1) 個々の地域の人たちが熱意を持って認知症高齢者を支える、若い世代（子供）のボランティアを活用する。
- 2) 認知症サポーターの必要性に疑問・物理的ケアを拡充する、後見人制度の拡充が急務である。
- 3) 全体的に計画が漠然としている、民生委員の選出方法が不明・申請後時間がかかる、すべてにおいてスタッフが少なすぎる（給料も少ない）。

#### <地域安心カフェの展開>

- 1) 歳を重ねるのが楽しくなる様にほっと安心カフェの充実、安心カフェのピーアールを行う。
- 2) カフェでの活動内容が当事者のニーズに答えていない（年寄り扱いしすぎる、スマートフォン、メイク）。

#### <支援付高齢者住宅の整備>

- 1) 住宅は充実してほしい、入居代を落としてほしい、支援付き住宅の必要性は強く感ずる、支援付高齢者住宅の民間企業参入の促進を早くする。
- 2) 支援付住宅整備より1人暮らしの高齢者サポートを図る。

## 2日目 討議⑥ Cグループ (18名)

(討議対象事業)

### 保護者が選択できる多様な保育環境の整備

- ①私立認可保育所の整備支援
- ②認証保育所への支援
- ③保育園・幼稚園の子ども園への一元化

事業内容 p.100~102

討議ボード p.103

### ◆班別の主な意見

#### C-1

- ・待機児童を0とする
- ・認証保育の支援をもっと高額に（2万円現状）
- ・社会状況を考えると、子ども園促進は賛成できる
- ・保育園・子ども園にあたって場所の選定は適切に決めてください

#### C-2

- ・事業計画の基となっている定員枠1000人増という数字に納得感がない
- ・認可保育所は整備してほしい。また子育てしやすい環境も同時に作ってほしい
- ・保育園・幼稚園の子ども園への一元化には、指導者の一元化を考えてはいかがか

#### C-3

- ・保育料が高い、選択枠が少ない
- ・長期的な対策より緊急対策をしてほしい
- ・空いている小学校等をもっと活用してほしい
- ・ボランティアの活用
- ・病児保育（急な発熱等）をしてくれる所を作ってほしい

#### C-4

##### (私立認可保育所支援)

- ・民間委託できるものはもっと進めるべき
- ・利用料の平準化を図る

##### (認証保育所支援)

- ・進めてください。ボランティアの活用も視野に入れる

##### (子ども園への一元化)

- ・子ども園の教師の研修・経験を増やす
- ・大学院卒（児童心理学のプロ）の採用を増やす



## ■事業評価・判定

## 1) 私立認可保育所の整備支援

&lt;評価&gt;

評価項目	評価点 (大いにある ←————→ ない)				平均点
	3点	2点	1点	0点	
必要性	11名	4名	3名	0名	2.4
緊急性	10名	5名	3名	0名	2.4
手法の適切性	7名	4名	7名	0名	2.0

&lt;判定&gt;

拡大	原案どおり	縮小	廃止	白票等
8名	6名	3名	0名	1名

## 2) 認証保育所への支援

&lt;評価&gt;

評価項目	評価点 (大いにある ←————→ ない)				平均点
	3点	2点	1点	0点	
必要性	12名	6名	0名	0名	2.7
緊急性	11名	6名	1名	0名	2.6
手法の適切性	7名	9名	2名	0名	2.3

&lt;判定&gt;

拡大	原案どおり	縮小	廃止	白票等
8名	9名	0名	0名	1名

## 3) 保育園・幼稚園の子ども園への一元化

&lt;評価&gt;

評価項目	評価点 (大いにある ←————→ ない)				平均点
	3点	2点	1点	0点	
必要性	11名	5名	1名	1名	2.4
緊急性	10名	3名	4名	1名	2.2
手法の適切性	7名	7名	3名	1名	2.1

&lt;判定&gt;

拡大	原案どおり	縮小	廃止	白票等
7名	8名	1名	1名	1名

## 主な意見のまとめと意見の傾向

保育行政については直接関わる事が無い（子育て世代でない）と分かりにくい、と言うこともあり、情報提供の際に質問が多く出た。特に認定子ども園については新しいサービスということもあり質問が集中した。また、保育サービスの向上等についてたくさんの多様な提案が出された。主な意見は以下のとおり。

### <事業への改善・推進意見>

- 1) 待機児童を0とする、子育てしやすい環境を作る、保育園・子ども園の場所の選定は適切に決める、空いている小学校等をもっと活用する、長期的な対策より緊急対策をしてほしい。
- 2) 認証保育支援をもっと高額に（2万円現状）する、認証保育所の補助金増額・保育料の低負担化を図る、認証保育所整備を進める、ボランティアを活用する。
- 3) 子ども園を促進する、子ども園の教師の研修・経験を増やす、大学院卒（児童心理のプロ）を増やす、子ども園の一元化には指導者の一元化を考える。
- 4) 認可保育所の整備・増設や空き校舎を活用する、認可保育所の民間委託を進める、利用料の平準化を図る。
- 5) 病児保育（急な発熱等）する所を作る。

### <事業への疑問・批判的意見>

- 1) 事業計画の基となっている定員枠1000人増という数字に納得感がない、保育料が高い、選択枠が少ない。

**2日目討議⑥ Aグループ (19名)**

(討議対象事業)

**地域協働学校 (コミュニティ・スクール) の推進**

事業内容 p.104

討議ボード p.105

◆**班別の主な意見****A-1**

- ・モデル校、他自治体の問題点の整理・分析を強化
- ・協働委員の権限・業務範囲の明確化
- ・学校の情報の透明化・公開を進める
- ・継続的に問題を扱うための専任者設置

**A-2**

- ・(評価内容) 地域力を活かすために、学校に提言できる機関として非常によい
- ・(問題点) 協働学校の配置やメンバーの人選などの考慮
- ・活動内容の公開の方法 (HP作成やセキュリティレベル)、存在の周知
- ・(提案) 子供たちの意見も吸い上げられる様な体制作りも期待

**A-3**

- ・多数の学校で最初に導入したデータを取り地域住民へアピール等をしてほしい
- ・学校制・地域側のメリットを明確にし、活用する
- ・実際の活動が不透明な為、必要性が見えてこない

**A-4**

- ・学校にとっては、多様な教育を行うためには有効な手法、地域にとっても地域のつながりを育んだり、将来の担い手育成となりメリットがある。互いにwin-winな関係を築くことができる形で進めることが大事
- ・地域の人にとって参加しやすい環境作りが大事 (時間帯を夜とか日曜の午前にする、活動内容を広げる)
- ・地域・保護者・学校ができることを持ち寄り建設的に教育のあり方を議論できる場として育てていくことが大事

■**事業評価・判定**1) **地域協働学校 (コミュニティ・スクール) の推進**

&lt;評価&gt;

評価項目	評価点 (大いにある ← → ない)				平均点
	3点	2点	1点	0点	
必要性	9名	10名	0名	0名	2.5
緊急性	4名	11名	4名	0名	2.0
手法の適切性	5名	12名	1名	1名	2.1

<判定>

拡大	原案どおり	縮小	廃止	白票等
3名	14名	1名	0名	1名

**主な意見のまとめと意見の傾向**

地域が参加した学校教育の必要性について理解を示し、多様な教育、建設的な教育、子どもたちの意見を吸い上げる体制などへの期待をよせる意見が多い。一方で、その活動内容や成果がよく分からないことから、活動情報の発信・周知、透明化、メリット・問題点の明確化、などを求める意見や提言も多かった。主な意見は以下のとおり。

**<地域の参加に対して>**

- 1) 多様な教育、学校に提言できる機関として有効である。
- 2) 地域のつながりを育み、担い手育成にメリットがある。
- 3) 地域・保護者・学校が建設的に議論できる場・参加しやすい場、子どもたちの意見を吸い上げる体制として育成する。

**<情報の透明化・発信、周知について>**

- 1) 学校の情報の透明化・公開を進める、活動内容の公開・存在の周知を図る。
- 2) モデル校、他自治体の問題点の整理・分析強化、データを集めメリットを明確にして地域住民にアピールする。

**<協働委員について>**

- 1) 協働委員の権限・業務範囲を明確化する、人選などを考慮する。

**2日目討議⑥ Bグループ (18名)**

(討議対象事業)

**障害者、高齢者、若年非就業者等に対する総合的な就労支援  
雇用促進支援の充実**

事業内容 p.106.107

討議ボード p.108

## ◆班別の主な意見

**B-1**

- ・ 事業内容・成果と事業費が合っていない
- ・ 対象者が不明確
- ・ 雇用促進支援と就労支援の統合

**B-2**

- ・ 障害者・高齢者支援の充実、しかし障害者・高齢者も勇気をもってがんばること
- ・ 雇用者側も障害者に対して差別なく平等に（遠慮がちに感じる）
- ・ 若年層に対して別枠で考えたい
- ・ 促進支援の違った方向はないか？（インターンシップ制度など）

**B-3**

- ・ ハローワークとの違いがわからない
- ・ 告知不足（リーフレットがどこにあるのかわからない）
- ・ 55歳でなぜ区切りをつける
- ・ 費用対効果

**B-4**

- ・ 国のハローワーク 区の仕事支援センターや新宿わく☆わーく と住み分けが不明確でハローワークのみで良いではないか？
- ・ この件に関しては税金の無駄遣いだからさっきの高齢者支援に回した方がいいです
- ・ 就労支援や促進支援ばかりでなく区として具体的に雇用を促進すべきではないか

## ■事業評価・判定

## 1) 障害者、高齢者、若年非就業者等に対する総合的な就労支援

&lt;評価&gt;

評価項目	評価点 (大いにある ← → ない)				平均点
	3点	2点	1点	0点	
必要性	4名	7名	3名	4名	1.6
緊急性	4名	4名	6名	4名	1.4
手法の適切性	1名	5名	3名	9名	0.9

&lt;判定&gt;

拡大	原案どおり	縮小	廃止
2名	3名	9名	4名

## 2) 雇用促進支援の充実

<評価>

評価項目	評価点 (大いにある ←————→ ない)				平均点
	3点	2点	1点	0点	
必要性	3名	4名	5名	6名	1.2
緊急性	3名	1名	8名	6名	1.1
手法の適切性	1名	3名	5名	9名	0.8

<判定>

拡大	原案どおり	縮小	廃止
1名	2名	7名	8名

### 主な意見のまとめと意見の傾向

事業内容を巡って厳しい意見が提起される結果となった。事業のPR不足の指摘や、当事者（高齢者・障害者等）側の努力を求める意見といった一般的な指摘も寄せられたが、最も大きな論点は予定される成果に対する事業費の費用対効果についての点であった。また、他の公的機関との連携の内容についても、「よくわからない」といった指摘が多かった。

主な意見は以下のとおり。

#### <事業への疑問・批判的意見>

- 1) 対象者が不明確、55歳でなぜ区切りをつけるのか、国のハローワーク・区の仕事支援センターや新宿わく☆わーくとすみわけが不明確でハローワークのみで良いではないか？、ハローワークとの違いがわからない、告知不足（リーフレットがどこにあるのかわからない）
- 2) 事業内容・成果と事業費が合っていない、費用対効果を考える、雇用促進支援は税金の無駄遣いだから高齢者支援に回した方がよい。

#### <事業の改善意見>

- 1) 雇用促進支援と就労支援の統合、就労支援や促進支援ばかりでなく区として具体的に雇用を促進すべきではないか。
- 2) 若年層に対して別枠で考える、促進支援の違った方向はないか？（インターンシップ制度など）、障害者・高齢者支援の充実を図る。

**2日目討議⑥ Cグループ (18名)**

(討議対象事業)

**新中央図書館等の建設****図書館サービスの充実 (区民に役立つ情報センター)**

事業内容 p.109

討議ボード p.110

**◆班別の主な意見****C-1**

- ・中央図書館は補強工事を施し、継続使用
- ・新中央図書館候補地 (戸山中学校) は交通の便があまり良くない (利便性が悪い)
- ・図書館サービスは現在のレベルで充分。インターネット利用で各自でできる
- ・インターネットの利用時間を30分から1時間に延長。またプリンターを導入し、有料で使用できるようにする

**C-2**

- ・図書館の使命は？情報の拠点に区がお金をかける必要はない
- ・本の文化 (古典・古文) をもっと楽しめる環境づくりをして欲しい
- ・区の教育施設との貸出の連携
- ・老朽化は予想できたはずなのに何をしていたのか？
- ・仮は本当に必要なのか？金の無駄にならないのか？

**C-3****(新中央図書館等)**

- ・旧戸山中学校の校舎をそのまま使えないのか
- ・今まで討議した内容をすべて網羅した夢の図書館を作ってはどうか〔みどり・空中庭園・災害トイレ・治水・キッズルーム<保育士>・シェア自転車の利用 (少しだけなら有料あり)〕

**(図書館サービス)**

- ・バリアフリー、空間を仕切る (静かな)、カフェ、レストラン、ミニシアター (デザイナーを入れる)
- ・老眼鏡、視覚障害者用に音で聴けるサービス。PCで高齢者が簡単に利用できるサービス
- ・もっと検討しよう

**C-4**

- ・災害時の避難所になるような新中央図書館の建設
- ・駅の近くに図書館がほしい (せめて窓口だけでも…)
- ・身近なサービスの充実。講習会、シアター、カフェ、i pad貸出
- ・返却を郵送にする、インターネットの充実 (台数確保)
- ・中小企業診断士、情報コンシェルジュは不要

## ■事業評価・判定

### 1) 新中央図書館等の建設

<評価>

評価項目	評価点 (大いにある ←————→ ない)				平均点
	3点	2点	1点	0点	
必要性	1名	5名	4名	8名	0.9
緊急性	1名	1名	5名	11名	0.6
手法の適切性	0名	1名	7名	10名	0.5

<判定>

拡大	原案どおり	縮小	廃止
1名	2名	8名	7名

### 2) 図書館サービスの充実（区民に役立つ情報センター）

<評価>

評価項目	評価点 (大いにある ←————→ ない)				平均点	白票等
	3点	2点	1点	0点		
必要性	3名	2名	8名	5名	1.2	0名
緊急性	0名	3名	6名	9名	0.7	0名
手法の適切性	1名	0名	8名	8名	0.6	1名

<判定>

拡大	原案どおり	縮小	廃止
3名	1名	8名	6名



### 主な意見のまとめと意見の傾向

図書館については実際のサービスを利用している人も多く、詳細なサービスに渡っての意見が多く出た。図書館の設置場所や建設そのものについては現行の修正意見が多く出た。特に新中央図書館の建設については否定的な意見が多かった。主な意見は以下のとおり。

#### <新中央図書館の建設>

- 1) 旧戸山中学校の校舎をそのまま使えないのか、中央図書館を補強工事して継続利用をする、情報の拠点にお金をかける必要はない、新図書館建設予定地は交通の便が悪い。
- 2) 駅の近くがいい、今まで討議した内容をすべて網羅した夢の図書館を作ってはどうか〔みどり・空中庭園・災害トイレ・治水・キッズルーム<保育士>・シェア自転車の利用（少しだけなら有料あり）・災害時の避難所になるようにする〕。
- 3) 老朽化は予想できたはずなのに何をしていたのか？仮図書館は本当に必要なのか？金の無駄にならないのか？

#### <図書館サービスの充実>

- 1) バリアフリー・空間を仕切（静かな）・カフェ・レストラン・ミニシアター（デザイナーを入れる）を整備する、身近なサービスの充実（講習会、シアター、カフェ、iPad貸出、インターネットの充実）を図る、パソコン・老眼鏡利用など高齢者サービス・視覚障害者サービスを検討する、返却を郵送にする。
- 2) 古典・古文など本の文化を楽しめる環境づくり、区の教育施設との貸し出しの連携を図る。
- 3) サービスは現在のレベルで充分・インターネット利用で各自でできる、中小企業診断士・情報コンシェルジュは不要である。

## あとかぎ

本年も引き続き新宿区区民討議会に関わらせて頂いたことを、この場をお借りして深く感謝申し上げます。昨年度の、自治基本条例と言う大きな課題とはまた別の視点で、本年度は第二次実行計画策定に向けての区民討議会となりました。実行計画を取り上げた点、事業仕分け的な要素を加えたと言う点において、今回も全国の先駆けの事例になる内容でした。

この区民討議会(市民討議会)という手法は既に国内では類似の開催事例が206件(平成23年11月15日現在/NPO法人市民討議会推進ネットワーク調べ)にもなり、開催地も北は北海道から南は沖縄まで各地で開催されつつあります。参加依頼に対する参加の返答率が全国平均4%程度なのに対して、新宿区では今年度も7.8%(94名/1200名)という平均値のほぼ二倍の参加希望を頂きました。

また、資料編に掲載されておりますように、参加者の年齢層もほぼ均等の分布となり、新宿区の平均構成年齢にかなり近い数字になっています。これは一見すると「当たり前」に思えるかもしれませんが、全国の事例の中でも大変「稀(まれ)」なのです。他の開催事例では、どうしても高齢者層に参加者が集中しやすいため、若年層の抽出数を増やすと言う“条件抽出”をしているところも多数あります。

このように、大変自治意識が高い新宿区での討議会でしたので、話し合いの内容も大変中身の濃いものとなりました。場合によっては、一つの討議課題を一日かけて議論しても良いくらいの難しい課題もありましたが、参加者の皆さんの積極的な参加により、充実した内容と結論が得られたのではないかと思います。今回本報告書にまとめました内容についても、他の手法と合わせて今後何らかの事業への反映が検討され、区民の声が政策に反映されていくことと思います。

私自身は新宿区民ではありませんが、生まれが新宿、母の実家が新宿、以前会社の事務所が新宿にあったなど、友人・知り合いも多数すんでいる何かとご縁の深いまちです。その新宿がこのように住民参加が活発であることはとても嬉しい事です。今後も、首都東京の都庁のあるまち新宿区として、様々なかたちで日本の自治の先進的発信地として、発展して言って欲しいと思います。

区民討議会準備会 会長 小針 憲一

## 資料編

資料 1 討議対象事業とグループ・班別討議結果

資料 2 参加者の属性

資料 3 参加者名簿

資料 4 参加者アンケート結果

資料 5 参加希望者アンケート結果

資料 6 不参加者アンケート結果

資料 7 区民討議会準備会委員名簿

## 資料 1 討議対象事業とグループ・班別討議結果

ここでは、討議対象となった計画事業と枝事業を第二次実行計画素案から抜き出して掲載します。また、その事業の討議を行った各グループの班ごとの討議結果（討議ボードに記入）を続けて掲載しました。

なお、討議結果の表記については、基本的に原文のままとしています。明かな誤字、脱字の修正および言葉を補足をしないと意味の分かりにくいものについては必要最低限の加筆を行っています。

77	まⅥ 3 ①	<b>計画事業名</b>	新宿の魅力の発信			総事業費	95,366
計画事業概要		新宿にある、歴史・文化・産業・人材など地域に根ざした多くの資源を活かし、新しい新宿の魅力を創出するとともに、「文化芸術創造のまち 新宿」の実現をめざし、新宿のまちの魅力を積極的に発信していきます。					
77 ①	まⅥ 3 ①	<b>枝事業名</b>	新宿フィールドミュージアム事業の展開		所管部	地域文化部	
枝事業概要		文化月間を10月から11月に設定し、様々なイベントの計画的な実施により、「文化芸術創造のまち 新宿」を広く発信していきます。 文化財・歴史的建造物・歴史上の人物のゆかりの地・博物館・美術館等、豊富な歴史文化遺産等を活用して、新宿の魅力の再発見を実現します。					
23年度末の現況 (予定)	27年度末の目標	年度別計画					
		24年度	25年度	26年度	27年度		
・観光事業（新宿文化ロード、観光マップ、新宿まち歩きツアー）統合によるフィールドミュージアムの制度設計	・文化月間（10月～11月）用のガイドブックや観光マップを利用して区内を回遊した来街者数 40万人  ・まち歩きツアーを通じた歴史発見型フィールドミュージアムを区内全域で展開した際の参加者 1,000人	・文化月間（10月～11月）にイベント実施  ・まち歩きを通じた歴史発見型フィールドミュージアムの展開（2地区で試行）				→	→
事業費（千円）	92,942	21,484	21,484	24,987	24,987		

### 対象事業の主な指標

枝事業名	指標名	定義	23年度末の現況(予定)	27年度末の目標
新宿フィールドミュージアムの展開	ハンディガイドや観光マップによる区内回遊	文化月間（10月～11月）用のフィールドミュージアムハンディガイドや観光マップ（通年）を利用して区内を回遊する来街者数	—	40万人

1日目討議① A-1グループ	
<b>新宿の魅力の発信</b> ① 新宿フィールドミュージアム事業の展開	
(討議の方法例) 評価内容/問題点・課題/条件/提案など	
都庁・ホテル・企業など新しい魅力作りはできないか 過去の遺産ではなく	区民向けのもので、国際的には宣伝紹介すること 国際的に紹介するには重点を紹介するポイントがほしい
サービス産業で雇用を生み出していく仕組みがほしい 豊かさを実現していくためにも	国際都市新宿は国際都市東京とラップするので都とタイアップすれば予算もマイナスになる
区民外の人をも集めるために路上ライブをする 毎年、同一月にする(定期的に)	原案通り進めて良いと思う 経費がかかりすぎる気もする 収支報告などが必要な気がする
<b>■主な意見(5つまで)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 過去の遺産だけではなく、国際化に向けても発信するのに、ホテル・都庁・企業などと重点ポイント作りをしてほしい</li> <li>◆ サービス産業で雇用を生み出すー豊かさを実現していくため(路上ライブなど…区民 定期的に月1)</li> <li>◆ 経費がかかりすぎる(1年で2千万円くらい) 収支報告を区民にわかるように(無駄をなくすため)</li> </ul>	

1日目討議① A-2グループ	
<b>新宿の魅力の発信</b> ① 新宿フィールドミュージアムの事業展開	
(討議の方法例) 評価内容/問題点・課題/条件/提案など	
健康な人にはいいが、参加できない人のことも考慮する必要があるのではないのでしょうか	来て見て楽しい事はわかるが、老年者はまず体力作りから考えないと思います
歌舞伎町のイメージをこのイベントでどう変えていけるか 今は何となく怖い	イベントごとの後始末をきちんと行えるかどうか 例えばごみ問題
緊急性に課題あります	イベントの際の災害対策(一緒に考えてあるのか) 建物とか
場合コースを見て施設の充実度に疑問があります	
<b>■主な意見(5つまで)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ そこに集まった人々が被災者になった場合の対策も1つの柱として考えてほしい(例) デイズニードの3.11</li> <li>◆ 健康な人だけではなく、参加困難な人への対策</li> <li>◆ 歌舞伎町のイメージ・・・何となく今は怖い</li> </ul>	

1日目討議① A-3グループ	
<b>新宿の魅力の発信</b> ① 新宿フィールドミュージアム事業の展開	
(討議の方法例) 評価内容/問題点・課題/条件/提案など	
若い人に向けた企画が少ない	携帯、スマートフォンなども活用して発信
若年の方をもっと多くすること!	子ども時代を大切に
若年層へのアピール弱	小学校、中学校などの課外活動に取り組む
建築基準法改正 緑被率向上	緑被率 UP
新宿のこの夏暑い	
<b>■主な意見(5つまで)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 若年層を意識した企画が少ない(小・中・高)</li> <li>◆ 若年層に対するアピール性の欠陥 携帯・スマートフォン・学校の課外授業取り込み</li> <li>◆ 緑化事業なども取込み環境＝文化とする</li> <li>◆ 新宿で育つ子供、教育を受ける人に新宿に対する愛情が生まれる様な課外授業に利用</li> </ul>	

1日目討議① A-4グループ	
<b>新宿の魅力の発信</b> ① 新宿フィールドミュージアム事業の展開	
(討議の方法例) 評価内容/問題点・課題/条件/提案など	
観光客向けの情報発信が強いのでは?	地域力を育むツールにもなるのでは?
区民への情報発信力弱い	祭りやイベントは地域を結び付ける力になる
観光発信と区民向けは分けて考えてもよいのでは?	町会や地域の人をまきこんだ観光マップ作りを進めては?
区外への発信は民間のものもあり、十分。区民向けのマップ作り等、発信すべきでは?	区のイベントで応募してもあだりにくく、参加意欲落ちる
対象を明確にして発信すべき	歩き中心のルートもいいがコミュニティバス等を使ったルートもあるといい
人気の地域はPR 必要ないが、あまり人が集まらない地域を区がPRしていくべき	
震災を考えると地域の力を育む必要	
小中高の地元探検(?)などで新宿が好きという思いが育った	
<b>■主な意見(5つまで)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 区外向けの情報発信は十分なので、区民向けの発信に力を入れるべき</li> <li>◆ 地域振興も兼ね、地元や学校等もまきこんだ取り組みとすべき</li> <li>◆ 区がやる分野は人気観光地ではない地域のPRに力を入れるべき</li> </ul>	

1日目討議① B-1グループ
<p><b>新宿の魅力の発信</b> ① 新宿フィールドミュージアム事業の展開</p> <p>(討議の方法例) 評価内容/問題点・課題/条件/提案など</p> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">紙(パンフレット)、インターネット、両方からのアプローチはよい</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">全体の予算から見て規模が大きいのでは</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">新宿フィールドミュージアムオフィシャルガイドブックはお金のかけすぎ(1千万)</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">街歩きマップは、見やすいし、興味もてる</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">長期間にわたるイベントを行ってほしい</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">パンフレットがある事自体を知らなかった</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">事業として行うことに疑問(内容に関しては賛成)</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">インターネット、HPが分かりづらい(サイトの入口が狭い)</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">パンフレットの名称が分かりづらい</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">長年、住んでいるのに知らない=発信力がないのでは</div> </div> <p>■主な意見(5つまで)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 事業内容については賛成</li> <li>◆ インターネット、パンフレット両方のアピールが足りない</li> <li>◆ お金の問題</li> <li>◆ 名称がわかりづらい</li> <li>◆ 期間が短い</li> </ul>

1日目討議① B-2グループ
<p><b>新宿の魅力の発信</b> ① 新宿フィールドミュージアム事業の展開</p> <p>(討議の方法例) 評価内容/問題点・課題/条件/提案など</p> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">多層的だからPRをまちがえているんじゃないか</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">イベントを盛り上げる工夫が必要</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">催し物が中途半端</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">区がやるんやったらもっとでかい形でした方がよい</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">PRにボランティアをもっと活用したら</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">新宿の魅力の発信を大にやるべき</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">情報の通知が行き届かない</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">新宿にある施設を知らない人が多過ぎる</div> </div> <p>■主な意見(5つまで)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 「これぞ新宿」と思わせる様なイベントが必要</li> <li>◆ 民間、事業者の自由な参加</li> <li>◆ 費用対効果を重視</li> <li>◆ 外国人への有効なPR</li> <li>◆ ボランティアの有効活用</li> </ul>

1日目討議① B-3グループ
<p><b>新宿の魅力の発信</b> ① 新宿フィールドミュージアム事業の展開</p> <p>(討議の方法例) 評価内容/問題点・課題/条件/提案など</p> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">新宿ブランドの制作物販</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">文化の発信と経済効果</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">経済的に効果があれば緊急性がある・・・?</div> </div> <p>■主な意見(5つまで)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 経済効果重視(イベントでの物販等)</li> <li>◆ 新宿ブランド作製</li> </ul>

1日目討議① B-4グループ
<p><b>新宿の魅力の発信</b> ① 新宿フィールドミュージアム事業の展開</p> <p>(討議の方法例) 評価内容/問題点・課題/条件/提案など</p> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">JRAからお金が入る?馬券売り場→契</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">ねらい、必要性が不明</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">素敵なイメージを外に出した方がよい</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">法人税 国税 地方交付税</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">全国から来るわけではない 調布はもうあかっている</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">新宿区はうるおう? JRA 環境悪化 若者 健全な街を目指している</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">公園トイレ ホームレス 5時にしめる</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">港区→新宿 60 文京→40</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">何のため? 税金ももらいたい 予算がほしい?</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">百人町で子育てできない →世田谷へ</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">歌舞伎町 住所的にX 日本じゃないイメージ 性の歓楽街</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">新宿のイメージ? 日本中、世界中 繁華街 →歴史・観光スポット</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">韓流ブーム すたれる?</div> </div> <p>■主な意見(5つまで)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 「フィールドミュージアム」名前が悪い</li> <li>◆ 地域が偏っている</li> <li>◆ 新宿区に愛着を持ってもらいたい?</li> <li>◆ 税金がほしい ラーメン屋繁栄 観光誘致</li> </ul>

1日目討議① C-1グループ		
<b>新宿の魅力の発信</b> ① 新宿フィールドミュージアム事業の展開		
(討議の方法例) 評価内容/問題点・課題/条件/提案など		
30才近辺の年齢の自分からしたら面白い気がしない	興味がわかない	場所がわかりにくい
他のことで忙しくて行ってる時間がない	楽しめるイメージが無い	どこでやっているのかしらない
		行ったことがない
	新宿文化センター 行事、催しもの宣伝が少し不足	宣伝してる?
	ミュージアムでそもそも何をしてるのか知らない	ミュージアムの存在を伝える方法が少ない下手
<b>■主な意見 (5つまで)</b> ◆ 場所が分かりにくい ◆ 何をしているのか、内容がわからない ◆ 興味がわかない ◆ それ以外の事で忙しくて(年齢的に)手がまわらない ◆ ギャラリーオーガードみるっく 展示方法を一考 明るい照明を使ってイメージを考えた方がいい		

1日目討議① C-2グループ	
<b>新宿の魅力の発信</b> ① 新宿フィールドミュージアム事業の展開	
(討議の方法例) 評価内容/問題点・課題/条件/提案など	
目的別にしぼったテーマにしてほしい	なんで魅力を発信するのか?最終目的?金?
対象者がしぼれていない	
外国人向けにガイドは必要。でも、このガイドは外国人向けではない	
短期で住む外国人向けに日本文化をメインにアピールするものがほしい	
2か月間の長期イベントも必要	町名にキャッチフレーズをつけて紹介する
<b>■主な意見 (5つまで)</b> ◆ 最終目的が判らない(何を発信したいのか、しなくちゃいけないのか) ◆ テーマがぼやけているし、対象もぼやけている ◆ 短期および住んでいる外国人向けのガイドがないし、その人達向けなら日本文化も強調した方がいい ◆ やるなら町名とかにキャッチフレーズをつけたインスピレーションがわくようにしたらどうか ◆ あちこちでいろいろやるのもよいが、1か所で長期にいつもやっているものも必要	

1日目討議① C-3グループ		
<b>新宿の魅力の発信</b> ① 新宿フィールドミュージアム事業の展開		
(討議の方法例) 評価内容/問題点・課題/条件/提案など		
区民にもっとアピールが必要	掲示板を使用してアピール	パンフレットの置き場所の拡大
<b>■主な意見 (5つまで)</b> ◆ 区民にもっとアピールが必要 ◆ 掲示板を使用してアピール ◆ 掲示板にパンフをいれるポケットの設置 ◆ パンフレットの置き場所の拡大 ◆ 大久保通りの韓国文化の提案		

1日目討議① C-4グループ		
<b>新宿の魅力の発信</b> ① 新宿フィールドミュージアム事業の展開		
(討議の方法例) 評価内容/問題点・課題/条件/提案など		
まち歩きツアーは神楽坂に魅力あり	各事業の歴史的な意味を知りたいが...	パンフレットが多すぎる
文化的な発掘については賛成		
	予算の対象はあくまで区のためと捉えるのか	情報が伝わっていないのでは?
	善地点が見えない	だれに対して発信しているかあいまい
	区民の生活に役立つのか疑問	
<b>■主な意見 (5つまで)</b> ◆ 新宿の魅力を発掘し発信していくという基本方針には賛成 ◆ 誰に対し発信しているのか、この活動の先に何があるか良くわからない ◆ パンフレットが多過ぎる ◆ 各事業の歴史的な意味が良くわからない		

47	まⅢ 3 ②	<b>計画事業名</b>	<b>災害情報システムの再構築</b>		所管部	区長室
計画事業概要		<p>災害時における初動態勢の強化に向けて、区民及び帰宅困難者に対する迅速な情報提供や情報が共有できるシステムを整備（第一次整備）します。</p> <p>また、迅速かつ的確な判断・指示を行うための情報収集・処理システムを構築するとともに、地域における円滑な救出救護活動や避難誘導を支援するため、避難所情報、災害時要援護者安否確認情報等のシステムを整備（第二次整備）します。</p>				
23年度末の現況 (予定)	27年度末の目標	年度別計画				
		24年度	25年度	26年度	27年度	
・現在の災害情報システムの課題整理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害情報システムの整備（第一次整備 25年度末）</li> <li>・災害情報システムの整備（第二次整備 26年度末）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規システムの基本計画の策定</li> <li>・第一次整備工事実施設計</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第一次整備工事</li> <li>・第二次整備工事実施設計</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第二次整備工事</li> </ul>		
事業費（千円）	総事業費 324,453	5,250	75,414	243,789	—	

対象事業の主な指標				
計画事業名	指標名	定義	23年度末の現況(予定)	27年度末の目標
災害情報システムの再構築	災害情報システムの整備 (第一次整備)	区民及び帰宅困難者向け情報提供システムの整備	—	25年度末までに稼働
	災害情報システムの整備 (第二次整備)	避難所情報、災害時要援護者安否確認情報等のシステム整備	—	26年度末までに稼働



48	まⅢ 3 ②	計画事業名	災害用避難施設及び備蓄物資の充実等	所管部	区長室
計画事業概要		災害時における在宅避難者や帰宅困難要援護者のための食糧等備蓄物資の充実及び円滑な物資供給を行うための災害用備蓄物資の適正配置並びに新宿駅周辺帰宅困難者の一時待避所となる避難場所の運用資器材整備により、災害応急活動体制の確立を図ります。			
23 年度末の現況 (予定)	27 年度末の目標	年度別計画			
		24 年度	25 年度	26 年度	27 年度
・ 一次避難所 49 箇所	・ 在宅避難者及び帰宅困難要援護者のための食糧等の備蓄	・ 災害用備蓄物資の充実			
・ 区備蓄倉庫 32 箇所	・ 災害用備蓄物資の適正配置  ・ 避難場所の運用資器材の整備（新宿御苑、新宿中央公園）	・ 災害用備蓄物資の再配置計画の作成  ・ 避難場所運用資器材の整備（新宿御苑）	・ 災害用備蓄物資の整理等  ・ 避難場所運用資器材の整備（新宿中央公園）		
事業費（千円）	総事業費 142,548	99,844	8,788	5,702	28,214

## 対象事業の主な指標

計画事業名	指標名	定義	23 年度末の現況 (予定)	27 年度末の目標
災害用避難施設及び備蓄物資の充実等	在宅避難者及び帰宅困難要援護者備蓄物資の充実	ライフラインの停止により避難所で給食・給水を受ける在宅避難者及び高齢者や乳幼児など帰宅困難要援護者のための食糧等の備蓄	—	在宅避難者及び帰宅困難要援護者のための食糧等の備蓄
	避難場所運用体制の整備	避難場所の的確な運用のための必要資器材の配備	—	避難場所運用資器材の配備（新宿御苑、新宿中央公園）
	災害用備蓄物資の適正配置	円滑な災害用物資供給のための災害用備蓄物資の再配置	区内備蓄倉庫 32 箇所	災害用備蓄物資の適正配置

1日目討議② A-1グループ	
① 災害情報システムの再構築 ② 災害用避難施設及び備蓄物資の充実等	
(討議の方法例) 評価内容/問題点・課題/条件/提案など	
火災も考慮した備蓄配置が重要	区民の災害に対する意識づけが大事 火災のたつまき被害など、適切な情報が提供されるか 防災無線がききとりにくい ハードの整備は重要だが、どうやって使っていくかの整理が大事(情報システムの使い方をよく検討すべき)
区民の備蓄なのに帰宅困難者に物資を放出したが、誰がどう判断するのか難しい	区にたよらないで自助のとりくみが大事 地域コミュニティの力がないと災害対応ができない 新都区にその力があるか 災害を意図に自分が具体的にどう行動したらよいかを考えておくべき 企業が自社の従業員の備蓄や帰宅困難対応を行うべき 企業との連携を強め、避難所や備蓄を分担してもらう
医薬品の備蓄を各避難所に必要最低限は備えるべき	災害弱者等には各自に防災無線の受信機を配布する
どこまでの対応を、コストをかけてやるか判断難しい	子どもに対する防災意識の育成、具体的な行動パターンを示す必要
<b>■主な意見(5つまで)</b> ◆ 備蓄の適正な配置(業を特に)の検討と企業との連携強化 ◆ 防災無線の使い方を検証し、必要な情報を的確に届ける体制整備 ◆ 区民の自助意識の育成 そのために具体的な行動に結びつく訓練の実施、備蓄の準備の奨励	

1日目討議② A-2グループ	
① 災害情報システムの再構築 ② 災害用避難施設及び備蓄物資の充実等	
(討議の方法例) 評価内容/問題点・課題/条件/提案など	
高齢者の立場から考えるといざ避難所向かうとしても歩行困難でパニックになると思う 具体的な対策が必要	マンションは個人情報開示が難しく避難介助対象者が不明 普段での準備ができていない(老人・子ども・障害者・病人) 防災無線 まったく聞こえない所がある その対策について 3.11の時、山手通りはまだしも早稲田通りは歩道が狭く車道にも人があふれた この対処法は? 区境近くに住んでいる者として利便性から隣の区の施設などを考えていますが不可ですか 第二次整備工事で完了なのか不明 短期完了を望む
対災害の状況発信のため初期段階はTV等が発信としては受け入れられているが、短期間で不通になるので携帯ラジオの重要性をアピールする必要がある	停電になったら避難所へ行かざるを得なくなる 大勢つめかけた場合誰が指揮をとるのか
<b>■主な意見(5つまで)</b> ◆ 弱者に対する情報提供方法を充実する ◆ 災害時の情報提供のためAMラジオの活用を充実する ◆ 区境近くに住んでいる場合、隣の区の施設を利用できるようにする(ex 目白通りの場合、新都区と豊島区) ◆ 短期計画で完了してほしい	

1日目討議② A-3グループ	
① 災害情報システムの再構築 ② 災害用避難施設及び備蓄物資の充実等	
(討議の方法例) 評価内容/問題点・課題/条件/提案など	
大きな組織に対する情報(企業、学校)帰宅しなくても安否確認できるように	声も出せない時の所在アピール手段 笛など 公共の施設の簡易トイレの場所 下水につながっているトイレ 災害時要援護者名簿 ・ 高齢で認知症の一人暮らし ・ 日中独居の方 ・ 透析の方 ・ 障がい児がいらっしゃる家族 防災訓練を区としてやってもらいたい 区での指導(体育館での被災者体験)問題点が分かる コンビニ ガソリンスタンドの活用幅を広げる 備蓄場所として義務づける
<b>■主な意見(5つまで)</b> ◆ 都がやっているような防災訓練を区でも行ってほしい。例えば体育館を利用した被災者体験等 ◆ 大きな組織(商業施設、会社)に対する情報伝達 帰宅しなくても安否確認できるシステム ◆ 災害時要援護者名簿について 高齢で認知症の一人暮らしの方・高齢で日中独居の方・透析など持病についての把握・障がい児のいらっしゃる家族 どうなっているか 地域住民がどうしてあげられるか ◆ コンビニ ガソリンスタンドを備蓄場所として義務づける 個人宅設置義務づけ(笛) ◆ 公園 公共施設の通常はベンチで、緊急時、簡易トイレになる場所がどこか分かるようにしてもらいたい 数を増やしてもらいたい	

1日目討議② A-4グループ	
① 災害情報システムの再構築 ② 災害用避難施設及び備蓄物資の充実等	
(討議の方法例) 評価内容/問題点・課題/条件/提案など	
他自治体を共通の基盤・やり方を作ってほしい	各家に防災ラジオをお願いします。(町会長が留守の場合もあると思う) 避難地図の配布(難しい書類ではなく) 一人一人に情報が伝わるように(防災ラジオ等の配布?) 公衆電話の必要性 マンションなどの小さいコミュニティでの声かけ 町会長さんを知らない
<b>■主な意見(5つまで)</b> ◆ 他自治体と共通の基盤・やり方を作ってほしい ◆ 各家に防災ラジオ・避難地図の配布を ◆ 小さなコミュニティでの避難訓練を	

42	まⅢ 3 ①	<b>計画事業名</b>	<b>建築物等の耐震性強化</b>	総事業費	3,498,784
計画事業概要		建築物の耐震化を促進し、建築物の敷地の地震に対する安全性を確保することにより、市街地の防災性を向上させ、災害に強い安全なまちづくりを目指します。			
42 ①	まⅢ 3 ①	<b>枝事業名</b>	<b>建築物等耐震化支援事業</b>	所管部	都市計画部
枝事業概要		<p>建築物の耐震化を促進するため次の各種助成等を行い、27年度までに区内住宅の耐震化率90%達成を目標に事業推進を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建築物の予備耐震診断等のための技術者派遣</li> <li>・建築物の耐震診断等に要する経費への助成</li> <li>・木造建築物の耐震改修工事、簡易耐震改修工事、工事監理、耐震シェルター設置及び耐震ヘッド設置に要する経費を助成</li> <li>・非木造建築物の耐震改修工事に要する経費への助成</li> <li>・モデル地区事業</li> <li>・ブロック塀除去に要する経費への助成</li> <li>・がけの現況調査のための技術者派遣</li> </ul>			
23年度末の現況 (予定)	27年度末の目標	年度別計画			
		24年度	25年度	26年度	27年度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・予備耐震診断 (木造) 210件 (非木造) 80件 (がけ・擁壁) 10件</li> <li>・耐震調査・計画費助成 (木造) 100件 (非木造) 30件</li> <li>・耐震補強工事費助成 (木造) 43件 (非木造) 8件</li> <li>・工事監理費助成 (木造) 43件</li> <li>・モデル地区事業</li> <li>・ブロック塀除去費助成 10件</li> <li>・耐震シェルター・耐震ヘッド設置費助成 15件</li> <li>・耐震補強工事費助成 329戸</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予備耐震診断 (木造) 840件 (非木造) 600件 (がけ・擁壁) 40件</li> <li>・耐震調査・計画費助成 (木造) 400件 (非木造) 360件</li> <li>・耐震補強工事費助成 (木造) 172件 (非木造) 32件</li> <li>・工事監理費助成 (木造) 172件</li> <li>・モデル地区事業</li> <li>・ブロック塀除去費助成 40件</li> <li>・耐震シェルター・耐震ヘッド設置費助成 60件 (以上、4年間の合計)</li> <li>・耐震補強工事費助成 1,000戸</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予備耐震診断 (木造) 210件 (非木造) 150件 (がけ・擁壁) 10件</li> <li>・耐震調査・計画費助成 (木造) 100件 (非木造) 150件</li> <li>・耐震補強工事費助成 (木造) 43件 (非木造) 8件</li> <li>・工事監理費助成 (木造) 43件</li> <li>・モデル地区事業</li> <li>・ブロック塀除去費助成 10件</li> <li>・耐震シェルター・耐震ヘッド設置費助成 15件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震調査・計画費助成 (木造) 100件 (非木造) 30件</li> </ul>		
事業費(千円)	3,453,744	1,143,436	1,143,436	583,436	583,436
<b>対象事業の主な指標</b>					
枝事業名	指標名	定義	23年度末の現況(予定)	27年度末の目標	
建築物等耐震化支援事業	耐震補強工事費助成	耐震補強工事費を助成した件数	(木造) 43件 (非木造) 8件	(木造) 172件 (非木造) 32件	
		耐震補強工事費を助成した戸数	329戸	1,000戸	

42 ②	まⅢ 3 ①	枝事業名	擁壁・がけ改修等支援事業			所管部	都市計画部
枝事業概要		<p>平成 21 年度から 23 年度にかけて、一定高さ以上の擁壁・がけの現地点検調査を実施しました。その調査結果に基づき安全化のための指導・啓発を実施します。</p> <p>併せて、崩壊・転倒した際に近接する家屋やその居住者の生命に大きな危害を及ぼす恐れのある擁壁等、及び大規模災害時の救助・救援活動等を円滑に行う上で重要な道路に近接する擁壁等については、改修工事にかかる費用の一部を助成します。法人所有の擁壁等については、中小企業者（中小企業基本法第 2 条第 1 項に規定する者）までを助成の対象とします。</p> <p>また、擁壁等の改修を検討する場合には、改修工事に関する専門的なアドバイスを行うコンサルタントの派遣制度を創設します。</p>					
23 年度末の現況 (予定)	27 年度末の目標	年度別計画					
		24 年度	25 年度	26 年度	27 年度		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ がけ・擁壁現地点検調査</li> </ul> 約 3,500 件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 安全化指導・啓発</li> <li>・ 改修工事費助成 15 件</li> <li>・ コンサルタント派遣 15 件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 安全化指導啓発 約 3,500 件</li> <li>・ 改修工事費助成 2 件</li> <li>・ コンサルタント派遣 2 件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 安全化指導啓発 約 1,200 件</li> <li>・ 改修工事費助成 3 件</li> <li>・ コンサルタント派遣 3 件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 安全化指導啓発 約 1,200 件</li> <li>・ 改修工事費助成 5 件</li> <li>・ コンサルタント派遣 5 件</li> </ul>	→		
事業費 (千円)	45,040	5,682	8,314	15,522	15,522		

対象事業の主な指標				
枝事業名	指標名	定義	23 年度末の現況 (予定)	27 年度末の目標
擁壁・がけ改修等支援事業	改修工事費助成	擁壁等の改修工事に要する費用の一部を助成した件数	—	15 件
	コンサルタント派遣	擁壁等の改修の検討に際し、コンサルタントを派遣した件数	—	15 件

1日目討議② B-1グループ	
<b>建築物等の耐震性強化</b> ① 建築物等耐震化支援事業 ② 擁壁・がけ改修等支援事業	
(討議の方法例) 評価内容/問題点・課題/条件/提案など	
優先度をつけて耐震化	民間企業、都、国の施設は区民税から出すのか?
個々の住宅よりもガケ、小学校、広域避難場所、緊急輸送道路	目標が少なすぎる 桁違いに遅い
耐震ベッドの意味があるのか	地震(耐震)火災のセットで考えた方が
ハザードマップと合わせて活用	火災、地震、ガケ崩れをセットにして
告知不足	
資料配布方法の検討	
ハザードマップをHPだけでなく	
<b>■主な意見(5つまで)</b> ◆ 火災対策もあわせてほうが良い(大震災) ◆ 優先度と重要度を考慮して進めた方が良い ◆ 国、都、鉄道会社、民間企業と調整し、財源を決めた方が良い ◆ 目標に対して進捗が遅すぎる	

1日目討議② B-2グループ	
<b>建築物等の耐震性強化</b> ① 建築物等耐震化支援事業 ② 擁壁・がけ改修等支援事業	
(討議の方法例) 評価内容/問題点・課題/条件/提案など	
56年以降に対して片手落ち	悪い物件には古い新しいにかかわらず対応してほしい
	補助金について知られていない(告知不足)
	S56年以降も対応してほしい! 築0年~耐震診断してほしい!
ガケについて責任はどこ? 土地の持ち主? 新宿区?	優先順位をつける
	危険な場所の表示をしてほしい
	ブロック塀除去は、除去した後、建ててくれないのか?
<b>■主な意見(5つまで)</b> ◆ 昭和56年以降、以前にしなければ耐震診断はすべての家屋を対象に ◆ 危険な擁壁箇所には看板等で知らせてほしい ◆ 補助金について告知不足	

1日目討議② B-3グループ	
<b>建築物等の耐震性強化</b> ① 建築物等耐震化支援事業 ② 擁壁・がけ改修等支援事業	
(討議の方法例) 評価内容/問題点・課題/条件/提案など	
擁壁・がけ(緊急輸送道路)は緊急に改修してほしい(遅くとも10年以内とか・・・)	擁壁・がけ改修は緊急にやるべき
	がけを急いで補強
擁壁は、優先度を高くし、特に緊急輸送道路わきは、なお早く	耐震補強の補助金が少ない
	補助金が少なすぎる
建築物等耐震化を進めてもらいたい	耐震シェルター、耐震ベッドの補助金増大
今後の生活のことを思うと、これだけのお金を使うことに躊躇する	耐震補強・診断をもっとアピールすべき(知らない人もいますか?)
<b>■主な意見(5つまで)</b> ◆ 擁壁・がけ改修は今の計画より、もっと早く進めてほしい ◆ 耐震補強・診断をもっとアピールするべき ◆ 耐震補強の補助金の増額を希望	

1日目討議② B-4グループ	
<b>建築物等の耐震性強化</b> ① 建築物等耐震化支援事業 ② 擁壁・がけ改修等支援事業	
(討議の方法例) 評価内容/問題点・課題/条件/提案など	
心配なこと 牛込柳町:古い家、老人世帯を建物規準より、住んでる人!	避難所を知っているか?
古い建物より、看板、ビルガラス、人口の密集地も怖い	3.11で避難したか?
消防団が減っている 若者が来ない	神楽坂は行き止まりが多い 不安全体を解消すべき
	規準は守られているか?
	いっそのこと木造禁止!?
	地震火災が阪神淡路でも多かった
	津波、火災複合的に考えるべき
	「地震がきたら一緒」津波、自然には勝てない
	耐震と災害対策をセットで
	結局予算問題
	神田川 放射性汚染
<b>■主な意見(5つまで)</b> ◆ 建物の基準より、老人世帯など住んでいる人を津波・地震火災など複合的に考えるべき ◆ 看板・ビルの窓ガラス等の規準 ◆ 規準はそもそも守られているのか? ◆ 人口の密集も考慮すべき ◆ 防災ベッドの補助は認知されていない	

43	まⅢ 3①	<b>計画事業名</b>	道路・公園の防災性の向上	総事業費	224,470
計画事業概要		地震や豪雨等の自然災害に強いまちづくりを推し進めるために、区の管理する道路・公園の整備を行い、防災性の向上を図ります。			
43①	まⅢ 3①	<b>枝事業名</b>	道路・公園の治水対策	所管部	みどり土木部
枝事業概要		東京都豪雨対策基本方針に基づく豪雨対策を計画的に実施します。 道路公園の治水対策として、水害の発生した地域等において、経年劣化により透水機能が低下した舗装等の機能回復や浸透施設の拡充を実施していくことで、区内における水害を軽減し、災害に強いまちづくりに貢献します。			
23年度末の現況 (予定)	27年度末の目標	年度別計画			
		24年度	25年度	26年度	27年度
<ul style="list-style-type: none"> <li>道路の治水対策 透水性舗装の実施 (120,509㎡)</li> <li>公園の治水対策 雨水浸透貯留施設の 整備 (1,572㎡)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>道路の治水対策 透水性舗装、浸透 ます等の新設・改 修 (130,509㎡)</li> <li>公園の治水対策 雨水浸透貯留施設 の整備 (1,872㎡)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>道路の治水対策 透水性舗装、浸透 ます等の新設・改 修 (2,500㎡相当)</li> <li>公園の治水対策 雨水浸透貯留施設 の整備 (100㎡相 当)</li> </ul>			
事業費 (千円)	143,150	39,350	39,350	39,350	25,100

対象事業の主な指標				
枝事業名	指標名	定義	23年度末の現況 (予定)	27年度末の目標
道路・公園の治水対策	道路の治水対策	透水性舗装、浸透ます等の新設・改修	120,509㎡	130,509㎡
	公園の治水対策	公園内に整備した雨水浸透貯留施設の容量	1,572㎡	1,872㎡

43②	まⅢ3①	枝事業名	道路・公園擁壁の安全対策			所管部	みどり土木部
枝事業概要		平成 18 年度に実施した道路・公園擁壁等調査で注意を要すると判断された箇所を主対象に、計画的に点検調査を実施します。点検調査を基に改修及び補修を行うことで、災害に強い安全な道路・公園の整備を図ります。					
23 年度末の現況 (予定)	27 年度末の目標	年度別計画					
		24 年度	25 年度	26 年度	27 年度		
擁壁点検 ・道路擁壁 5 箇所  ・公園擁壁 10 園	・道路擁壁 改修工事(白銀町・ 24 年度) 点検(5 箇所/年)  ・公園擁壁 点検(10 園/年)	・道路擁壁 改修工事 (白銀町) 点検(5 箇所)	・道路擁壁 擁壁点検(5 箇所)				
事業費(千円)	57,400	57,100	100	100	100		

## 対象事業の主な指標

枝事業名	指標名	定義	23 年度末の現況(予定)	27 年度末の目標
道路・公園擁壁の安全対策	擁壁の点検箇所数	注意を要すると判断した擁壁(15 箇所)の点検	—	毎年 15 箇所

43③	まⅢ3①	枝事業名	公園における災害対応施設の整備			所管部	みどり土木部
枝事業概要		災害発生時に、区民等への支援を行う機能をより一層充実させるため、比較的規模が大きい公園で多目的貯水槽が設置可能な公園に、災害用トイレ及び多目的貯水槽等を設置します。					
23 年度末の現況 (予定)	27 年度末の目標	年度別計画					
		24 年度	25 年度	26 年度	27 年度		
・災害用トイレ設置 (9 園)  ・多目的貯水槽 (未設置)	・災害用トイレを設 置した公園数 (11 園)  ・多目的貯水槽 (4 園)	・災害用トイレ、多 目的貯水槽設置 (鶴巻南公園、み なみもと町公園)	・災害用トイレ増設、 多目的貯水槽設置 (西戸山公園、花 園公園)				
事業費(千円)	23,920	11,960	11,960				

## 対象事業の主な指標

枝事業名	指標名	定義	23 年度末の現況(予定)	27 年度末の目標
公園における災害対応施設の整備	災害用トイレを設置した公園数	災害用トイレ(下水道直結型またはビット型)を設置した公園の園数	9 園	11 園
	多目的貯水槽を設置した公園数	多目的貯水槽を設置した公園の園数	—	4 園

1日目討議② C-1グループ	
<b>道路・公園の防災性の向上</b> ① 道路・公園の治水対策 ② 道路・公園擁壁の安全対策 ③ 公園における災害対応施設の整備	
(討議の方法例) 評価内容/問題点・課題/条件/提案など	
トイレは必要	インフラとして必要だ と思うからある程度や ったほうがいいと思う
災害対策、災害予防とし て今出来ることからや ったほうがいい	災害時に発生する病気 や二次災害を防ぐこと にもつながる
	道路の治水対策として 透水性舗装が最適なも のか、検討過程が知りた い
	対策をして民間にも競 わせることで産業の活 性化にもなる
	東京は緑と土が少ない ので地面に水がしみこ むよう 緑をもっと
工事による様々な問題 にも配慮してほしい	緑化を進めながらや ってほしい
<b>■主な意見(5つまで)</b> ◆ 防災対策は必要、今できることからやってほしい ◆ 検討過程が知りたい(道路の透水性舗装が最適な) (緑化による保水性確保)	

1日目討議② C-2グループ	
<b>道路・公園の防災性の向上</b> ① 道路・公園の治水対策 (A) ② 道路・公園擁壁の安全対策 (B) ③ 公園における災害対応施設の整備 (C)	
(討議の方法例) 評価内容/問題点・課題/条件/提案など	
前提条件 何日耐えら れるのを想定している のか	B お墓とかのがけく ずれば行政指導できな いのか
	C 公園の遊具の配置 が中央によっているよ うな気がします 防災 で人が集まることに対 応していないのか?
	C 危険情報をどうや って教えてくれるの か?(夜中、大雨できこ えない時)
A 目詰まり対策は本 当に万全か?(つまって るよ)	C イベントで防災ト イレとか井戸とかを紹 介および使ってみる
A 歩道の傾斜は治水 対策ではよいが、歩行の 安全性からみてどうな のか	B 非常用の電源があ るのか?
	C トイレがあるのを 知っている人とそれを 誰が設置するのかわか らない 管理者は?
<b>■主な意見(5つまで)</b> ◆ 歩道の目詰まり対策で傾斜になっているのは良いが、歩行者の安全性からみてどう か?(車いす、ベビーカー系) ◆ 防災マップの配布とイベント等で、防災トイレや井戸等を紹介するのはどうか(ゲ ーム感覚で) ◆ 公園の非常用電源はどうなっているのか(防災マップにのせたらどうか) ◆ 道路や樹木が倒れた時の情報はどうやって知るのか? ◆ 危険をどうやって知るのか?防災トイレは誰が設置するのか(管理者がわからない)	

1日目討議② C-3グループ	
<b>道路・公園の防災性の向上</b> ① 道路・公園の治水対策 ② 道路・公園擁壁の安全対策 ③ 公園における災害対応施設の整備	
(討議の方法例) 評価内容/問題点・課題/条件/提案など	
	豪雨対策 時間当たり 100ミリの対応した ほうが良いのでは
	とりあえず賛成
学校に避難する人が多 いから学校にもトイレ を	区民が使う私道は区 のお金で修理してほしい
災害用トイレ もっと 設置 公園以外にも	雨水をためる空間も昔 段は使わないのがもっ たいない!!
各公園にトイレを設置 してほしい	工事後と水があふれ たので工事をちゃんと してほしい!点検をし て!
そこらへんのマンホー ルを全部トイレに	雨水をどうにか使えな いの?
	簡易トイレ 新宿区 提供を行う
	和式トイレを洋式ト イレに変更してほしい
<b>■主な意見(5つまで)</b> ◆ 簡易トイレを各家に配ってほしい ◆ とにかくトイレをいっぱい作ってほしい ◆ 豪雨対策を時間あたり 100ミリまで上げてほしい ◆ 区民が使う私道は区のお金で整備してほしい 工事後と点検して ◆ 雨水と雨水を貯める空間をもっと有効に使えないのか	

1日目討議② C-4グループ	
<b>道路・公園の防災性の向上</b> ① 道路・公園の治水対策 ② 道路・公園擁壁の安全対策 ③ 公園における災害対応施設の整備	
(討議の方法例) 評価内容/問題点・課題/条件/提案など	
防災トイレの設置場 所・使用方法を区民にも 知らせてほしい	防災は必要性高い
	風に対する対策の検討 を始めてほしい
対策工事の結果の伝達 を	
<b>■主な意見(5つまで)</b> ◆ 防災トイレの設置場所・使用方法を区民に知らせてほしい ◆ 風に対する対策の検討を始めてほしい	



2	ま I 1 ②	<b>計画事業名</b>	NPO や地域活動団体等、多様な主体との協働の推進		総事業費	325,167
計画事業概要		<p>地域を支える NPO や地域活動団体などの多様な主体との協働を促進するため、「(仮称) NPO ふれあいひろば」を開設するとともに、協働推進基金等によって区民を対象として社会貢献活動に取り組む団体の活動の支援を行います。</p> <p>また、協働事業提案制度については課題を検証及び検討することで、地域活動団体等と区の協働をさらに推進していきます。</p>				
2 ①	ま I 1 ②	<b>枝事業名</b>	協働事業提案制度の推進		所管部	地域文化部
枝事業概要		<p>特定非営利活動法人及び市民活動団体等の、社会貢献活動を行う営利を目的としない地域活動団体から、その専門性や柔軟性を生かした事業提案を公募し、審査会により選定された事業を区が決定し、提案団体と協働して実施します。</p> <p>24年度は、提案制度の課題を検証及び検討し、事業の見直しを行います。</p>				
23年度末の現況(予定)	27年度末の目標	年度別計画				
		24年度	25年度	26年度	27年度	
・実施事業 5事業 (新規2、継続3)	・見直し後の協働事業提案制度の実施	・4事業実施(新規2、継続2)  ・制度の検証及び検討	・2事業実施(継続2)  ・見直し後の協働事業提案制度の実施	→		
事業費(千円)	34,140	21,890	11,890	180	180	

## 対象事業の主な指標

枝事業名	指標名	定義	23年度末の現況(予定)	27年度末の目標
協働事業提案制度の推進	協働事業提案制度見直しの進捗状況	協働事業提案制度の見直しと、見直し後の制度による事業実施の状況	検討準備	24年度 検討 25年度 見直し後の協働事業提案制度の実施

2③	ま I 1 ②	枝事業名	協働推進基金を活用した NPO 活動資金助成			所管部	地域文化部
枝事業概要		区に NPO 活動団体登録をした NPO 法人が、区民を対象として実施する社会貢献事業に対して、区民や事業者からの寄附金と区費を積み立てた協働推進基金を活用した助成を行います。					
23 年度末の現況 (予定)	27 年度末の目標	年 度 別 計 画					
		24 年度	25 年度	26 年度	27 年度		
・協働推進基金による NPO 活動資金助成事業数 4 件	・助成事業数 6 件 (4 年間計 24 件)	・助成事業数 6 件 (総額 300 万円)					
事業費 (千円)	17,176	4,294	4,294	4,294	4,294		

対象事業の主な指標				
枝事業名	指標名	定義	23 年度末の現況 (予定)	27 年度末の目標
協働推進基金を活用した NPO 活動資金助成	NPO 活動資金助成による助成事業数	NPO 活動資金助成により助成金を交付した団体数	4 団体/年	6 団体/年

2④	ま I 1②	枝事業名	NPOをはじめ地域を支える社会活動団体のネットワークの拡充	所管部	地域文化部
枝事業概要		<p>新宿 NPO ネットワーク協議会と連携して、新宿区で活動する社会貢献活動団体のネットワークをつくり、それぞれの分野の専門性を活かし、各団体が地域で活動する中での課題についての意見交換や相互支援を行うとともに、地域活動情報の提供や区が抱える課題解決に向けた活動を行います。</p> <p>NPO 等に関する情報発信の拠点、NPO の各団体が広く交流する場、また各団体の体制基盤を強化する場として平成 25 年度に「(仮称) NPO ふれあいひろば」を開設します。</p>			
23 年度末の現況 (予定)	27 年度末の目標	年度別計画			
		24 年度	25 年度	26 年度	27 年度
<ul style="list-style-type: none"> <li>新宿 NPO ネットワーク協議会加盟団体数 35 団体</li> <li>(仮称) NPO ふれあいひろばの開設準備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新宿 NPO ネットワーク協議会加盟団体数 50 団体</li> <li>(仮称) NPO ふれあいひろば登録団体数 100 団体</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新宿 NPO ネットワーク協議会の運営支援</li> <li>(仮称) NPO ふれあいひろばの開設準備</li> <li>新宿 NPO 活動交流・支援事業の実施(25 年度からは、ひろばで実施)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(仮称) NPO ふれあいひろばの開設・運営</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(仮称) NPO ふれあいひろばの運営</li> </ul>	<p>→</p> <p>→</p>
事業費(千円)	260,980	29,710	77,090	77,090	77,090

対象事業の主な指標

枝事業名	指標名	定義	23 年度末の現況(予定)	27 年度末の目標
NPOをはじめ地域を支える社会活動団体のネットワークの拡充	新宿 NPO ネットワーク協議会加盟団体数の促進	新宿 NPO ネットワーク協議会加盟団体数	35 団体	50 団体
	(仮称) NPO ふれあいひろば登録団体数の促進	(仮称) NPO ふれあいひろば利用登録団体数	開設準備	100 団体

2⑤	まI1②	枝事業名	協働促進のための情報提供	所管部	地域文化部
枝事業概要		<p>地域を支える多様な主体の活動や協働と参画によるまちづくりへの区民の一層の理解・参加を図るため、新宿区民活動支援サイトによる地域活動情報の発信や、協働事業普及啓発冊子の作成を行います。</p> <p>24年度は、(仮称) NPO ふれあいひろばでの協働事業の情報提供の仕組みについて検討します。</p>			
23年度末の現況 (予定)	27年度末の目標	年度別計画			
		24年度	25年度	26年度	27年度
<ul style="list-style-type: none"> <li>新宿区民活動支援サイト「キラミラネット」の運営</li> <li>サイト登録団体数 103 団体</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報提供の仕組みについて検討 (24年度末)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新宿区民活動支援サイト「キラミラネット」の運営</li> <li>協働事業普及啓発冊子の作成</li> <li>情報提供の仕組みについて検討</li> </ul>	—	—	—
事業費 (千円)	6,447	6,447	—	—	—

対象事業の主な指標				
枝事業名	指標名	定義	23年度末の現況 (予定)	27年度末の目標
協働促進のための情報提供	情報提供のしくみを検討	(仮称) NPO ふれあいひろばでの協働事業の情報提供の仕組みを検討する	検討準備	仕組みを検討 (24年度)

1日目討議③ A-1グループ
<p><b>NPO や地域活動団体等、多様な主体との協働の推進</b></p> <p>① 協働事業提案制度の推進 ② 協働推進基金を活用した NPO 活動資金助成 ③ NPO をはじめ地域を支える社会活動団体のネットワークの拡充 ④ 協働促進のための情報提供</p>
<p>(討議の方法例) 評価内容/問題点・課題/条件/提案など</p> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">活動内容の透明性を明らかに→NPO 監視</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">オブザーバーが必要？ 区職員の人でもなく団体と関係ない</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">どのような事業にどれだけの費用がかかっているのか明確に</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">NPO の団体を多くすることは行政のコントロールが出来ず浅い活動となる</div> </div>
<p>■主な意見（5つまで）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 第三者機関の監視体制の強化</li> <li>◆ コスト分析・・・どの事業にどれだけの費用がかかっているのか明確に</li> <li>◆ 団体の数を増やさない 行政のコントロールが出来ず活動が浅くなる</li> </ul>

1日目討議③ A-2グループ
<p><b>NPO や地域活動団体等、多様な主体との協働の推進</b></p> <p>① 協働事業提案制度の推進 ② 協働推進基金を活用した NPO 活動資金助成 ③ NPO をはじめ地域を支える社会活動団体のネットワークの拡充 ④ 協働促進のための情報提供</p>
<p>(討議の方法例) 評価内容/問題点・課題/条件/提案など</p> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">日頃の接点がないため、具体的な活動がわからない</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">適切な情報を区民・住民に公表 情報提供してほしい</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">区民参加の促進（決定に区民の声を）</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">住みやすい町づくりに必要</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">活動の透明性</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">外部からのアドバイス導入（役所は専門家でない場合があるから）</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">事業の重要度・緊急性をわかりやすく公開</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">関心をもてる計画・企画・情報の発信の方法が必要</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">採用事業の継続的な評価をすべき</div> </div>
<p>■主な意見（5つまで）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 具体的な活動内容がわからない</li> <li>◆ 情報提供・情報公開重要度（ランク分け等）・緊急性をわかりやすく</li> <li>◆ 決定過程に区民の声を</li> <li>◆ 採用事業の継続的評価</li> </ul>

1日目討議③ A-3グループ
<p><b>NPO や地域活動団体等、多様な主体との協働の推進</b></p> <p>① 協働事業提案制度の推進 ② 協働推進基金を活用した NPO 活動資金助成 ③ NPO をはじめ地域を支える社会活動団体のネットワークの拡充 ④ 協働促進のための情報提供</p>
<p>(討議の方法例) 評価内容/問題点・課題/条件/提案など</p> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">NPO と区が対等な関係を築けるよう目指して必要な支援を行うべ</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">NPO の活動実態を open にし、実績を評価できる仕組みが必要</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">個々の NPO の活動で対応するもの、ニーズをくみ上げて区事業でやるもの等の仕分けが大事</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">地域のニーズから区がいくつか事業分野をしぼり、担い手を募るやり方もあるのではない</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">多様なニーズをくみ上げるために NPO 拡充は大事、区の実支援</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">NPO の数が増える中、悪質なものが出来ている チェック体制必要</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">基金制度の仕組みはいいが、周知、広報が足りない</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">基金の支援が活動の向上にどれだけ寄与しているのかを発信すべきでは？</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">ニーズが多い分野については、区が企画のフレームを示し、NPO がその担い手として企画提案をする形もあるのでは？</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">ふれあい広場を貸会議室機能として利用するのは付加価値が低いのでは？</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">寄付を集めるためには応援したい気持ちを育てる仕組み大事 サポーターを巻きこんでいけるような工夫できないか？</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">自立するまでの間、オフィス貸与、運営支援し、一定期間に卒業できるよう支援する方がよいのでは？</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">NPO 活動の成果を情報発信すること大事</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">ふれあい広場は NPO のインキュベーション施設としての役割を強化しては？具体的には運営ノウハウの伝授、共有に役立てて欲しい</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">新聞をとっていないと区報が手に取らない図書館にあることも知られていない</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">冊子による情報発信が適切なのか？</div> </div>
<p>■主な意見（5つまで）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ NPO と区が対等な関係を築くことができるよう、自立した NPO 育成が事業全体の基本方針</li> <li>◆ ふれあい広場を NPO 育成の中核地として活用（自立までの一定期間、オフィス貸与、ノウハウ提供・共有等、好循環の仕組み作りが大事）</li> <li>◆ 基金により寄付が集まる仕組み作り大事（寄付の効果が見える形でサポーターを巻きこむ仕組み）</li> <li>◆ 情報発信には更なる工夫が必要</li> </ul>

1日目討議③ A-4グループ
<p><b>NPO や地域活動団体等、多様な主体との協働の推進</b></p> <p>① 協働事業提案制度の推進 ② 協働推進基金を活用した NPO 活動資金助成 ③ NPO をはじめ地域を支える社会活動団体のネットワークの拡充 ④ 協働促進のための情報提供</p>
<p>(討議の方法例) 評価内容/問題点・課題/条件/提案など</p> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">新信力を高める上で必要だがやすらぎ、にぎわいにどうつながるのか NPO のそれぞれの事業内容がわからない</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">基金の管理・運用の定期チェックの厳格化を求める 社会貢献が加盟の重点だが親睦団体の心配あり チェック基準の明確化</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">「ふれあい広場」って何のためにあるのだろう（人件費？実体不明）</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">助成金や審査にコストをかけるよりも、側面支援 作りやすい環境のみの方がよいのでは？</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">NPO が「ひもつき」「お上公認」になるのは困る</div> </div>
<p>■主な意見（5つまで）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ やすらぎ、にぎわいにどうつながるのか見えてこない</li> <li>◆ 基金の管理・運用の厳格化が必要</li> <li>◆ 助成金によって管理・審査コストをかけるより、自由にして側面支援すべき</li> <li>◆ 「ふれあい広場」の目的・実態が不明（人件費？）</li> </ul>

52	まⅣ 1 ②	<b>計画事業名</b>	<b>道路の温暖化対策</b>	総事業費	440,976
----	--------	--------------	-----------------	------	---------

計画事業概要		環境に配慮した道路舗装や街路灯の整備を実施することで、道路からの温室効果ガス抑制や大気汚染対策を進め、地球温暖化の防止を図ります。			
--------	--	---	--	--	--

52 ①	まⅣ 1 ②	<b>枝事業名</b>	<b>環境に配慮した道づくり</b>	所管部	みどり土木部
------	--------	-------------	--------------------	-----	--------

枝事業概要		環境に配慮した道路舗装（遮熱性舗装）を実施することで、ヒートアイランド現象の抑制を目指します。また、多摩の間伐材を利用した木製防護柵（ガードフェンス）を設置することで、まちに潤いや温もりを与えるとともに、資源の有効活用を図っていきます。			
-------	--	--	--	--	--

23年度末の現況 (予定)	27年度末の目標	年度別計画			
		24年度	25年度	26年度	27年度
・遮熱透水性舗装 8,096㎡	・遮熱性舗装 4,000㎡ (計 12,096㎡)	・遮熱性舗装 1,000㎡			→
・木製防護柵 延長 772m	・木製防護柵 延長 400 m (計 1,172m)	・木製防護柵 延長 100m			→
・低 VOC 塗装* 3,721㎡	・低 VOC 塗装 2,800㎡ (計 6,521㎡)	・低 VOC 塗装 700㎡			→
事業費 (千円)	153,292	38,323	38,323	38,323	38,323

※ 低 VOC 塗料とは、光化学スモッグ等の原因物質にもなる揮発性有機化合物（VOC）の含有量が少ない塗料をいいます。橋りょう塗装の際に用いることで、大気汚染防止効果があります。

**対象事業の主な指標**

枝事業名	指標名	定義	23年度末の現況 (予定)	27年度末の目標
環境に配慮した道づくり	遮熱性舗装の施工	遮熱性舗装の施工面積	計 8,096㎡	4,000㎡ 計 12,096㎡
	木製防護柵の設置	木製防護柵の設置延長	計 772m	400m 計 1,172m
	低 VOC 塗装の施工	橋りょう塗装における低 VOC 塗装の施工面積	計 3,721㎡	2,800㎡ 計 6,521㎡

52 ②	まⅣ 1 ②	枝事業名	道路の節電対策			所管部	みどり土木部
枝事業概要		<p>道路の街路灯について、エネルギー効率の良い省エネタイプの機器、特にLED街路灯に積極的に改修することにより、温室効果ガスの抑制と節電対策を行います。</p> <p>また、区の街路灯が商店街灯と競合している路線については、区街路灯を改修する際に地元商店街と協議を行い、効果的な位置への再配置を行います。</p>					
23 年度末の現況 (予定)	27 年度末の目標	年 度 別 計 画					
		24 年度	25 年度	26 年度	27 年度		
・街路灯の省エネ化 (計 3,700 基改修)	<ul style="list-style-type: none"> <li>街路灯の改修 (LED街路灯 1,280 基・大型街路灯 60 基)</li> <li>商店街灯との競合路線の再配置 2 路線検討、工事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>街路灯改修 LED街路灯 320 基 大型街路灯 15 基</li> <li>競合路線の再配置 検討 1 路線</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>競合路線の再配置 工事 1 路線</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>競合路線の再配置 検討 1 路線</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>競合路線の再配置 工事 1 路線</li> </ul>		
事業費 (千円)	287,684	67,691	76,151	67,691	76,151		

## 対象事業の主な指標

枝事業名	指標名	定義	23 年度末の現況 (予定)	27 年度末の目標
道路の節電対策	街路灯の改修	街路灯のLED化 大型街路灯の省エネ化	—	街路灯LED1,280基 大型街路灯60基
	商店街灯との競合 路線の再配置	商店街灯と競合する路線の再配置 検討、工事数	—	2路線

1日目討議③ B-1グループ	
<b>道路の温暖化対策</b> ① 環境に配慮した道づくり ② 道路の節電対策	
(討議の方法例) 評価内容/問題点・課題/条件/提案など	
どうしてこの方法を取り入れることに決めたのか→前例、検証は？	そもそも環境って誰にととの環境なのか
あえて新宿区に木製防護柵を設置する理由が分からない	放射線が流れやすい舗装にしてほしい(木製より金属製が良いと聞くが)
低VOC塗料の価格に見合った効果があるのか	100wを超える大型灯の削減効果はどのくらいか
新宿区だけの問題では、収まりきらない→他の区は？	実施する時間によっては迷惑？
アピールなんだろうけれど、金属製のガードレールで充分	思っていたより、節電効果が得られていない
<b>■主な意見(5つまで)</b> ◆ なぜこの方法を取り入れたのか？(遮熱性舗装、低VOC塗料) ◆ 新宿区だけの問題では収まりきらない(他の都市、区の連携が必要) ◆ あえて新宿区に木製防護柵が必要か？ ◆ 街路灯は早めにLED街路灯を導入	

1日目討議③ B-2グループ	
<b>道路の温暖化対策</b> ① 環境に配慮した道づくり ② 道路の節電対策	
(討議の方法例) 評価内容/問題点・課題/条件/提案など	
歩道に限定	緊急？道路の除染を先に
遮熱で新塗料の検討	頑丈？(鉄に比べて)
間伐材は防護柵でなくても別の所に使える	VOC塗料は安いものを使う
LEDは半永久的推奨	太陽光パネルとバッテリーとの併用
<b>■主な意見(5つまで)</b> ◆ 遮熱性舗装：歩道に限定、新塗料、除染を先に ◆ 木製防護柵：鉄に比べて頑丈？間伐材は別の用途にも ◆ 低VOC塗料：費用対効果に疑問 ◆ LED：初期費用は高いが、世界の流れ：街灯は、太陽光パネル・バッテリーとの併用を	

1日目討議③ B-3グループ	
<b>道路の温暖化対策</b> ① 環境に配慮した道づくり ② 道路の節電対策	
(討議の方法例) 評価内容/問題点・課題/条件/提案など	
全部LED	道路の街灯を出来るだけ消さないでLEDに改修してもらいたい
道路の環境作り 自転車用 区別	排水性舗装より透水性舗装が良いと思う
人に優しい	蛍光灯が切れたらLEDに
低VOC塗料(橋りょう)を進めてもらいたい	バリアフリーに道路する
歌舞伎町の繁華街に間伐材がいいか	間伐材いくら？安ければ早急に繁華街の雰囲気をよくするため
低VOC塗料について鉄橋に使用9橋だけはなぜ？環境汚染軽減	木製の強度が心配
<b>■主な意見(5つまで)</b> ◆ 遮熱性舗装は良いのでぜひ推進していきたい ◆ 低VOCについては環境汚染軽減の観点から適用だけではなく他もしていきたい ◆ 繁華街のイメージアップの為に木製防護柵を設置する ◆ 蛍光灯が切れたら、LEDに交換していく	

1日目討議③ B-4グループ	
<b>道路の温暖化対策</b> ① 環境に配慮した道づくり ② 道路の節電対策	
(討議の方法例) 評価内容/問題点・課題/条件/提案など	
道づくり(舗装)は必要性が考えられない！	車道だけ塗っても対策にならない(歩道も含めて)
景観デザインを考えているか？道路の色さまざま、部分木製とか	節電(LED)大いにやるべし
木製防護柵の効果が見えない	自家発電できるような装置をつける(街路灯)
道路工事を効率的に	自家発電できるような装置をつける(街路灯)
<b>■主な意見(5つまで)</b> ◆ 環境に配慮した道づくりの3事業は必要性が考えられない ◆ 街路樹を増やしてほしい ◆ LED街路灯は率先して増やしてほしい ◆ 街路灯にソーラーパネルをつけ自家発電できるようにしてはどうか？	



59	まⅣ2②	<b>計画事業名</b>	新宿らしいみどりづくり			総事業費	173,513
計画事業概要		公共施設や民有地など様々な場所で、既存のみどりの保全を図るとともに、新宿らしい特色あるみどりづくりを行うことによって、まちの中で様々な花やみどりにふれることのできる、うるおいある都市空間を形成します。					
59①	まⅣ2②	<b>枝事業名</b>	みんなでみどり公共施設緑化プラン			所管部	みどり土木部
枝事業概要		公共施設において様々な手法により整備した多様なみどりを保全していきます。また、公共施設の緑化の一環として、区立公園等の植栽空間の再整備を行う「花の名所づくり」を進めます。					
23年度末の現況 (予定)	27年度末の目標	年度別計画					
		24年度	25年度	26年度	27年度		
・公共施設の緑化 45か所	・公共施設緑化やピ オトープの維持管 理・支援  ・花の名所づくりの 推進	・維持管理、支援	・花の名所づくり検 討、整備				
事業費(千円)	70,851	8,832	23,682	14,655	23,682		

## 対象事業の主な指標

枝事業名	指標名	定義	23年度末の現況(予定)	27年度末の目標
みんなでみどり公共 施設緑化プラン	公共施設の緑化	公共施設緑化やピオトープの維持管 理・支援	45か所	維持管理・支援

59 ②	まⅣ 2 ②	枝事業名	空中緑花都市づくり	所管部	みどり土木部
枝事業概要		<p>都市化の進展が著しい新宿区において、建築物の屋上や壁面への緑化といった多様な手法による緑化を「空中緑花」と位置づけ、緑化に向けて助成や普及啓発を図っていきます。</p> <p>また、新宿のまちが花やみどりであふれる都市空間になることを目指し、「新宿花いっぱい運動」として商店街等の道路空間や公共施設をハンギングバスケット<sup>※</sup>やプランターにより緑化します。花の維持管理については地域の区民等とともにを行います。</p>			
23年度末の現況 (予定)	27年度末の目標	年度別計画			
		24年度	25年度	26年度	27年度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・屋上等緑化助成 33件</li> <li>・ハンギングバスケット等設置 119基</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・屋上等緑化助成 40件 (計 73件)</li> <li>・「新宿花いっぱい運動」ハンギングバスケット等 新設 40基 (計 159基)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・屋上等緑化助成 10件</li> <li>・ハンギングバスケット等新設 10基</li> </ul>			
事業費 (千円)	38,848	9,712	9,712	9,712	9,712
<p>※ 「ハンギングバスケット」とは、かご状の容器に花を植え込んだ花飾りのことです。街灯や壁などの高い場所に飾ります。</p>					

対象事業の主な指標				
枝事業名	指標名	定義	23年度末の現況 (予定)	27年度末の目標
空中緑花都市づくり	屋上等緑化助成件数	区の助成により屋上及び壁面の緑化、接道部緑化を実施した件数	計 33 件	40 件 計 73 件
	ハンギングバスケット等設置基数	道路空間に新設したハンギングバスケット及びプランターの設置基数	計 119 基	新設 40 基 計 159 基

59③	まⅣ2②	枝事業名	樹木、樹林等の保存支援	所管部	みどり土木部
枝事業概要		<p>民有地の大きな樹木、まとまった樹林、りっぱな生垣を、保護樹木、保護樹林、保護生垣に指定し、維持管理費の一部を助成することや様々な支援を実施することにより、都市部における貴重なみどりの保存を支援していきます。</p> <p>また、公共用地の樹木等についても、保護指定に取り組んでいきます。</p>			
23年度末の現況 (予定)	27年度末の目標	年度別計画			
		24年度	25年度	26年度	27年度
・保護樹木の指定本数 1,066本	・保護樹木の指定本数 1,100本	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護樹木等の指定及び助成</li> <li>・緊急時の維持管理支援</li> <li>・保護樹木等移植費助成</li> <li>・特別保護樹木の指定及び維持管理支援</li> <li>・保護樹林等落葉回収処理</li> </ul>			
事業費(千円)	63,814	15,202	15,922	16,012	16,678

対象事業の主な指標				
枝事業名	指標名	定義	23年度末の現況(予定)	27年度末の目標
樹木・樹林等の保存支援	保護樹木指定本数	保護指定した樹木の総本数	1,066本	1,100本

**1日目討議③ C-1グループ**

**新宿らしいみどりづくり**  
 ① みんなでみどり公共施設緑化プラン  
 ② 空中緑花都市づくり  
 ③ 樹木、樹林等の保存支援

(討議の方法例) 評価内容/問題点・課題/条件/提案など

①「新宿らしさ」はデザイナーをつけて考えた方がよい(公募)	屋上は、ソーラーパネル 壁面緑化 河川の護岸はみどりにする
川沿いのツタ(?) 涼しそうで良い 全部の川で!	②今後建設を予定している人には補助を出すなどの工夫が必要
①今のままで良い	②ハンキングバスケットは見たことがないし、あまりわからない
	③一律の補助はやめて所得上位はやめて、神社、寺は補助を制限してほしい

**■主な意見(5つまで)**

- ◆ 「新宿らしさ」はデザイナー(公募等)をつけて都会らしく考えた方がよい
- ◆ 川沿いのツタは涼しそう(美しい)なのでもっとふやしてほしい
- ◆ 地震を経験して、屋上の緑化は難しい(ソーラーに負ける)
- ◆ 今後建設する建物には、一定の補助を出してはどうか
- ◆ 樹木に対し、一律の補助はやめて、所得制限を設ける(神社・寺は制限する)

**1日目討議③ C-2グループ**

**新宿らしいみどりづくり**  
 ① みんなでみどり公共施設緑化プラン  
 ② 空中緑花都市づくり  
 ③ 樹木、樹林等の保存支援

(討議の方法例) 評価内容/問題点・課題/条件/提案など

個人で緑化するのは難しいので公共施設で緑化していくのは良いと思う	ハンキングバスケットはいかがなものか… ・高い所なので見えにくい ・根づかないので枯れたらうえかえ必要
長期的(4年以上)な目標を具体的に	区立公園と災害時避難場所とだぶらないのか?
実績9件で目標10件は低いのでは?	樹木、樹林等の保存支援は賛成です。樹齢の古い樹木はそれだけで共有の財産と思います
	大きい樹木は生活者としていやされます
	屋上緑化に区民も参加できるようにする(野菜等)
	花の名所の一つとして「つつじ」「けやき」の公園を作っては

**■主な意見(5つまで)**

- ◆ 個人で緑化するのは難しいので公共施設で緑化していくのは良いと思うその際、長期的(4年以上)な目標を具体的に持つべき
- ◆ 区立公園 災害時避難場所としての活用と緑の保護との両立を
- ◆ ハンキングバスケットは、根付かない・高所で見にくい等、採用はいかがなものか
- ◆ 大きい樹木は生活者として癒されます 保存支援に賛成
- ◆ 緑を増やすこととして、「花の名所として(つつじ)(けやき)の公園作り」「屋上緑化に野菜作り」をとり入れ区民参加を促す

**1日目討議③ C-3グループ**

**新宿らしいみどりづくり**  
 ① みんなでみどり公共施設緑化プラン  
 ② 空中緑花都市づくり  
 ③ 樹木、樹林等の保存支援

(討議の方法例) 評価内容/問題点・課題/条件/提案など

緑化の助成金の拡大	樹種の選定になにか提案があってもよいのでは
屋上緑化の見直しは? 緑の登録制	
もっと区民にアピールすべき	区民に水やりをお願いを 風呂の残り湯など
技術・知識のある業者による管理を	

**■主な意見(5つまで)**

- ◆ 緑化の助成の拡大(アフター管理)
- ◆ 区民への協力の連携方法を考えてほしい
- ◆ 業者への技術・知識の指導・管理をしてほしい
- ◆ 屋上緑化の補助の基準をきめ細かくしてほしい

**1日目討議③ C-4グループ**

**新宿らしいみどりづくり**  
 ① みんなでみどり公共施設緑化プラン  
 ② 空中緑花都市づくり  
 ③ 樹木、樹林等の保存支援

(討議の方法例) 評価内容/問題点・課題/条件/提案など

ヒートアイランド防止のためにデパートの屋上などに草原を作るのは賛成です。マンションや個人の建物の緑化は難しいと思います	街路樹、街燈にある花籠はイルミネーションに?無駄と思う
空中緑花は全面的良いとは思わない ビルを痛める事もあると思う	街路樹をもう少し大事に育成してほしい 今は水まき車も見かけない
新宿は都会だし無理して緑を取り入れなくても	きれいな花やら管理が簡単なものをお願いします 街中はちょっとしたのでよい
屋上にあってもよく見えないし関わりがあんまりない	今あるものをちゃんと管理してほしい
新宿御苑 中央公園 赤坂…充分 緑は多い これ以上必要か	ごちゃごちゃして逆に見た目が悪い 虫が嫌
緑の中心は公園でいいのでは?	ツタやツルは見た目が悪く管理も大変なので進んでやろうとは思わないです

**■主な意見(5つまで)**

- ◆ 子供たちが集まる公園に緑を増やす(で充分)
- ◆ 空中緑花はビルを痛めることもあるし、よく、見えにくい
- ◆ 今ある樹木をちゃんと管理してほしい(水やり車が走ってない)

51	まⅣ 1 ②	<b>計画事業名</b>	地球温暖化対策の推進			総事業費	744,064
計画事業概要		<p>平成 23 年 3 月に策定した「新宿区地球温暖化対策指針」では、2020（平成 32）年度に達成を目指す温室効果ガス排出量削減とヒートアイランド現象の緩和に向けた目標を示すことで、社会基盤や生活スタイルを省エネ型にシフトし、CO<sub>2</sub> 排出量を減らしていく、「低炭素な暮らしとまちづくり」に向けた方向性を提示しています。この方針に基づき、区民、事業者、区が CO<sub>2</sub> 排出量削減に向けた積極的な取り組みを行うとともに、それぞれが連携することで、「低炭素な暮らしとまちづくり」の実現を目指します。</p>					
51 ①	まⅣ 1 ②	<b>枝事業名</b>	区民の低炭素な暮らしとまちづくりへの取組みの促進・支援			所管部	環境清掃部
枝事業概要		<p>区民一人ひとりの省エネルギーに対する意識向上を図り、身近な省エネ行動を始めるきっかけとなるよう、新宿エコ隊の登録数を増やし、みどりのカーテンの普及、新宿打ち水大作戦などの事業を実施します。</p> <p>また、住宅用再生可能エネルギー機器等の導入について経費の一部を補助し、家庭部門からの CO<sub>2</sub> 排出削減を図ります。</p>					
23 年度末の現況 (予定)	27 年度末の目標	年度別計画					
		24 年度	25 年度	26 年度	27 年度		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「みどりのカーテン」設置件数 1,500 件</li> <li>・「新宿エコ隊」登録数 2,000 人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「みどりのカーテン」設置件数 2,000 件</li> <li>・「新宿エコ隊」登録数 4,000 人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エコチェックノート</li> <li>・「家庭・環境にやさしい暮らしコンテスト」</li> <li>・区民向け環境対策講座</li> <li>・みどりのカーテン普及事業</li> <li>・省エネルギー機器の設置助成（高効率給湯器、高反射率塗料、太陽光発電システム）</li> <li>・新宿エコ隊普及事業</li> <li>・新宿打ち水大作戦</li> </ul>					
事業費（千円）	391,672	99,418	97,418	97,418	97,418		

## 対象事業の主な指標

枝事業名	指標名	定義	23 年度末の現況 (予定)	27 年度末の目標
区民の低炭素な暮らしとまちづくりに向けての取組みの促進・支援	みどりのカーテンの普及	区民・事業所・区有施設等にみどりのカーテンを設置した件数	1,500 件	2,000 件
	新宿エコ隊登録数	新宿エコ隊登録数	2,000 人	4,000 人

51 ②	まⅣ 1 ②	枝事業名	事業者の低炭素な暮らしとまちづくりへの取組みの促進・支援		所管部	環境清掃部
枝事業概要		中小事業所が多数を占める新宿区において、事業者の省エネ行動を促進するため、省エネルギー診断や環境マネジメントシステム認証取得助成等、中小事業者向けの各種事業を実施し、業務部門における温室効果ガスの削減を図ります。				
23年度末の現況 (予定)	27年度末の目標	年度別計画				
		24年度	25年度	26年度	27年度	
<ul style="list-style-type: none"> <li>省エネルギー診断実施事業者数 20件</li> <li>地球温暖化対策支援補助金受給件数 10件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>省エネルギー診断実施事業者数 30件</li> <li>地球温暖化対策支援補助金受給件数 10件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>省エネルギー診断</li> <li>環境マネジメント認証助成5社</li> <li>省エネ技術研修セミナー</li> <li>太陽光発電システム機器の設置助成ほか</li> </ul>				
事業費(千円)	73,124	18,281	18,281	18,281	18,281	18,281

対象事業の主な指標				
枝事業名	指標名	定義	23年度末の現況(予定)	27年度末の目標
事業者の低炭素な暮らしとまちづくりに向けての取組みの促進・支援	省エネルギー診断実施件数	省エネルギー診断を実施した事業者数	20件	30件
	地球温暖化対策支援補助金受給件数	地球温暖化対策支援補助金受給件数	10件	10件

51 ③	まⅣ 1 ②	枝事業名	区が率先して取り組む地球温暖化対策			所管部	環境清掃部
枝事業概要		温室効果ガスの削減に向けて、区が率先して、区有施設に太陽光発電等を設置し、地球温暖化対策及びその見える化を推進し、普及啓発を図ることにより、区民や事業者の取組みを促進します。また、伊那市、沼田市、あきる野市の「新宿の森」での間伐・植林活動や森林保全を支援し、カーボンオフセット <sup>※</sup> による区内のCO <sub>2</sub> 削減の仕組みづくりを検討・推進します。					
23年度末の現況 (予定)	27年度末の目標	年度別計画					
		24年度	25年度	26年度	27年度		
・「新宿の森・伊那」 間伐CO <sub>2</sub> 吸収量 680t	・「新宿の森・伊那」 間伐CO <sub>2</sub> 吸収量 1,740t (4年間の 合計)	・地球温暖化対策及 び見える化推進  ・区有施設における 太陽光発電設備の 設置	}	}	}	}	
・「新宿の森・沼田」 植林CO <sub>2</sub> 吸収量 25t	・「新宿の森・沼田」 植林CO <sub>2</sub> 吸収量 165t (4年間の合 計)	・「新宿の森」カー ボンオフセット事 業  ・グリーン電力の購 入					
事業費(千円)	279,268	81,132	71,532	71,772	54,832		
※カーボンオフセットとは、経済活動や生活を通して「ある場所」で排出されたCO <sub>2</sub> を、植林・森林保護、グリーンエネルギー事業等により「他の場所」で直接的、間接的に吸収しようとする考え方や活動の総称をいいます。							
(関連事業) 19 エコスクールの整備推進							

## 対象事業の主な指標

枝事業名	指標名	定義	23年度末の現況(予定)	27年度末の目標
区が率先して取り組む地球温暖化対策	CO <sub>2</sub> 削減量	「新宿の森・伊那」間伐CO <sub>2</sub> 吸収量 「新宿の森・沼田」植林CO <sub>2</sub> 吸収量	伊那 21年～23年 (累計 680t-CO <sub>2</sub> ) 沼田 22年～23年 (累計 25t-CO <sub>2</sub> )	伊那 24年～27年 (累計 1,740t-CO <sub>2</sub> ) 沼田 24年～27年 (累計 165t-CO <sub>2</sub> )

**2日目討議④ A-1グループ**

**地球温暖化対策の推進**  
 ① 区民の低炭素な暮らしとまちづくりへの取組みの促進・支援  
 ② 事業者の低炭素な暮らしとまちづくりへの取組みの促進・支援  
 ③ 区が率先して取り組む地球温暖化対策

(討議の方法例) 評価内容/問題点・課題/条件/提案など

国や都との事業の重複がないようになっていく? 「新宿ならではの」という施策に集中している?	全体的な目標(-25%)との整合性はある?(つみかさねたら目標達成可?)ロードマップを示すべき(2015,2020)のみでなく	学校教育に導入できる?(小・中での社会見学?)を強化
	いつまで継続し目標はどこにあるのか見えない	
	マンション・企業・道路が推進の重点ポイント運動が衰退しないよう施策の見直し必要	
初期投資後、細く長く事業展開できる計画が望ましい		

**■主な意見(5つまで)**

- ◆ 初期投資後、細く長く展開できる計画が必要
- ◆ 「新宿らしさ」のある施策に注力すべき
- ◆ 全体目標達成までのロードマップを示すべき
- ◆ マンション・企業・道路を重点ポイントに
- ◆ 学校での環境教育を強化すべき

**2日目討議④ A-2グループ**

**地球温暖化対策の推進**  
 ① 区民の低炭素な暮らしとまちづくりへの取組みの促進・支援  
 ② 事業者の低炭素な暮らしとまちづくりへの取組みの促進・支援  
 ③ 区が率先して取り組む地球温暖化対策

(討議の方法例) 評価内容/問題点・課題/条件/提案など

建設物(新)への太陽光発電、庭園の設置の推進	区内における取組みの「見える化」を促進する
ISOの取得の企業へのPR強化	区民の意識の向上
課外授業等での活用	区民むけのエコポイント的な特典の設置
	既存の建物に設置する際にも特典を
	パンフレット等、駅、病院などに置く

**■主な意見(5つまで)**

- ◆ 新建設物への庭園・太陽光発電設置の義務化
- ◆ 中小企業へのISO取得支援・補助のアピール強化
- ◆ 区民の意識の向上の為、家電製品などの購入時の特典制度
- ◆ 課外授業等々への取り入れにより子供などにも参加できるようにする
- ◆ パンフレット等を駅、病院などに置き身近なものにする

**2日目討議④ A-3グループ**

**地球温暖化対策の推進**  
 ① 区民の低炭素な暮らしとまちづくりへの取組みの促進・支援  
 ② 事業者の低炭素な暮らしとまちづくりへの取組みの促進・支援  
 ③ 区が率先して取り組む地球温暖化対策

(討議の方法例) 評価内容/問題点・課題/条件/提案など

冬の節電対策は各家庭でどのようにしたらよいかよく分からない	事業者対策の目標値低く、事業として継続することの意義が疑問	自転車の共用の仕組みを作れたらいいのでは?意識啓発のきっかけにもなる
LEDへの買い替え等、個人のエコ対策の中にはコストが高いものもあり、こまめな対策程度しかできない	小規模事業者は1-3人程度、エコ意識も必ずしも高くなく、意識改革は難しい	学校をまきこんだ環境意識啓発が家庭へのPRの近道
マンションの共通部分のLED化を進めては?	環境関係の公共事業・調達の際には、入札の評価ポイントにする等、インセンティブの付与が大事では?	区の保養所がある地域の森林整備にも取り組んでは?区の事業で整備された森を区民が実感できる仕組みが欲しい
各家庭への助成はコスト効果を考えてメニューを検討すべき	対象事業者数が少なく、事業をやっているということが、単なる施策PRでしかないのでは?	区内でできる取り組みはやりつつ、まかなえない部分はカーボンオフでやるという施策の組合せはよい
エコ隊の植林活動は面白そう。学校などでもっと広報しては		

**■主な意見(5つまで)**

- ◆ 区民への対策としては具体的な行動メニューを示すことが大事。個別助成は費用対効果をよく考えるべき
- ◆ 事業者対策の事業の目標値が低く事業の実施効果が疑問。方法論としては、事業者のインセンティブを高める手法を中心に再検討
- ◆ 取組みを実感できる仕組みを作り、意識啓発や区民の参加を引き出す工夫が必要

**2日目討議④ A-4グループ**

**地球温暖化対策の推進**  
 ① 区民の低炭素な暮らしとまちづくりへの取組みの促進・支援  
 ② 事業者の低炭素な暮らしとまちづくりへの取組みの促進・支援  
 ③ 区が率先して取り組む地球温暖化対策

(討議の方法例) 評価内容/問題点・課題/条件/提案など

空家が多い→駐車場、多くなっている(落合地区) 駐車場→アスファルト透水性のあるものにする(区の補助など)	ゴージャ、打ち水 西日対策として地域ではやっているが、さらに声をかけ広げていく
	エコ隊に70%以上ある10名未満の事業所、参加を呼び掛ける、エコ隊に情報発信(優秀な所にポイントなど)
	節電がはっきり分かるメーターを設置を区が補助する 会社やデパート、事務所
いろいろな取り組みを考えていると思うので全体的に強化していけば良い	

**■主な意見(5つまで)**

- ◆ 街作りとして、空家が多くなり駐車場(マンション建設)になっている。住宅地に多くなっている駐車場の問題(アスファルトの素材・透水性・義務づけ)
- ◆ 西日対策として地域に声掛け(すだれ・ゴージャ・打ち水等)。やっている人たちは確かにいるのでその人たちからのアプローチ
- ◆ 新宿エコ対に参加可能事業所をつくる(70%有る10名未満の事業所<意識改革→個人へつなげる。隊員証でなく隊員事業所という看板>)
- ◆ 節電の効果が明確に出来る装置(メーター・料金までも出る)



50	まⅣ 1 ①	<b>計画事業名</b>	ごみ発生抑制を基本とするごみの減量とリサイクルの推進			総事業費	4,534,969
計画事業概要		持続可能な資源循環型社会の構築のため、ごみ発生抑制を基本とするごみの減量とリサイクルの推進を図ります。					
50 ①	まⅣ 1 ①	<b>枝事業名</b>	資源回収の推進			所管部	環境清掃部
枝事業概要		資源循環型社会の構築を目指し、①集団回収、②古紙回収、③びん・缶（スプレー缶・カセットボンベを含む。）回収、④ペットボトル回収、⑤乾電池回収、⑥白色トレイ回収など資源回収を推進し、資源化率の向上に努めます。また、地域住民が自主的に行う集団回収の推進のため、リサイクル活動団体への支援を実施していきます。					
23 年度末の現況 (予定)	27 年度末の目標	年度別計画					
		24 年度	25 年度	26 年度	27 年度		
・資源化率 25%	・資源化率 28%	・資源回収の実施	→				
事業費 (千円)	3,257,280	814,320	814,320	814,320	814,320		

## 対象事業の主な指標

枝事業名	指標名	定義	23 年度末の現況 (予定)	27 年度末の目標
資源回収の推進	資源化率	資源回収量 (集団回収を含む) ÷ (区収集ごみ量 + 資源回収量 (集団回収を含む))	25%	28%

50 ②	まⅣ 1 ①	<b>枝事業名</b>	プラスチックの資源回収の推進			所管部	環境清掃部
枝事業概要		容器包装プラスチックの資源回収を実施し、資源のさらなる有効活用を図っていきます。					
23 年度末の現況 (予定)	27 年度末の目標	年度別計画					
		24 年度	25 年度	26 年度	27 年度		
・容器包装プラスチックの年間回収量 1,856t	・容器包装プラスチックの回収量 6,811t	・プラスチック回収の実施 回収予定量 1,741t	回収予定量 1,707t	回収予定量 1,690t	回収予定量 1,673t	→	
事業費 (千円)	1,240,580	312,550	310,277	309,141	308,612		

## 対象事業の主な指標

枝事業名	指標名	定義	23 年度末の現況 (予定)	27 年度末の目標
プラスチックの資源回収の推進	容器包装プラスチック回収量	新宿区が1年間に回収した容器包装プラスチックの量の累計	1,856 t	6,811 t

50 ③	まⅣ 1 ①	枝事業名	ごみの発生抑制の推進	所管部	環境清掃部
枝事業概要		ごみの発生抑制を基本としたごみの減量とリサイクルの推進に向けて、区民、事業者及び区による意見交換の場として3R推進協議会を運営し、相互に理解を深めながら、レジ袋削減対策等ごみ発生抑制に関する取り組みを推進していきます。			
23年度末の現況 (予定)	27年度末の目標	年度別計画			
		24年度	25年度	26年度	27年度
・買い物の際、レジ袋を断る、もしくは、ほとんど受け取らない人の割合28.4% ※区政モニターアンケートによる(平成22年度)	・買い物の際、レジ袋を断る、もしくは、ほとんど受け取らない人の割合50% ※区政モニターアンケートによる	・3R推進協議会の運営 ・エコ自慢ポイント、ごみ発生抑制の取り組み支援、シンポジウム等			
事業費(千円)	20,036	4,759	4,759	5,259	5,259

対象事業の主な指標				
枝事業名	指標名	定義	23年度末の現況(予定)	27年度末の目標
ごみの発生抑制の推進	買い物の際、レジ袋を断る、もしくは、ほとんど受け取らない人の割合	区政モニターアンケートでの回答の割合	28.4%	50%

2日目討議④ B-1グループ			
<b>ごみ発生抑制を基本とするごみの減量とリサイクルの推進</b> ① 資源回収の推進 ② プラスチックの資源回収の推進 ③ ごみの発生抑制の推進			
(討議の方法例) 評価内容/問題点・課題/条件/提案など			
横の連携(23区内、都内)	広報が全く機能していない	積極的な広報がない	自主性におまかせ
必要性を感じない 税金のむだ	小中学校など小さな頃から教育すべき	新宿の損失 分別のやる気がなくなる	ホームレスが缶を集めて勝手に売り払っている
	個人の意識改革を推進すべき	資料のむだ(今回の会議も含め)	取り締まりを強化する必要がある
	小さい時からの教育が必要	1つ1つの小さな積み重ね	ごみの発生源 過剰包装
<b>■主な意見(5つまで)</b> ◆ 個人の意識改革の推進 ◆ 資料・チラシ等、不必要な配布… ◆ 学校等教育の場で教える ◆ エコポイント・景品を新宿区内で使用できる商品券に ◆ 23区内、または都内の連携			

2日目討議④ B-2グループ			
<b>ごみ発生抑制を基本とするごみの減量とリサイクルの推進</b> ① 資源回収の推進 ② プラスチックの資源回収の推進 ③ ごみの発生抑制の推進			
(討議の方法例) 評価内容/問題点・課題/条件/提案など			
プラスチックごみの出し方が各々違う	デパート等の包装が、いまだに過剰	各企業レベルで取り組んでほしい	
おもちゃ、洗面器の方が、体積的にプラスチックが高い→それこそ、プラスチックとして回収すべき	資源ごみの正しい分け方、出し方の冊子こそ、ごみになりやすいのでは?	レジ袋をすべてのお店で有料化しては?→中国で実施効果があるとは思わない	
	分別されていない、してあることで、処理施設での対応が違うのか	レジ袋を2年後までに禁止する条例を出そう!	
分別するための意識教育が必要	燃やすごみに汚れたプラスチックごみを入れることもある	エコポイントカードはお店で実施すればもっと参加者が増える	
外国(ドイツ)での取り組みのようにすると、意識が高くなり、ごみが減るのでは	トレーを水であらうことで水が汚れる→本当に環境に優しい	エコポイントカードはいらぬ魅力がない	
<b>■主な意見(5つまで)</b> ◆ 分別のための教育が大切で、外国のようにごみ量に応じた料金負担を考える ◆ 企業レベルでゴミの発生を減らす仕組みを推進、チェックも必要 ◆ 資源ごみを洗うことで水が汚れる。本当に環境にやさしいか疑問 ◆ エコ自慢ポイントは魅力がないので廃止			

2日目討議④ B-3グループ			
<b>ごみ発生抑制を基本とするごみの減量とリサイクルの推進</b> ① 資源回収の推進 ② プラスチックの資源回収の推進 ③ ごみの発生抑制の推進			
(討議の方法例) 評価内容/問題点・課題/条件/提案など			
全体的にアピール不足	違法投棄についての問題はどのように考えているのか	エコ自慢ポイントの改善を早急に	ごみの仕分けを教えるのにイベントにする必要があるのか
資料に明記してある数値が不透明	レジ袋辞退だけで効果が出るのか?	費用をかけているわりにはやっていることが少ない	区内で焼却炉を持つ方が費用がかからないのでは?
	レジ袋をなくそうとする運動が中途半端	ごみの分類がよくわからない	費用をかけているわりにはやっていることが少ない
		コンビニヤスーパーだけでなく、ごみ回収場所に分別ボックスを置くべき	
<b>■主な意見(5つまで)</b> ◆ 全体的にアピールが不足。配布資料も存在を知らなかった ◆ 違法投棄の対策はどうお考えか? ◆ エコ自慢ポイント、レジ袋辞退の推進について不明確 ◆ ゴミの分類方法がわかりづらい、分別ボックスを置く等対応して欲しい ◆ 費用の掛け加減が分からない。焼却炉を区でつものはどうか?			

2日目討議④ B-4グループ			
<b>ごみ発生抑制を基本とするごみの減量とリサイクルの推進</b> ① 資源回収の推進 ② プラスチックの資源回収の推進 ③ ごみの発生抑制の推進			
(討議の方法例) 評価内容/問題点・課題/条件/提案など			
資源回収は、どンドン行ってほしい 有料ならば	住民の意識	エコ自慢ポイントはもっと返還・返金をしやすいように	
資源に使えるものをもっと研究してほしい	作る業者側も考えてほしい	ごみを捨てる時に子どもの教育に組み入れてほしい	
有料であれば1円でも多い業者に売ってほしい	買う時に、捨てることも考える!		
<b>■主な意見(5つまで)</b> ◆ 資源回収の推進、啓蒙に力を入れる。効率 up ◆ 有価資源ならば可能な限り高価で売る ◆ 「買う時には捨てる時の事も考えて」啓蒙 ◆ エコ自慢ポイント、子供にも分かる様にして教育に組み入れる。子供のおこづかい、返還を容易にする。			

64	まⅣ3①	<b>計画事業名</b>	<b>自転車等の適正利用の推進</b>			総事業費	1,074,182
計画事業概要		<p>放置自転車の減少・解消に向けて、駐輪場を整備するとともに、撤去や声かけ等の啓発活動を行います。また、自動二輪車の駐輪対策についても、引き続き駐車場の確保を行います。これらの取組みにより、自転車等の適正利用を推進し、安全で歩きやすい交通環境を整備していきます。</p>					
64①	まⅣ3②	<b>枝事業名</b>	<b>駐輪場等の整備</b>			所管部	みどり土木部
枝事業概要		<p>放置自転車の減少・解消に向けて、関連工事の遅れ等により第一次実行計画期間中に整備できなかった駅前駐輪場（西早稲田駅・西新宿駅）の設置を進めます。</p> <p>また、第一次実行計画期間中に設置済みの駅についても、引き続き「新宿区自転車等の利用と駐輪対策に関する総合計画」（平成20年1月策定）に掲げた整備目標量を達成するために、駐輪場を拡大するとともに、区民からの要望の高い時間利用の拡充を進めます。</p>					
23年度末の現況 (予定)	27年度末の目標	年度別計画					
		24年度	25年度	26年度	27年度		
・区内28駅に設置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駐輪場の新規・拡充 7 駅</li> <li>・時間利用駐輪場の拡大 4 駅</li> </ul>	駐輪場整備に伴う調査検討           案内板設置	駐輪場整備 ・新大久保駅 ・高田馬場駅  時間利用整備 ・市ヶ谷駅	駐輪場整備 ・新宿駅都道8号線 ・若松河田町駅 ・西早稲田駅  時間利用整備 ・牛込柳町駅	駐輪場整備 ・西新宿駅 ・新宿駅東南口  時間利用整備 ・都庁前駅 ・新宿三丁目駅		
事業費(千円)	147,867	798	59,480	24,129	63,460		
(関連事業) 78④ 歌舞伎町地区のまちづくり推進(放置自転車対策)							

対象事業の主な指標				
枝事業名	指標名	定義	23年度末の現況(予定)	27年度末の目標
駐輪場等の整備	駅前駐輪場の整備	駐輪場等の設置駅数	28 駅に整備済み	7 駅で新規・拡充

64 ②	まIV 3 ②	枝事業名	放置自転車の撤去及び啓発			所管部	みどり土木部
枝事業概要		<p>自転車の利用を支える環境を整備し、自転車等の適正利用を進めます。</p> <p>放置自転車の解消を目的とした整理指導員による「声かけ」を実施し、自転車利用の適正化と駐輪施設の利用向上を図ります。</p> <p>また、現在、区内の4箇所に分散、老朽化している自転車保管場所を3箇所に集約し、複層化による保管数の拡大と返還率の向上を図ります。</p>					
23年度末の現況 (予定)	27年度末の目標	年度別計画					
		24年度	25年度	26年度	27年度		
・区内における放置 自転車台数 約3,040台	・区内における放置 自転車台数 2,400台	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「声かけ」啓発活動</li> <li>・自転車保管場所整備（旧西戸山二中）、基本設計（内藤町、百人町）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車保管場所詳細設計（内藤町、百人町）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車保管場所整備（内藤町）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車保管場所整備（百人町）</li> </ul>		
事業費（千円）	914,475	152,298	139,948	351,613	270,616		
(関連事業) 78 ④ 歌舞伎町地区のまちづくり推進（放置自転車対策） 110 旧西戸山中学校の活用							

## 対象事業の主な指標

枝事業名	指標名	定義	23年度末の現況(予定)	27年度末の目標
放置自転車の撤去及び啓発	放置自転車の解消	放置自転車台数の減少	3,040台	2,400台 (年目標5%減)

64 ③	まⅣ 3 ②	枝事業名	自動二輪車の駐車対策			所管部	みどり土木部
枝事業概要		路上に放置されている自動二輪車の対策を進めるため、空きスペースのある区営駐輪場内に自動二輪車駐車を整備するとともに、民間駐車場への受入要請を継続的に行っていきます。					
23年度末の現況 (予定)	27年度末の目標	年度別計画				27年度	
		24年度	25年度	26年度			
・自動二輪車駐車の整備 6か所	・自動二輪車駐車場(区立)の整備 2か所(計8か所) ・自動二輪車駐車場(民間)の確保 1か所	・自動二輪車駐車場の整備 1か所(新宿リサイクル活動センター) ・民間駐車場への受入要請  ・駐輪場用地検討 ・駐車場利用啓発	・自動二輪車駐車場の整備 1か所(中井駅)			・民間駐車場の確保 1か所(新宿駅東南口)	
事業費(千円)	11,840	4,860	2,485	110	4,385		

対象事業の主な指標				
枝事業名	指標名	定義	23年度末の現況(予定)	27年度末の目標
自動二輪車の駐車対策	自動二輪車駐車場	自動二輪車駐車場(区立)の整備箇所数	6箇所	8箇所

2日目討議④ C-1グループ	
<b>自転車等の適正利用の推進</b> ① 駐輪場等の整備 ② 放置自転車の撤去及び啓発 ③ 自動二輪車の駐車対策	
(討議の方法例) 評価内容/問題点・課題/条件/提案など	
駐輪場の整備をする 駐輪場の設備をもう少し充実する(雨に濡れない建物にする) 駐輪場の場所や空き情報の提供 駐輪場の場所のパフレットを置く 時間貸しの駐輪場を作る、増やす 時間貸しは返金制にする	自転車を買った人にマナーと規則のパンフを 小学校で自転車のマナーを教える 自転車、バイクの警告切符(赤)に駐輪場の場所等を表示する 声かけの人は、「タバコポイ捨て」「駐輪禁止の声かけ」の人と兼務にする 保険の加入を勧める 撤去の日にちは決めない
<b>■主な意見(5つまで)</b> ◆ 駐輪場の整備(野ざらしにしない建物、出し入れしやすい設備) ◆ 駐輪場のパンフレットを作る(場所や空き情報の提供、警告キップに添付する) ◆ 時間貸しの駐輪場を作る(短時間利用は返金制にして利用を促す) ◆ 自転車を買った人に規制のパフレットを配る、小学校等でマナーを教える、保険の加入を進める ◆ 撤去の日にちを決めない、声かけ以外も兼務する	

2日目討議④ C-2グループ	
<b>自転車等の適正利用の推進</b> ① 駐輪場等の整備 ② 放置自転車の撤去及び啓発 ③ 自動二輪車の駐車対策	
(討議の方法例) 評価内容/問題点・課題/条件/提案など	
① 区役所(出張所)公共の施設周辺の駐輪の整備 駐輪場の用地確保はどうしているのか 民間の駐輪場を拡充できないか ② 保管管理 声かけ1億はかかりすぎではないか シルバー人材センターの方々の無報酬の活用はどうしているのか(自転車場整理) ③ タイム24との連携等小規模で設置場所を多くする	時間利用は料金によると思う 駐輪場所の周知が必要ではないか 区民によるボランティアを活用しては? 歩くことを推進しては? 法律があいまいなのに、啓発や対策は無意味では? 自転車の整備のボランティアを増やす 販売業者への指導強化 自転車の免許制 車両の中の自転車の位置づけがあいまい 自転車の全面的ナンバープレート登録制
<b>■主な意見(5つまで)</b> ◆ ① 駅を主体に考えているが、公共施設についても検討が必要ではないか ◆ ② 車両の中の自転車の位置づけがあいまい(自転車の免許制・自転車の全面登録制、ナンバープレート) ◆ ③ 人件費の割合が高すぎる。人材センター、ボランティア等を活用 ◆ ④ タイム24との連携等をし、小規模で設置箇所を多くする	

2日目討議④ C-3グループ	
<b>自転車等の適正利用の推進</b> ① 駐輪場等の整備 ② 放置自転車の撤去及び啓発 ③ 自動二輪車の駐車対策	
(討議の方法例) 評価内容/問題点・課題/条件/提案など	
駐輪場は最近心えてきているので整備されて町がきれいになるように思われます 撤去された自転車の使い道等を行政の側から説明してPR 声かけする人をふやす 駅(付近)ばかりじゃなく、民家の人が集まる場所に作る! 大きい道路沿いとが 自転車に比べ自動二輪車の駐輪場少ないので少し多く作っても? 自動二輪車の販売台数はどうなっているのか? 規制することで減ってしまわないのか 自転車道が歩道にありますが、守られてない 歩く人もあまり分かっていない	
<b>■主な意見(5つまで)</b> ◆ 行政が今まで通りやれるところは維持して、変更点を加える所は変えて、やった政策の内容はPRしていく ◆ 行政以外にも個人も意識を持てるようにしていく ◆ 二輪メーカーからの反発はないのか	

2日目討議④ C-4グループ	
<b>自転車等の適正利用の推進</b> ① 駐輪場等の整備 ② 放置自転車の撤去及び啓発 ③ 自動二輪車の駐車対策	
(討議の方法例) 評価内容/問題点・課題/条件/提案など	
① 成功例をさがす 全国で 世界で ① 町、区によって状況が違うから区でやるべき。個人はまず無理だろう ① 保管料3000円は高すぎ。もっと安くすればよいのでは(引き取りにくる) ① 駐輪が高い! コイン式 ① 駅とか地下鉄入口(穴) ② 小学校を教育の場に ② 放置自転車引き取り 3回目9千円が高いので逆効果になってない ② 声かけ一斉に撤去→撤去自転車売る→予算がたまる! みんな徐々に気にする ② 声かけくらいじゃ守る気になれない ② 声かけだけでなく小学校から「教育」してみても?	国、都、区でやるべきことをはっきりする ② 自転車を道で作って ② 都と区と民間業者と連携して対策 ② 民営、民間企業との連携 計画事業名と実際の計画にズレがあるので「駐輪場設備と放置自転車対策」にしてみても? ② 強制力が必要 ② 登録制にして管理者を明確にする(登録税をとる)
② 放置自転車震災用にあって ② 売る側の責任(自転車販売税をとって税込とする) ② 隣の区とも協力して撤去キャンペーンをする ② 持ち主の確認 ② 登録はインターネットでできるようなにする(変更、処分)も含めて ② 保管自転車シェアリング自転車として駅、公園とかにおく	
<b>■主な意見(5つまで)</b> ◆ 駐輪代が高すぎる、保管料も高すぎる ◆ 強制力を持って一斉の撤去をこころみる。教育(小学校)を徹底する ◆ 国・都・区でやるべきこと(やれること)をはっきりする。(自転車道)成功例を探す ◆ (提言です...) 自転車を売る側もまきこんで登録番号制にする(インターネットで変更可能とする) ◆ (提言です...) 区で震災用の自転車の確保も含めた再利用(シェアリング)	

54	まⅣ1③	計画事業名	路上喫煙対策の推進	所管部	環境清掃部
計画事業概要		<p>受動喫煙やたばこの火による被害を防止するため、地域等との協働によるキャンペーンやパトロールによる指導を継続的に実施するとともに、区民、事業者、来街者等に対する路上喫煙禁止の普及啓発を行い、きれいなまちづくりを進めていきます。</p> <p>特に、パトロールや路上喫煙率調査の範囲をこれまでの駅周辺道路から、生活道路にも拡大して実施します。</p>			
23年度末の現況 (予定)	27年度末の目標	年度別計画			
		24年度	25年度	26年度	27年度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・駅周辺での路上喫煙率 平均 0.5% (23年6月現在) ※測定箇所決定</li> <li>・生活道路での路上喫煙率 平均 2.0% (23年6月現在) ※測定箇所決定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駅周辺での路上喫煙率 0.5%</li> <li>・生活道路での路上喫煙率 0.5%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・路上喫煙禁止のパトロール、地域等との協働によるキャンペーン</li> <li>・路上喫煙率調査</li> <li>・普及啓発（路面標示、標識の設置等）</li> </ul>	→	→	→
事業費（千円）	総事業費 549,648	137,412	137,412	137,412	137,412

対象事業の主な指標				
計画事業名	指標名	定義	23年度末の現況(予定)	27年度末の目標
路上喫煙対策の推進	駅周辺での路上喫煙率	駅周辺における路上喫煙率を調査し、路上喫煙対策の効果を測定	0.5% (23年6月現在)	0.5%以下
	生活道路における路上喫煙率	駅から少し離れた地点や生活道路における路上喫煙率調査し、路上喫煙対策の効果を測定	2% (23年6月現在)	0.5%以下



2日目討議⑤ A-1グループ	
<b>路上喫煙対策の推進</b>	
(討議の方法例) 評価内容/問題点・課題/条件/提案など	
公平性を考えて(本当に区内すべて回れているのか? 32人で)	喫煙場所は増やすべき(新宿西口、高田馬場)
パトロール人材を企業に委託 or 有償ボランティアを募る。組織は難しいかも	喫煙場所のタバコの灰皿足りているのか?
既存の地元パトロール(自転車)にはるのいいのではないのか?	シルバーパトロール(駅前自転車、生活道路)時間を決めてランダムに回る
下請け(シルバー)にまわすので費用がかかるのでは?	歌舞伎町のパトロールを行う場合、シルバーだと不安
入礼会社はこの事業だけではないはず。しっかりパトロールしているのか? 実態は把握している?	大学に委託するというのは? (パイト的に) 女子は危ないかも
生活道路をパトロールするには生活している人(住人)を利用すべき	ビル管理会社、警備会社の他の会社には委託しないのか?
	ボイ捨てが本当に多い!(企業への義務付け)
	予算設定は何を基準にしているのか?(1億3700万)
	自販機のペットボトルあふれている(企業へ連絡しなければいけない)
	地域によってポラを変える必要があるのでは? 歌舞伎町はポラだと無理なのでは?
	非喫煙者は喫煙者の歩きタバコをしている気がわからない
	JT やライター会社、コンビニなどが企業努力として代表者を選定しパトロール団を作るのは?
	タバコ値上げ(1000円/箱)とか
	罰金を設ける(その資金を基にパトロールを増やす)
	パトロールよりもまずはキレイにすることが、ボイ捨てしなくなるのでは?
	意識育てるしかないのか
<b>■主な意見(5つまで)</b> ◆ 喫煙場所を増やすべき(新宿西口、高田馬場) ◆ パトロール強化(費用をかけない方法、地域のコンビニの協力、住人に有償ボランティアを募り、生活道路の美化参加)等 町会支援 ◆ 罰金を設ける、タバコの値上げ等が必要なのか? ◆ 喫煙場所や道路をキレイにすることで意識を育てる	

2日目討議⑤ A-2グループ	
<b>路上喫煙対策の推進</b>	
(討議の方法例) 評価内容/問題点・課題/条件/提案など	
第一次実行計画の結果(実態状況)から新たな施策を生み出してほしい	パトロール目的を複合的にして取り組み見直しにできないか(自転車、交通マナーなど)
全体的な対策のほか、重要地区を設定して成果をあげるシステムをつくり水平展開へ	喫煙場所を増やす
	マナーの徹底化、生活文化の違い(外国人が多い)
<b>■主な意見(5つまで)</b> ◆ 喫煙場所を増やしてほしい ◆ パトロール目的を複合的にして見直しをしてほしい ◆ 重点地区を設置し、成果を上げるシステムを造り水平展開 ◆ 第一次計画の結果(実態状況)から新たな施策を生み出してほしい ◆ マナーの徹底化、(外国人)生活文化の違い	

2日目討議⑤ A-3グループ	
<b>路上喫煙対策の推進</b>	
(討議の方法例) 評価内容/問題点・課題/条件/提案など	
生活道路の路上喫煙者のチェックをPTA、地元の人に依頼する	パトロールの効果測定はできているのか? 一定期間やめて変化を見るなどすべきでは?
	人事評価が下がる
既に周知はすすんできたため、いちごっこになって、コストをかけていくより罰則を設けるのはアリでは?	喫煙場所を増やすため(仕切付)費用をJTに頼らず区でも多少負担する
罰則期間を決めて喫煙者を減少させる	
<b>■主な意見(5つまで)</b> ◆ 禁止は周知されたので、罰則設定はあり(期間を区切るなどでよい) ◆ 喫煙場所の費用(設置・管理)はJTに頼らず区でも負担する ◆ 生活道路(通学路など)の喫煙者チェックをPTA・地元の人に依頼 ◆ パトロールの効果測定を実施(一定期間やめて変化をみるなど) ◆ (区役所などで)喫煙を人事評価に関連させる	

2日目討議⑤ A-4グループ	
<b>路上喫煙対策の推進</b>	
(討議の方法例) 評価内容/問題点・課題/条件/提案など	
路上で喫煙したい時: 電車待ち、待ち合わせ時→喫煙スポットの場所は妥当	キャンペーンで作業している人の姿を見て、やめようと思った
灰皿設置箇所 暗い 職場での喫煙箇所が少ない	罰金をとられた人は二度とすわないと言っていた人がおり、効果あるが、罰則なしでここまで効果あるのはすごい
商業施設や企業の中に喫煙場所を設置するよう促進しては?	一定期間に目標を設け、その間に灰皿を計画的に整備し、効果を測定してはどうか
喫煙場所確保を企業と連携してはどうか	ベンチ・自販機も設置した「行きたくない喫煙所」を作ってはどうか
	一定規模以上の企業に喫煙所の設置を努力義務とする条例を作ってはどうか ただしこの場合設置者に対する助成も必要
<b>■主な意見(5つまで)</b> ◆ 喫煙場所を確保するため企業との連携強化(条例で一定規模以上の企業に喫煙場所設置を努力義務とし、設置助成する等) ◆ 行きたくない喫煙所(ベンチ・自販機設置)を増やし、喫煙者が集まるよう工夫 ◆ 一定期間に目標を達成するためのロードマップを作製し、計画的な取組みと施策効果の測定が必要	

30	まⅢ 1 ①	<b>計画事業名</b>	<b>高齢者を地域で支えるしくみづくり</b>	総事業費	940,728
計画事業概要		高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるように、高齢者を地域で支えるためのしくみづくりを、広く区民、関係者と連携し構築します。			
30 ②	まⅢ 1 ①	<b>枝事業名</b>	<b>認知症高齢者支援の推進</b>	所管部	福祉部
枝事業概要		高齢者が認知症になっても住みなれた地域で安心して暮らし続けられるようにするため、認知症サポーターの育成・活用を図るとともに、地域の人的資源として活動できる拠点を整備します。また、認知症高齢者を支える家族介護者の心身の負担の軽減や孤立を防ぐため、家族会の立ち上げ及び運営を支援します。さらに、認知症に関する医療と福祉・介護の連携強化の一環として、高齢者総合相談センターで認知症・もの忘れ相談を実施します。			
23年度末の現況(予定)	27年度末の目標	年度別計画			
		24年度	25年度	26年度	27年度
・認知症サポーターの活用及び介護者支援体制の検討	・認知症サポーターの活動拠点 3所(9所の高齢者総合相談センター3所を1区域として各1所) ・家族会の運営 3所 ・認知症・もの忘れ相談 高齢者総合相談センター3所で実施	・拠点場所の検討 ・運営準備  ・家族会の仕組みの検討  ・実施準備	・認知症サポーター活動拠点の設置・運営 3所  ・家族会の立ち上げ及び運営 3所  ・高齢者総合センター2所で実施	→  →  ・高齢者総合センター3所で実施	→  →  →
事業費(千円)	26,366	3,724	7,214	7,714	7,714

対象事業の主な指標				
枝事業名	指標名	定義	23年度末の現況(予定)	27年度末の目標
認知症高齢者支援の推進	認知症サポーターの活動拠点数	認知症サポーターが有効に活動できるよう支援するため、高齢者総合相談センターに活動拠点を設置する	—	3所 (9所の高齢者総合相談センター3所1区域とし、各区域に1か所)
	認知症介護者の家族会数	認知症の介護者がつどいやすい体制づくりのひとつとして、NPO等とも協働して家族会の数を増やす	認知症介護者教室OB会として1所	3所 (9所の高齢者総合相談センター3所1区域とし、各区域に1か所)

30 ③	まⅢ 1 ①	枝事業名	地域安心カフェの展開			所管部	福祉部
枝事業概要		高齢化率の高い都営住宅等において、一人暮らし高齢者、認知症高齢者及びその介護者等が気軽に交流や相談ができる場を設け支援することにより、高齢者や介護者の孤立を予防し、地域における区民の支え合いの充実を図ります。					
23 年度末の現況 (予定)	27 年度末の目標	年 度 別 計 画					
		24 年度	25 年度	26 年度	27 年度		
・地域安心カフェ 1 地域 3 所 (都営 百人町アパート)	・地域安心カフェ設 置数 4 地域 6 所	・地域安心カフェ 1 地域 3 所運営  ・実施地域・場所の 検討	・地域安心カフェ 1 所開設 (計 2 地 域 4 所)  ・整備工事 1 所	・地域安心カフェ 1 所開設 (計 3 地 域 5 所)	・地域安心カフェ 1 所開設 (計 4 地 域 6 所)		
事業費 (千円)	49,456	4,914	24,714	9,914	9,914		
(関連事業) 31 ① 地域密着型サービスの整備 103 戸山第三保育園廃止後の活用							

対象事業の主な指標				
枝事業名	指標名	定義	23 年度末の現況 (予定)	27 年度末の目標
地域安心カフェの展開	地域安心カフェ展開数	NPO 法人等が運営する、地域の高齢者等が気軽に立ち寄り、区民スタッフの活用など支えあい活動の活性化を推進していく形で実施する、高齢者総合相談センター等の関係機関と連携したカフェ	1 地域 3 所	4 地域 6 所

30 ④	まⅢ 1 ①	枝事業名	支援付き高齢者住宅の整備	所管部	福祉部
枝事業概要		<p>在宅生活に軽度の支援が必要な高齢者の暮らしを支えるため、バリアフリーで安否確認や生活相談機能を持つ、支援付き高齢者住宅を整備します。そのため、国が新設した「サービス付き高齢者向け住宅」制度等を活用し、民間事業者の参入を促進するほか、シルバーピア等の住宅ストックを活用しながら、地域の医療・介護事業者等との連携や、24時間対応型訪問サービス等と組み合わせ、高齢者が安心して暮らせるしくみを検討し、整備します。</p>			
23年度末の現況 (予定)	27年度末の目標	年度別計画			
		24年度	25年度	26年度	27年度
<ul style="list-style-type: none"> <li>「サービス付き高齢者向け住宅」制度等の活用</li> <li>シルバーピア 16住宅308戸</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公有地等の活用による「サービス付き高齢者向け住宅」制度を活用した民間事業者の参入促進</li> <li>シルバーピア等の住宅ストックの活用による支援付き高齢者住宅の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公有地等の活用による「サービス付き高齢者向け住宅」制度を活用した民間事業者の参入促進の検討及び実施</li> <li>整備の検討</li> </ul>			
事業費(千円)	4,544	1,136	1,136	1,136	1,136

対象事業の主な指標				
枝事業名	指標名	定義	23年度末の現況(予定)	27年度末の目標
支援付き高齢者住宅の整備	公有地と国の補助制度を活用したサービス付き高齢者向け住宅への民間事業者の参入促進	公有地等において「サービス付き高齢者向け住宅制度」を活用した民間事業者による支援付き住宅の整備	-	民間参入の方法の検討と実施
	既存の住宅ストックを活用した支援付き高齢者住宅の整備	シルバーピア等の住宅ストックを活用し、介護事業者等と連携し、支援付き住宅の機能を持つ高齢者住宅の整備	シルバーピア 16住宅308戸	計画的な機能転換

2日目討議⑤ B-1グループ	
<b>高齢者を地域で支えるしくみづくり</b> ① 認知症高齢者支援の推進 ② 地域安心カフェの展開 ③ 支援付き高齢者住宅の整備	
(討議の方法例) 評価内容/問題点・課題/条件/提案など	
スタッフが少ないのではないかと・・・(労働がキツイ) 給料安すぎ?	民生委員の選出の方法が不明
ほっと安心カフェの充実と常設化(地味すぎ)	支援付き高齢者住宅 ・充実してほしい ・入居代を落としてほしい
対応に時間がかかる(待ちが多い)	歳を重ねるのが楽しくなるようにならないか?
<b>■主な意見(5つまで)</b> ◆ すべてにおいて、スタッフが少なすぎる(お給料も少ない) ◆ 民生委員の選出方法が不明 申請後時間がかかる ◆ ほっと安心カフェの充実 歳を重ねるのが楽しくなる様に ◆ 住宅は充実してほしい 入居代を落としてほしい	

2日目討議⑤ B-2グループ	
<b>高齢者を地域で支えるしくみづくり</b> ① 認知症高齢者支援の推進 ② 地域安心カフェの展開 ③ 支援付き高齢者住宅の整備	
(討議の方法例) 評価内容/問題点・課題/条件/提案など	
個人と地域の負担と問題	家族(子ども)の責任
安心カフェの詳細内容のPR	カフェへの参加差別?
高齢者住宅への入居条件	介護保険との重複
<b>■主な意見(5つまで)</b> ◆ 個々の地域の人たちが熱意を持って認知症高齢者を支える ◆ 安心カフェのピーアール(内容の告知) ◆ 支援付高齢者住宅の民間企業参入の促進を早くする	

2日目討議⑤ B-3グループ	
<b>高齢者を地域で支えるしくみづくり</b> ① 認知症高齢者支援の推進 ② 地域安心カフェの展開 ③ 支援付き高齢者住宅の整備	
(討議の方法例) 評価内容/問題点・課題/条件/提案など	
支援付き住宅の整備より在宅で支援サービスを充実	サポーター講座を深化、推進
一人暮らしの高齢者のサポート	養成講座などの推進
家を超えるより自宅で	大学生ボランティアの活用
人口分布に対する支援体制	高齢者向けイベント
計画が漠然としていて見えてこない	スピード感 緊急性をもって
箱ものをつくるが中身がない	サポートをするメリット
必要性と緊急性がまだ甘い	後見人制度が薄い
<b>■主な意見(5つまで)</b> ◆ 全体的に計画が漠然としている ◆ 若い世代(子供)のボランティアの活用 ◆ 支援付住宅整備より1人暮らしの高齢者サポート	

2日目討議⑤ B-4グループ	
<b>高齢者を地域で支えるしくみづくり</b> ① 認知症高齢者支援の推進 ② 地域安心カフェの展開 ③ 支援付き高齢者住宅の整備	
(討議の方法例) 評価内容/問題点・課題/条件/提案など	
メンタルケアだけでなくもっと物理的にケアを充実	認知症サポーター、ケアマネージャー、ヘルパー、民生委員、スマイワケ?
カフェ 当事者のニーズに答えてほしい	カフェ 老人ばかり集めてもつまらない
支援付き高齢者住宅 活動内容が分からない 必要性はあるようだ	後見人制度が薄い
<b>■主な意見(5つまで)</b> ◆ 認知症サポーターの必要性に疑問。物理的ケアを拡充してほしい ◆ 後見人制度の拡充のほうは急務ではないのか ◆ カフェでの活動内容 当事者のニーズに答えていない(年寄り扱いしすぎる) スマートフォン、メイク ◆ 支援付き住宅 活動内容は難しくわかりづらいが、支援付き住宅の必要性は強く感じる	

9	まⅡ 2①	<b>計画事業名</b>	<b>保護者が選択できる多様な保育環境の整備</b>	<b>総事業費</b>	11,283,585
<b>計画事業概要</b>		<p>就労機会の増大、価値観やライフスタイルの変化に合わせて、保護者が選択できる保育環境を整備していきます。</p> <p>私立認可保育所の整備支援や認証保育所への支援、また保育園・幼稚園の子ども園への一元化などを進めることにより、多様で多角的な保育環境の整備を図り、保育園入所待機児童の解消や保護者のニーズに即した保育サービスの提供を目指します。</p>			
9①	まⅡ 2①	<b>枝事業名</b>	<b>私立認可保育所の整備支援</b>	<b>所管部</b>	<b>子ども家庭部</b>
<b>枝事業概要</b>		<p>安心子ども基金などの制度を活用し、社会福祉法人が設置主体の認可保育園の建設や建替えを支援することで、定員の拡大と地域の保育需要（長時間保育、病児・病後児保育、一時保育等）に応じていきます。</p>			
23年度末の現況 (予定)	27年度末の目標	<b>年度別計画</b>			
		24年度	25年度	26年度	27年度
・私立認可保育園の定員 1,432人	・私立認可保育園の定員 241人増 (4年間合計)	・(仮称) 国立国際医療研究センター内保育園(整備、開設準備)	・(仮称) 国立国際医療研究センター内保育園(開設)  ・二葉南元保育園(仮園舎移転、解体、建設)  ・新栄保育園(仮園舎移転、解体、建設)	・二葉南元保育園(建設)  ・新栄保育園(建設)	・二葉南元保育園(定員拡大)  ・新栄保育園(定員拡大)
事業費(千円)	2,094,700	270,534	517,248	663,248	643,670
(関連事業) 13② 一時保育の充実					

<b>対象事業の主な指標</b>				
枝事業名	指標名	定義	23年度末の現況(予定)	27年度末の目標
私立認可保育所の整備支援	私立認可保育園の定員増	私立認可保育園の建設等による定員増	1,432人	241人増

9②	まⅡ2①	枝事業名	認証保育所への支援	所管部	子ども家庭部
枝事業概要		<p>認証保育所を増設し、既存の認可保育園では対応が難しい、様々な就労形態やライフスタイルにあった保育需要に応じていきます。</p> <p>開設準備経費の補助や区民が認証保育所を利用した場合に運営費を補助することで、認証保育所の設置を促します。</p> <p>また、認証保育所を利用する区民の保育料負担を軽減するため、保育料の一部を助成します。24年度中に、年齢別の助成額に変更するとともに、所得制限を導入します(0歳児：月額30,000円、1歳児～3歳児：月額20,000円、4歳児以上：月額10,000円)。</p>			
23年度末の現況 (予定)	27年度末の目標	年度別計画			
		24年度	25年度	26年度	27年度
・認証保育所定員計 820名(22所)	・認証保育所定員 480名増(12所 開設)(4年間合計)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定員120名増 (3所開設)</li> <li>・運営費助成</li> <li>・保育料の助成額の変更と所得制限の導入</li> </ul>	・定員120名増 (3所開設)	・定員120名増 (3所開設)	・定員120名増 (3所開設)
事業費(千円)	4,756,419	1,030,507	1,134,651	1,241,974	1,349,287

## 対象事業の主な指標

枝事業名	指標名	定義	23年度末の現況(予定)	27年度末の目標
認証保育所への支援	認証保育所の定員増	東京都独自の基準を満たし認証を受けた保育所の定員増	820人 (22所)	480人増 (12所開設)

9③	まⅡ2①	枝事業名	保育園・幼稚園の子ども園への一元化			所管部	子ども家庭部
枝事業概要		<p>保護者の就労の有無に関わらず、0歳から小学校就学前までの子どもに対し、その成長と発達に応じた保育・教育を一体的に行うとともに、家庭と地域の子育て力の向上を図るため、保育園と幼稚園の子ども園への一元化を推進します。地域の保育需要や地域事情、地域バランス等を考慮し、計画的に整備していきます。</p> <p>子ども園を、多様なスタイル、民間の活用など多様な手法により整備することで、保育・教育環境のさらなる充実を図るとともに、保育園入所待機児童の解消や保護者のニーズに即した保育サービスの提供を目指します。</p>					
23年度末の現況(予定)	27年度末の目標	年度別計画					
		24年度	25年度	26年度	27年度		
・子ども園 4園	・子ども園 25園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども園1園開設(仮称落五・中井)</li> <li>・柏木子ども園定員拡充</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども園6園開設(戸山第一保育園、信濃町保育園、西落合保育園、四谷保育園、北新宿第二保育園、仮称高田馬場四丁目)</li> <li>・仮称落五・中井子ども園定員拡充</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども園9園開設(区立保育園の子ども園化8園、仮称東戸山)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども園5園開設(新宿第二保育園移転による仮称西富久、大久保第二保育園建替による仮称大久保第二、区立保育園の子ども園化2園、区立幼稚園の子ども園化1園)</li> </ul>		
事業費(千円)	4,432,466	444,716	726,400	1,168,000	2,093,350		
(関連事業) 13② 一時保育の充実 17② 区立幼稚園のあり方の見直し 100 新宿第二保育園移転後の活用 106 大久保第二保育園・ことぶき館の解体後の跡地活用 110 旧西戸山第二中学校の活用							

対象事業の主な指標				
枝事業名	指標名	定義	23年度末の現況(予定)	27年度末の目標
保育園・幼稚園の子ども園への一元化	子ども園の設置数	開設した子ども園の数	4園	25園



2日目討議⑤ C-1グループ															
<p><b>保護者が選択できる多様な保育環境の整備</b></p> <p>① 私立認可保育所の設備支援 ② 認証保育所への支援 ③ 保育園・幼稚園の子ども園への一元化</p>															
<p>(討議の方法例) 評価内容/問題点・課題/条件/提案など</p>															
<table border="1"> <tr> <td>認証保育所への運営費をさらに上げ、区民の保育料を下げて(今は高い)</td> <td>保育園子ども園を建設するよりは私立保育園、認証保育園を開設して待機児童を0とした方が良いと思う</td> <td>質を優先することで、待機児童数の増のデータの矛盾が納得できない</td> </tr> <tr> <td>認証保育の支援をもっと高額にしてほしい(2万円現状)</td> <td>待機児童0を目標にすべき</td> <td>保護者が選択できる、のタイトルは待機児童が解消してからテーマとすべきでは?</td> </tr> <tr> <td></td> <td>まずは待機児童数ゼロの促進を</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育園、子ども園が開設にあたって、場所の選定は適切に決めているのか(子どもの集中具合、他区の距離)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>社会状況を考えると、子ども園促進は賛成できる</td> <td></td> </tr> </table>	認証保育所への運営費をさらに上げ、区民の保育料を下げて(今は高い)	保育園子ども園を建設するよりは私立保育園、認証保育園を開設して待機児童を0とした方が良いと思う	質を優先することで、待機児童数の増のデータの矛盾が納得できない	認証保育の支援をもっと高額にしてほしい(2万円現状)	待機児童0を目標にすべき	保護者が選択できる、のタイトルは待機児童が解消してからテーマとすべきでは?		まずは待機児童数ゼロの促進を			保育園、子ども園が開設にあたって、場所の選定は適切に決めているのか(子どもの集中具合、他区の距離)			社会状況を考えると、子ども園促進は賛成できる	
認証保育所への運営費をさらに上げ、区民の保育料を下げて(今は高い)	保育園子ども園を建設するよりは私立保育園、認証保育園を開設して待機児童を0とした方が良いと思う	質を優先することで、待機児童数の増のデータの矛盾が納得できない													
認証保育の支援をもっと高額にしてほしい(2万円現状)	待機児童0を目標にすべき	保護者が選択できる、のタイトルは待機児童が解消してからテーマとすべきでは?													
	まずは待機児童数ゼロの促進を														
	保育園、子ども園が開設にあたって、場所の選定は適切に決めているのか(子どもの集中具合、他区の距離)														
	社会状況を考えると、子ども園促進は賛成できる														
<p>■主な意見(5つまで)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 待機児童を0とする</li> <li>◆ 認証保育の支援をもっと高額に(2万円現状)</li> <li>◆ 社会状況を考えると、子ども園促進は賛成できる</li> <li>◆ 保育園・子ども園にあたって場所の選定は適切に決めてください</li> </ul>															

2日目討議⑤ C-2グループ						
<p><b>保護者が選択できる多様な保育環境の整備</b></p> <p>① 私立認可保育所の設備支援 ② 認証保育所への支援 ③ 保育園・幼稚園の子ども園への一元化</p>						
<p>(討議の方法例) 評価内容/問題点・課題/条件/提案など</p>						
<table border="1"> <tr> <td>事業計画の基となっている定員枠1000人という数字に納得感がない(新生児約2000名待機児童92名)</td> <td>保育所、近隣は子育てしやすい環境に</td> </tr> <tr> <td></td> <td>認可保育所は整備してほしいが、保育園だけでなく子育てしやすい環境もつくってほしい(保育園をつくったが、子どもがいなくなつては困るので...) (保育料の軽減、予防接種の無料化など)</td> </tr> <tr> <td>保育園、幼稚園の子ども園への一元化には指導者の一元化(保育士、幼稚園教諭)を考えてはかが</td> <td></td> </tr> </table>	事業計画の基となっている定員枠1000人という数字に納得感がない(新生児約2000名待機児童92名)	保育所、近隣は子育てしやすい環境に		認可保育所は整備してほしいが、保育園だけでなく子育てしやすい環境もつくってほしい(保育園をつくったが、子どもがいなくなつては困るので...) (保育料の軽減、予防接種の無料化など)	保育園、幼稚園の子ども園への一元化には指導者の一元化(保育士、幼稚園教諭)を考えてはかが	
事業計画の基となっている定員枠1000人という数字に納得感がない(新生児約2000名待機児童92名)	保育所、近隣は子育てしやすい環境に					
	認可保育所は整備してほしいが、保育園だけでなく子育てしやすい環境もつくってほしい(保育園をつくったが、子どもがいなくなつては困るので...) (保育料の軽減、予防接種の無料化など)					
保育園、幼稚園の子ども園への一元化には指導者の一元化(保育士、幼稚園教諭)を考えてはかが						
<p>■主な意見(5つまで)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 事業計画の基となっている定員枠1000人増という数字に納得感がない</li> <li>◆ 認可保育所は整備してほしい。また子育てしやすい環境も同時に作ってほしい</li> <li>◆ 保育園・幼稚園の子ども園への一元化には、指導者の一元化を考えてはかがか</li> </ul>						

2日目討議⑤ C-3グループ															
<p><b>保護者が選択できる多様な保育環境の整備</b></p> <p>① 私立認可保育所の設備支援 ② 認証保育所への支援 ③ 保育園・幼稚園の子ども園への一元化</p>															
<p>(討議の方法例) 評価内容/問題点・課題/条件/提案など</p>															
<table border="1"> <tr> <td>区民からボランティアを募集する</td> <td>もっと安く、時間等の基準をゆるめて、区独自の援助を</td> <td>体調が悪い時に預けるところを作る</td> </tr> <tr> <td>保育ママ(現在5人)をもっと増やしてほしい</td> <td>民営の方々にも協力してもらい、待機児童の解消(区の方で支援する)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>保育料が高い</td> <td>子供少数のため、小学校が閉校している所を大きな認可保育園など作るのはいかが</td> <td></td> </tr> <tr> <td>保護者が選択できるとあるが、させられてる。その中から決めるしかない状況</td> <td>とにかく預かってほしい人(働かないといけない)子ども園以外(保育・教育)しないで良いから預かる所、つくってほしい</td> <td></td> </tr> <tr> <td>現在いる0歳児の100名近くの待機児童をすくに対応して</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	区民からボランティアを募集する	もっと安く、時間等の基準をゆるめて、区独自の援助を	体調が悪い時に預けるところを作る	保育ママ(現在5人)をもっと増やしてほしい	民営の方々にも協力してもらい、待機児童の解消(区の方で支援する)		保育料が高い	子供少数のため、小学校が閉校している所を大きな認可保育園など作るのはいかが		保護者が選択できるとあるが、させられてる。その中から決めるしかない状況	とにかく預かってほしい人(働かないといけない)子ども園以外(保育・教育)しないで良いから預かる所、つくってほしい		現在いる0歳児の100名近くの待機児童をすくに対応して		
区民からボランティアを募集する	もっと安く、時間等の基準をゆるめて、区独自の援助を	体調が悪い時に預けるところを作る													
保育ママ(現在5人)をもっと増やしてほしい	民営の方々にも協力してもらい、待機児童の解消(区の方で支援する)														
保育料が高い	子供少数のため、小学校が閉校している所を大きな認可保育園など作るのはいかが														
保護者が選択できるとあるが、させられてる。その中から決めるしかない状況	とにかく預かってほしい人(働かないといけない)子ども園以外(保育・教育)しないで良いから預かる所、つくってほしい														
現在いる0歳児の100名近くの待機児童をすくに対応して															
<p>■主な意見(5つまで)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 保育料が高い、選択枠が少ない</li> <li>◆ 長期的な対策より緊急対策をしてほしい</li> <li>◆ 空いている小学校等をもっと活用してほしい</li> <li>◆ ボランティアの活用</li> <li>◆ 病児保育(急な発熱等)をしてくれる所を作ってほしい</li> </ul>															

2日目討議⑤ C-4グループ												
<p><b>保護者が選択できる多様な保育環境の整備</b></p> <p>① 私立認可保育所の設備支援(A) ② 認証保育所への支援(B) ③ 保育園・幼稚園の子ども園への一元化(C)</p>												
<p>(討議の方法例) 評価内容/問題点・課題/条件/提案など</p>												
<table border="1"> <tr> <td>もっと民間委託すればよい</td> <td>GO!!</td> <td>子供園の教師はできれば大学院卒(児童心理学)習得者にしてほしい</td> <td>先生への研修をふやしていく</td> </tr> <tr> <td>利用料の平準化</td> <td>ボランティアの活用</td> <td>教師側の対象年齢をはっきりさせる</td> <td>子供園用の教師を新しく作る(学部とか)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>生命の大切さを学ぶために中学生の体験をしてはどうか</td> </tr> </table>	もっと民間委託すればよい	GO!!	子供園の教師はできれば大学院卒(児童心理学)習得者にしてほしい	先生への研修をふやしていく	利用料の平準化	ボランティアの活用	教師側の対象年齢をはっきりさせる	子供園用の教師を新しく作る(学部とか)				生命の大切さを学ぶために中学生の体験をしてはどうか
もっと民間委託すればよい	GO!!	子供園の教師はできれば大学院卒(児童心理学)習得者にしてほしい	先生への研修をふやしていく									
利用料の平準化	ボランティアの活用	教師側の対象年齢をはっきりさせる	子供園用の教師を新しく作る(学部とか)									
			生命の大切さを学ぶために中学生の体験をしてはどうか									
<p>■主な意見(5つまで)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 民間委託できるものはもっと進めるべき(A)</li> <li>◆ 利用料の平準化を図る(A)</li> <li>◆ 進めてください。ボランティアの活用も視野に入れる(B)</li> <li>◆ 子供園の教師の研修・経験を増やす(C)</li> <li>◆ 大学院卒(児童心理学のプロ)の採用を増やす(C)</li> </ul>												

20	まⅡ 3 ③	<b>計画事業名</b>	<b>地域協働学校 (コミュニティ・スクール) の推進</b>			所管部	教育委員会事務局
<b>計画事業概要</b>		<p>地域の住民及び保護者等が学校の運営に参画することにより、地域に信頼され、地域に支えられる開かれた学校づくりを進めていきます。</p> <p>そのため、地域協働学校を指定し取組みを検証するとともに、その結果を踏まえて順次、地域協働学校の指定校を増やしていきます。</p> <p>なお、指定にあたっては、1年間は準備校として指定し、円滑な導入を図ります。</p>					
23年度末の現況 (予定)	27年度末の目標	年度別計画					
		24年度	25年度	26年度	27年度		
地域協働学校指定校 (小学校3校 中学校1校) ・四谷小学校 ・四谷第六小学校 ・花園小学校 ・四谷中学校	地域協働学校指定校 (小学校15校 中学校5校)	・4校の取組みの検証と準備校に向けた推進	・準備校指定 (小学校6校 中学校2校)	・地域協働学校指定 (小学校6校 中学校2校)  ・準備校指定 (小学校6校 中学校2校)	・地域協働学校指定 (小学校6校 中学校2校)  ・準備校指定 (小学校7校 中学校2校)		
事業費(千円)	総事業費 42,733	2,708	7,728	13,143	19,154		
※地域協働学校(コミュニティ・スクール)では、地域住民・保護者・教職員等で組織した地域協働学校運営協議会が、学校運営に関する事項について協議し校長等に意見を述べるとともに、学校の運営状況について評価を行います。また、地域住民の参画を具体的に進めるために、様々な支援部を協議会内に設置し、学校運営や教育活動を支援します。							

対象事業の主な指標				
計画事業名	指標名	定義	23年度末の現況(予定)	27年度末の目標
地域協働学校 (コミュニティ・スクール)の推進	小学校の地域協働学校 (コミュニティ・スクール) の指定校(累計)	地域協働学校の指定校数 (29校中)	3校	15校
	中学校の地域協働学校 (コミュニティ・スクール) の指定校(累計)	地域協働学校の指定校数 (10校中)	1校	5校

2日目討議⑥ A-1グループ	
<b>地域協働学校(コミュニティ・スクール)の推進</b>	
(討議の方法例) 評価内容/問題点・課題/条件/提案など	
一次の評価と問題点の整理から推進の見直しが必要	協働委員の権限、業務範囲を明確にしてほしい
他地域での状況も含めて次の方針を考える	問題解決に継続できる専任者を置く必要がある
メンバー選定方法もモデル校の状況を見ながら検討すべき	協議会メンバーが学校の状況を把握できるシステムを作る
「親」の世代に参画しやすいようにすべき(地域ポストだけでなく)	学校情報の積極的な公開透明化を行う(インターネットなど)
<p>■主な意見(5つまで)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ モデル校、他自治体の問題点の整理・分析を強化</li> <li>◆ 協働委員の権限・業務範囲の明確化</li> <li>◆ 学校の情報の透明化・公開を進める</li> <li>◆ 継続的に問題を扱うための専任者設置</li> </ul>	

2日目討議⑥ A-2グループ	
<b>地域協働学校(コミュニティ・スクール)の推進</b>	
(討議の方法例) 評価内容/問題点・課題/条件/提案など	
いじめの発見につながる。地域力を活かすために学校に提言出来る機関として非常によい	子どもたちに、生活力をつけてもらうために、どのようなことが考えられるか 協議会の運営がネットで随時分かるようなシステムも必要→HP作成 twitter でツイートできる
全体で見守る環境をつくらせていく意味でも必要	情報の公開レベルは? セキュリティは?
住民(町会、育成会、商店街など) 学校関係者(教員、成人以上の卒業生、学校長、スクールコーディネーター、児童館長) 学校長の推薦で学識経験者	子どもを通わせていない家庭へアピールした方がよい
	ポスターなどをスーパー、商店街など地域の人が見る所に貼る?
	メンバーの人選偏るかも?
	地域でまとめて指定校にはせず、各地域に1校ずつなどばらけて指定した方がよいのでは?
道徳の時間(・地域のシルバーク・「食」地域の商店街)	一緒にできるもの企画する(地域と学校が)
	小学校の校庭を使用してイベントなどする
	地域の意見を持った人を置く(昔なら近所にいたが今は・・・)
	地域のコンビニにかつての駄菓子屋さんのような役割を担ってもらおう
	放課後に学校を1室解放して何か教えて頂く(地域のの方に)
<p>■主な意見(5つまで)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ (評価内容) 地域力を活かすために、学校に提言できる機関として非常によい</li> <li>◆ (問題点) 協働学校の配置やメンバーの人選などの考慮</li> <li>◆ 活動内容の公開の方法 (HP作成やセキュリティレベル)、存在の周知</li> <li>◆ (提案) 子供たちの意見も吸い上げられる様な体制作りも期待</li> </ul>	

2日目討議⑥ A-3グループ	
<b>地域協働学校(コミュニティ・スクール)の推進</b>	
(討議の方法例) 評価内容/問題点・課題/条件/提案など	
学校側と地域側のメリットを明確にする	一か所だけではなく数か所でもやり、もっとデータをとりニーズにこたえるべきでは・・・
	地域との協働が出来るなら必要
	必要性が不透明で実際の必要性がわからない
<p>■主な意見(5つまで)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 多数の学校で最初に導入したデータをとり地域住民へアピール等をしてほしい</li> <li>◆ 学校制・地域側のメリットを明確にし、活用する</li> <li>◆ 実際の活動が不透明な為、必要性が見えてこない</li> </ul>	

2日目討議⑥ A-4グループ	
<b>地域協働学校(コミュニティ・スクール)の推進</b>	
(討議の方法例) 評価内容/問題点・課題/条件/提案など	
建設的に教育のあり方を地域と一緒に考えていける仕組みでよい	地域のメリット 地域の方が関わってくれることで、地元への愛着も育まれ、将来の担い手になるのでは?
親や地域がよければ子どもの育ちにも良い影響	学校のメリット 多様な教育を行うためには多様な大人の関わりが重要で、取り組みは有効
震災等も考えると地域とのつながりを育む場所になる	教育内容に地域の教育力を活用したものを盛り込んで
担い手はできるだけ視野を広げること大事 参加しやすい環境作り	地域に対して学校が提供できることは何か、互いに win-win になる仕組み大事
地域の人に参加しやすい夜や日曜のAMなどに集まりがあるとよい	地元愛着のクラブ活動の場として学校を活用し、地域の中核にしては?
子どもと一緒に遊ぶだけでもよい	手芸等、得意なことを活かして、子ども達に教える etc は活躍しやすい
	子どもへの接し方等、サポートあるとよい
<p>■主な意見(5つまで)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 学校にとっては、多様な教育を行うためには有効な手法、地域にとっても地域のつながりを育んだり、将来の担い手育成となりメリットがある。互いに win-win な関係を築くことができる形で進めることが大事</li> <li>◆ 地域の人にとって参加しやすい環境作りが大事(時間帯を夜とか日曜の午前にする、活動内容を広げる)</li> <li>◆ 地域・保護者・学校ができることを持ち寄り建設的に教育のあり方を議論できる場として育てていくことが大事</li> </ul>	

37	まⅢ 2 ③	計画事業名	障害者、高齢者、若年非就業者等に対する総合的な就労支援	所管部	地域文化部
計画事業概要		<p>新宿区勤労者・仕事支援センターにおいて、新宿区シルバー人材センター、子ども総合センターとの連携や、就労支援事業相互の連携を図るとともに、多様な運営主体による多様な就労訓練や就労機会の提供により、障害者、高齢者、若年非就業者等に対する総合的な就労支援を、効率的かつ効果的に実施します。</p>			
23年度末の現況(予定)	27年度末の目標	年度別計画			
		24年度	25年度	26年度	27年度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティショップやサテライトオフィス等の実習生数 135人/年</li> <li>・就職者数(障害者・若年非就業者等) 32人/年</li> <li>・就職者数(高齢者) 200人/年</li> <li>・定着支援者数(障害者・若年非就業者等) 100人/年</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティショップやサテライトオフィス等の実習生数 180人/年</li> <li>・就職者数(障害者・若年非就業者等) 45人/年</li> <li>・就職者数(高齢者) 220人/年</li> <li>・定着支援者数(障害者・若年非就業者等) 130人/年</li> </ul>	1 就労支援事業 ①総合相談事業 ②若年者就労支援事業 ③障害者等就労支援事業 ④受注センター事業 ⑤コミュニティショップ運営事業 ⑥サテライトオフィス  2 障害福祉サービス事業 ①就労移行支援事業所 ②就労継続支援B型事業所  3 高年齢者無料職業紹介事業 ①新宿わく☆ワーク			
事業費(千円)	総事業費 1,197,202	301,413	299,851	297,969	297,969

対象事業の主な指標				
計画事業名	指標名	定義	23年度末の現況(予定)	27年度末の目標
障害者、高齢者、若年非就業者等に対する総合的な就労支援	コミュニティショップやサテライトオフィス等の実習生数	コミュニティショップやサテライトオフィス等で受け入れた障害者等の人数	135人/年	180人/年
	就職者数(障害者、若年非就業者等)	障害者、若年非就業者等で一般就労に結びついた人数	32人/年	45人/年
	就職者数(高年齢者のみ)	高年齢者で就労に結びついた人数	200人/年	220人/年
	定着支援者数(障害者、若年非就業者等)	就職後も引き続き支援を行った人数	100人/年	130人/年

38	まⅢ 2 ③	計画事業名	雇用促進支援の充実			所管部	地域文化部
計画事業概要		総合相談窓口による就労相談やハローワーク新宿、東京商工会議所などとの共催による面接会の開催や就職支援セミナーの実施により、中小企業の人材確保及び区民の就労の促進を図ります。					
23年度末の現況 (予定)	27年度末の目標	年度別計画					
		24年度	25年度	26年度	27年度		
・就労相談窓口 相談件数 120件/年	・就労相談窓口 相談件数 500件/年	・就労相談の実施				→	
・各種セミナーの 参加者数 240人/年	・各種セミナーの 参加者数 300人/年	・各種セミナー・面 接会の実施				→	
・面接会により就労 に結びつく者 30人/年	・面接会により就労 に結びつく者 50人/年						
事業費(千円)	総事業費 96,732	24,183	24,183	24,183	24,183		

## 対象事業の主な指標

計画事業名	指標名	定義	23年度末の現況(予定)	27年度末の目標
雇用促進支援の充実	就労支援総合相談窓口での 相談件数	就労支援総合相談窓口での 相談件数	120件/年	500件/年
	各種就職支援セミナー等へ の参加者数	各種就職支援セミナー等へ の参加者数	240人/年	300人/年
	就職面接会での採用者数	就職面接会での採用者数	30人/年	50人/年

**2日目討議⑥ B-1 グループ**

① 障害者、高齢者、若年非勤労者等に対する総合的な就労支援  
② 雇用促進支援の充実

(討議の方法例) 評価内容/問題点・課題/条件/提案など

事業費が高すぎないか?	相談件数を増やすとあるが、どう取り組むのか?
リーフレットが多く、カラーはどうか?	対象とする方が不明確
初めて知った事業内容がほとんど	雇用促進の充実も就労支援に含めてはどうか?

■主な意見(5つまで)

- ◆ 事業内容・成果と事業費が合っていない
- ◆ 対象者が不明確
- ◆ 雇用促進支援と就労支援の統合

**2日目討議⑥ B-2 グループ**

① 障害者、高齢者、若年非勤労者等に対する総合的な就労支援  
② 雇用促進支援の充実

(討議の方法例) 評価内容/問題点・課題/条件/提案など

障害者に対して差別があり働きづらい	障害者、高齢者支援の充実	高齢者、障害者も勇気を持ってがんばる	若年層は別枠で(二一)
-------------------	--------------	--------------------	-------------

時代的に雇用は少ないと思うが、促進支援のちがった方向はないか(インターンシップ制度)

■主な意見(5つまで)

- ◆ 障害者・高齢者支援の充実、しかし障害者・高齢者も勇気をもってがんばること
- ◆ 雇用者側も障害者に対して差別なく平等に(遠慮がちに感じる)
- ◆ 若年層に対して別枠で考えたい
- ◆ 促進支援の違った方向はないか(インターンシップ制度など)

**2日目討議⑥ B-3 グループ**

① 障害者、高齢者、若年非勤労者等に対する総合的な就労支援  
② 雇用促進支援の充実

(討議の方法例) 評価内容/問題点・課題/条件/提案など

就労について55歳で区切りをなぜつける	必要な人に情報が届いていない	費用対効果があるのか?(費用をかけすぎ)	就職斡旋をするのなら希望者の立場になって企業に受け入れ体制を提案してもらいたい
告知不足では?	区民のための就労では情報量が少ないのでは?	ハローワークで間に合うのでは?	

■主な意見(5つまで)

- ◆ ハローワークとの違いがわからない
- ◆ 告知不足(リーフレットがどこにあるのかわからない)
- ◆ 55歳でなぜ区切りをつける
- ◆ 費用対効果

**2日目討議⑥ B-4 グループ**

① 障害者、高齢者、若年非勤労者等に対する総合的な就労支援  
② 雇用促進支援の充実

(討議の方法例) 評価内容/問題点・課題/条件/提案など

国・都・区の連携が見えてこない  
ハローワークのみで良い?  
区の施設を知らなかった(区のは不要?)

公務員として雇うべき!(ワークシェアリング?)  
ハローワークのみで良い!  
↑障害者、高齢者対応

(相談者のわりに)税金をつかかず  
↓  
高齢者支援に税金を回すべき  
↓  
高齢者支援の仕事に雇用を増やすべき!

■主な意見(5つまで)

- ◆ 国のハローワーク 区の仕事支援センターや新宿わく☆わーく と住み分けが不明確でハローワークのみで良いではないか?
- ◆ この件に関しては税金の無駄遣いだからさっきの高齢者支援に回した方がいいです
- ◆ 就労支援や促進支援ばかりでなく区として具体的に雇用を促進すべきではないか

22	まⅡ4②	<b>計画事業名</b>	<b>新中央図書館等の建設</b>			所管部	教育委員会事務局
<b>計画事業概要</b>		平成22年11月に策定した「新中央図書館等基本計画」等を踏まえ、旧戸山中学校跡地に新宿の知の拠点にふさわしい新中央図書館等の建設をめざします。					
23年度末の現況 (予定)	27年度末の目標	年度別計画					
		24年度	25年度	26年度	27年度		
・新中央図書館等の建設検討	・新中央図書館等の建設検討	・新中央図書館等の建設検討				→	
事業費(千円)	総事業費	-	-	-	-	-	
(関連事業) 105 旧戸山中学校の活用							

**対象事業の主な指標**

計画事業名	指標名	定義	23年度末の現況(予定)	27年度末の目標
新中央図書館等の建設	新中央図書館等の建設検討	「新中央図書館等基本計画」等を踏まえた建設検討	「新中央図書館等基本計画」等を踏まえた建設検討	「新中央図書館等基本計画」等を踏まえた建設検討

24	まⅡ4③	<b>計画事業名</b>	<b>図書館サービスの充実 (区民に役立つ情報センター)</b>			所管部	教育委員会事務局
<b>計画事業概要</b>		電子書籍の導入など、新しい時代に向けた図書館サービスのあり方を検討します。 また、ビジネス情報支援相談会などによる情報サービスの提供については、引き続き実施します。					
23年度末の現況 (予定)	27年度末の目標	年度別計画					
		24年度	25年度	26年度	27年度		
・レファレンス件数 80件/日	・レファレンス件数 90件/日	・新しい図書館サービスの検討 ・情報サービスの提供				→	
事業費(千円)	総事業費	2,980	745	745	745	745	

**対象事業の主な指標**

計画事業名	指標名	定義	23年度末の現況(予定)	27年度末の目標
図書館サービスの充実 (区民に役立つ情報センター)	レファレンス件数	利用者の調査研究等に必要資料や情報を的確に案内するサービスの相談件数	80件/日	90件/日

2日目討議⑥ C-1グループ						
<p>① 新中央図書館等の建設 ② 図書サービスの充実（区民に役立つ情報センター）</p> <p>（討議の方法例）評価内容／問題点・課題／条件／提案など</p>						
<table border="1"> <tr> <td>戸山中学校という地が適切か？交通の便が悪い</td> <td>図書館はそのままが良い</td> </tr> <tr> <td>図書館は、あまり近代化過ぎなくても良いと思う（インターネットにまかせて）</td> <td>新中央図書館の必要性が薄い。現図書館の補強工事に対応可</td> </tr> <tr> <td>図書館サービス 現在のレベルで充分</td> <td>サービスは各自でインターネットで見るとして、インターネットの使用時間を30分から1時間に増やす。プリンターの導入。（枚数制限または一枚10円とか徴収）</td> </tr> </table>	戸山中学校という地が適切か？交通の便が悪い	図書館はそのままが良い	図書館は、あまり近代化過ぎなくても良いと思う（インターネットにまかせて）	新中央図書館の必要性が薄い。現図書館の補強工事に対応可	図書館サービス 現在のレベルで充分	サービスは各自でインターネットで見るとして、インターネットの使用時間を30分から1時間に増やす。プリンターの導入。（枚数制限または一枚10円とか徴収）
戸山中学校という地が適切か？交通の便が悪い	図書館はそのままが良い					
図書館は、あまり近代化過ぎなくても良いと思う（インターネットにまかせて）	新中央図書館の必要性が薄い。現図書館の補強工事に対応可					
図書館サービス 現在のレベルで充分	サービスは各自でインターネットで見るとして、インターネットの使用時間を30分から1時間に増やす。プリンターの導入。（枚数制限または一枚10円とか徴収）					
<p>■主な意見（5つまで）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 中央図書館は補強工事を施し、継続使用</li> <li>◆ 新中央図書館候補地（戸山中学校）は交通の便があまり良くない（利便性が悪い）</li> <li>◆ 図書館サービスは現在のレベルで充分。インターネット利用で各自でできる</li> <li>◆ インターネットの利用時間を30分から1時間に延長。またプリンターを導入し、有料で使用できるようにする</li> </ul>						

2日目討議⑥ C-2グループ															
<p>① 新中央図書館等の建設 ② 図書サービスの充実（区民に役立つ情報センター）</p> <p>（討議の方法例）評価内容／問題点・課題／条件／提案など</p>															
<table border="1"> <tr> <td>区の図書館の使命はほぼ似たり 楽しめる時間の過ごせる場所を一考</td> <td>新しい情報と共に古典、古文について研究の充実をのぞむ</td> <td>区の図書館の使命は？</td> </tr> <tr> <td>今すぐ仮施設に行かなきゃいけないのか？</td> <td>本の文化を楽しめる場所</td> <td>情報時代に上ものにお金をかける必要はないのではと疑問</td> </tr> <tr> <td>仮はなぜ必要なのか？</td> <td>老朽化とかは予想できたはずなのに何をしていたのか？</td> <td>区の教育施設（小学校）との貸し出しの連携</td> </tr> <tr> <td>現建物の耐震対策の方が先</td> <td>仮に行ってもまた新しい図書館に移動するなんて金の無駄じゃん！</td> <td>緊急性なし</td> </tr> <tr> <td></td> <td>とりあえず説明が足りない過ぎて何もいえません</td> <td></td> </tr> </table>	区の図書館の使命はほぼ似たり 楽しめる時間の過ごせる場所を一考	新しい情報と共に古典、古文について研究の充実をのぞむ	区の図書館の使命は？	今すぐ仮施設に行かなきゃいけないのか？	本の文化を楽しめる場所	情報時代に上ものにお金をかける必要はないのではと疑問	仮はなぜ必要なのか？	老朽化とかは予想できたはずなのに何をしていたのか？	区の教育施設（小学校）との貸し出しの連携	現建物の耐震対策の方が先	仮に行ってもまた新しい図書館に移動するなんて金の無駄じゃん！	緊急性なし		とりあえず説明が足りない過ぎて何もいえません	
区の図書館の使命はほぼ似たり 楽しめる時間の過ごせる場所を一考	新しい情報と共に古典、古文について研究の充実をのぞむ	区の図書館の使命は？													
今すぐ仮施設に行かなきゃいけないのか？	本の文化を楽しめる場所	情報時代に上ものにお金をかける必要はないのではと疑問													
仮はなぜ必要なのか？	老朽化とかは予想できたはずなのに何をしていたのか？	区の教育施設（小学校）との貸し出しの連携													
現建物の耐震対策の方が先	仮に行ってもまた新しい図書館に移動するなんて金の無駄じゃん！	緊急性なし													
	とりあえず説明が足りない過ぎて何もいえません														
<p>■主な意見（5つまで）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 図書館の使命は？情報の拠点に区がお金をかける必要はない</li> <li>◆ 本の文化（古典・古文）をもっと楽しめる環境づくりをして欲しい</li> <li>◆ 区の教育施設との貸出の連携</li> <li>◆ 老朽化は予想できたはずなのに何をしていたのか？</li> <li>◆ 仮は本当に必要なのか？金の無駄にならないのか？</li> </ul>															

2日目討議⑥ C-3グループ																		
<p>① 新中央図書館等の建設（A） ② 図書サービスの充実（区民に役立つ情報センター）（B）</p> <p>（討議の方法例）評価内容／問題点・課題／条件／提案など</p>																		
<table border="1"> <tr> <td>旧戸山中学校の校舎をそのまま使ってはどうか</td> <td>ミニシアターとかカフェ、レストラン（校舎を壊さないで）</td> <td>自習室 空間を区切り静かな場所にしてほしい</td> </tr> <tr> <td>みどり、空中庭園、災害用トイレ、治水、キッズルーム（保育士）、シェア駐輪、すべて含めて 少しでも有料化あり</td> <td>視覚障害者用の音でのサービス提供</td> <td>意見）インターネットのページも時間もたつとなくなることもあるのでその1年ごとのインターネットのページのアーカイブも作って</td> </tr> <tr> <td></td> <td>図書館の中に老眼鏡をおいてほしい</td> <td>概念図自体、夢物語に近い。時間かけた議論を</td> </tr> <tr> <td></td> <td>バリアフリー 広いキレイ デザイナー</td> <td>高齢者が楽しめる本をふやす</td> </tr> <tr> <td></td> <td>飲食できる部屋（本は持ち出しダメ 学生とか勉強できる）</td> <td>外国人用のサービスは？日本生活ハウツー</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高齢者がインターネット出来るようにパソコン教室（簡単な）</td> <td></td> </tr> </table>	旧戸山中学校の校舎をそのまま使ってはどうか	ミニシアターとかカフェ、レストラン（校舎を壊さないで）	自習室 空間を区切り静かな場所にしてほしい	みどり、空中庭園、災害用トイレ、治水、キッズルーム（保育士）、シェア駐輪、すべて含めて 少しでも有料化あり	視覚障害者用の音でのサービス提供	意見）インターネットのページも時間もたつとなくなることもあるのでその1年ごとのインターネットのページのアーカイブも作って		図書館の中に老眼鏡をおいてほしい	概念図自体、夢物語に近い。時間かけた議論を		バリアフリー 広いキレイ デザイナー	高齢者が楽しめる本をふやす		飲食できる部屋（本は持ち出しダメ 学生とか勉強できる）	外国人用のサービスは？日本生活ハウツー		高齢者がインターネット出来るようにパソコン教室（簡単な）	
旧戸山中学校の校舎をそのまま使ってはどうか	ミニシアターとかカフェ、レストラン（校舎を壊さないで）	自習室 空間を区切り静かな場所にしてほしい																
みどり、空中庭園、災害用トイレ、治水、キッズルーム（保育士）、シェア駐輪、すべて含めて 少しでも有料化あり	視覚障害者用の音でのサービス提供	意見）インターネットのページも時間もたつとなくなることもあるのでその1年ごとのインターネットのページのアーカイブも作って																
	図書館の中に老眼鏡をおいてほしい	概念図自体、夢物語に近い。時間かけた議論を																
	バリアフリー 広いキレイ デザイナー	高齢者が楽しめる本をふやす																
	飲食できる部屋（本は持ち出しダメ 学生とか勉強できる）	外国人用のサービスは？日本生活ハウツー																
	高齢者がインターネット出来るようにパソコン教室（簡単な）																	
<p>■主な意見（5つまで）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 旧戸山中学校の校舎をそのまま使えないのか（A）</li> <li>◆ 今まで討議した内容をすべて網羅した夢の図書館を作ってはどうか（みどり・空中庭園・災害トイレ・治水・キッズルーム〈保育士〉・シェア自転車の利用・少しでも有料あり）（A）</li> <li>◆ バリアフリー、空間を仕切る（静かな）、カフェ、レストラン、ミニシアター（デザイナーを入れる）（B）</li> <li>◆ 老眼鏡、視覚障害者用に音で聴けるサービス。PCで高齢者が簡単に利用できるサービス（B）</li> <li>◆ もっと検討しよう（B）</li> </ul>																		

2日目討議⑥ C-4グループ												
<p>① 新中央図書館等の建設 ② 図書サービスの充実（区民に役立つ情報センター）</p> <p>（討議の方法例）評価内容／問題点・課題／条件／提案など</p>												
<table border="1"> <tr> <td>災害（主に地震）の時の避難場所になる</td> <td>色々な講習会を開いてほしい お料理教室 パソコン教室</td> <td>iPadを貸し出して例えば家とかでも電子書籍を読めるようにする</td> </tr> <tr> <td>駅の近くに図書館の窓口をつくってほしい。取り寄せできるとか・・・</td> <td>シアターを作ってほしい</td> <td>返却を郵送にしてほしい</td> </tr> <tr> <td></td> <td>カフェをつくってお茶を飲みながら本を読みたい</td> <td>インターネット充実台数の確保</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>中小企業診断士はいらない</td> </tr> </table>	災害（主に地震）の時の避難場所になる	色々な講習会を開いてほしい お料理教室 パソコン教室	iPadを貸し出して例えば家とかでも電子書籍を読めるようにする	駅の近くに図書館の窓口をつくってほしい。取り寄せできるとか・・・	シアターを作ってほしい	返却を郵送にしてほしい		カフェをつくってお茶を飲みながら本を読みたい	インターネット充実台数の確保			中小企業診断士はいらない
災害（主に地震）の時の避難場所になる	色々な講習会を開いてほしい お料理教室 パソコン教室	iPadを貸し出して例えば家とかでも電子書籍を読めるようにする										
駅の近くに図書館の窓口をつくってほしい。取り寄せできるとか・・・	シアターを作ってほしい	返却を郵送にしてほしい										
	カフェをつくってお茶を飲みながら本を読みたい	インターネット充実台数の確保										
		中小企業診断士はいらない										
<p>■主な意見（5つまで）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 災害時の避難所になるような新中央図書館の建設</li> <li>◆ 駅の近くに図書館がほしい（せめて窓口だけでも…）</li> <li>◆ 身近なサービスの充実。講習会、シアター、カフェ、iPad 貸出</li> <li>◆ 返却を郵送にする、インターネットの充実（台数確保）</li> <li>◆ 中小企業診断士、情報コンシェルジュは不要</li> </ul>												

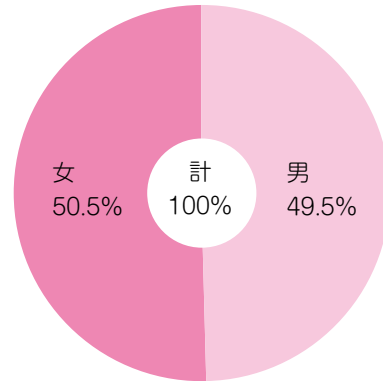


## 資料2 参加者の属性

### 1 男女比

#### (1) 区全体

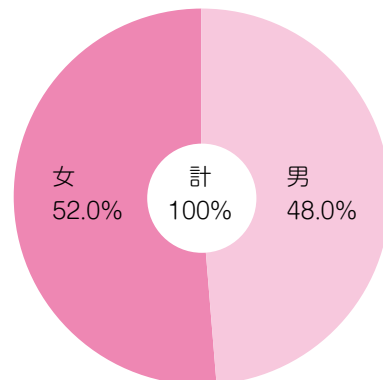
性別	人数	割合
男	128,221	49.5%
女	130,550	50.5%
計	258,771	100.0%



(注1) (1) の人数は、住民基本台帳及び外国人登録データ（永住者及び特別永住者）における満18歳以上の男女数（基準日：平成23年8月16日）

#### (2) 無作為抽出者

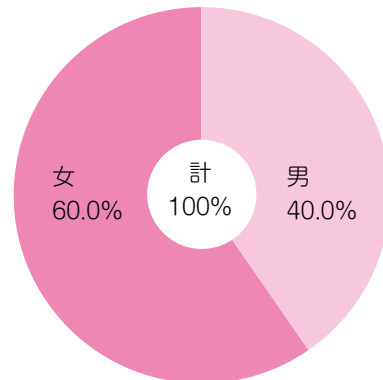
性別	人数	割合
男	576	48.0%
女	624	52.0%
計	1,200	100.0%



(注2) 無作為抽出の方法は、上記(1)から1,200人を層化抽出法により行った。

#### (3) 参加者

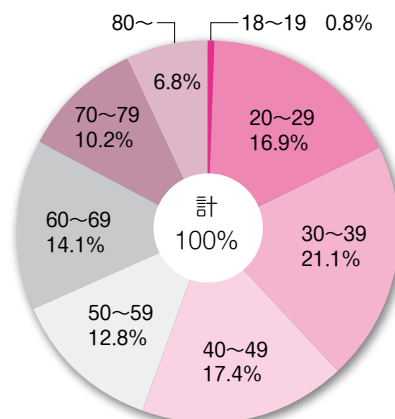
性別	人数	割合
男	22	40.0%
女	33	60.0%
計	55	100.0%



## 2 年齢別

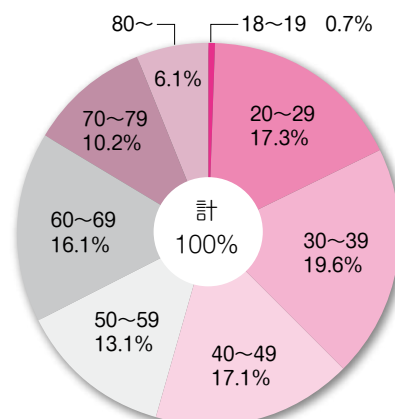
### (1) 区全体

年齢（歳）	人数	割合
18～19	2,072	0.8%
20～29	43,615	16.9%
30～39	54,669	21.1%
40～49	44,923	17.4%
50～59	33,098	12.8%
60～69	36,424	14.1%
70～79	26,387	10.2%
80～	17,583	6.8%
計	258,771	100.0%



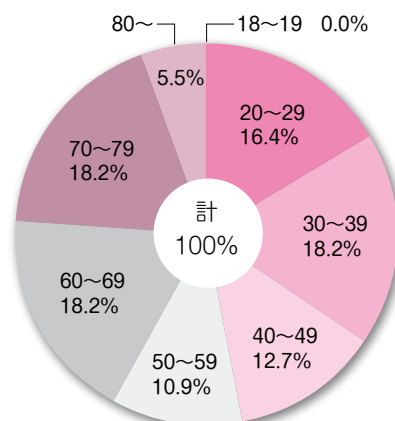
### (2) 無作為抽出者

年齢（歳）	人数	割合
18～19	8	0.7%
20～29	207	17.3%
30～39	235	19.6%
40～49	205	17.1%
50～59	157	13.1%
60～69	193	16.1%
70～79	122	10.2%
80～	73	6.1%
計	1,200	100.0%



### (3) 参加者

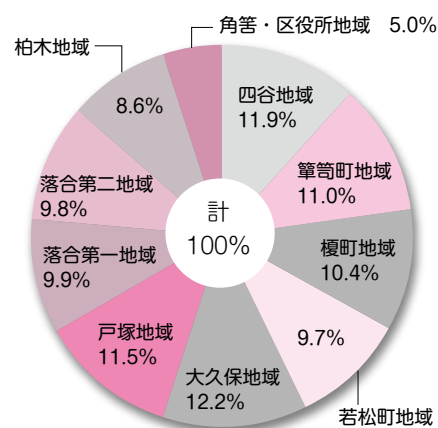
年齢（歳）	人数	割合
18～19	0	0.0%
20～29	9	16.4%
30～39	10	18.2%
40～49	7	12.7%
50～59	6	10.9%
60～69	10	18.2%
70～79	10	18.2%
80～	3	5.5%
計	55	100.0%



## 3 地域別

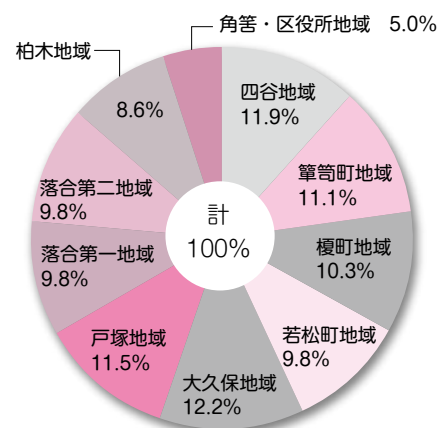
## (1) 区全体

地域	人数	割合
四谷地域	30,813	11.9%
箆笥町地域	28,559	11.0%
榎町地域	26,811	10.4%
若松町地域	25,110	9.7%
大久保地域	31,656	12.2%
戸塚地域	29,845	11.5%
落合第一地域	25,510	9.9%
落合第二地域	25,289	9.8%
柏木地域	22,275	8.6%
角筈・区役所地域	12,903	5.0%
計	258,771	100.0%



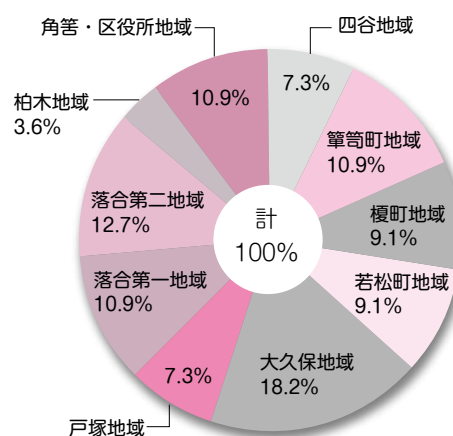
## (2) 無作為抽出者

地域	人数	割合
四谷地域	143	11.9%
箆笥町地域	133	11.1%
榎町地域	124	10.3%
若松町地域	117	9.8%
大久保地域	146	12.2%
戸塚地域	138	11.5%
落合第一地域	118	9.8%
落合第二地域	118	9.8%
柏木地域	103	8.6%
角筈・区役所地域	60	5.0%
計	1,200	100.0%



## (3) 参加者

地域	人数	割合
四谷地域	4	7.3%
箆笥町地域	6	10.9%
榎町地域	5	9.1%
若松町地域	5	9.1%
大久保地域	10	18.2%
戸塚地域	4	7.3%
落合第一地域	6	10.9%
落合第二地域	7	12.7%
柏木地域	2	3.6%
角筈・区役所地域	6	10.9%
計	55	100.0%



### 資料3 参加者名簿

(敬称略 アイウエオ順)

	氏 名		氏 名
1	安里 章子	29	須見 久子
2	A. T	30	成 華珍
3	荒 正治	31	関 静江
4	五十嵐 加耶子	32	芥 志博
5	池澤 真子	33	高野 翠
6	石川 昭治	34	高橋 房子
7	石川 直美	35	竹田 誠
8	石川 佳明	36	田中 和美
9	榎本 繁夫	37	田中 美知子
10	岡	38	田村 竜一
11	岡 三郎	39	中尾 朱観
12	岡谷 規子	40	中河西 宏
13	片山 美奈子	41	新飯田 兼
14	勝又 仁美	42	廣瀬 千奈美
15	加藤 汐理	43	松永 巖
16	加藤 秀子	44	丸山 隆二
17	金子 照子	45	宮田
18	倉持 貞雄	46	宮原 諭
19	黒澤 誠	47	谷中 照美
20	黒田 隆弘	48	矢野 絹枝
21	神志那 奈央	49	山下 孝之
22	小西 弘之	50	山田 昭子
23	小林 幸子	51	山本 篤
24	小松 睦子	52	山本 浩二
25	齋藤 和子	53	吉岡 実保
26	櫻井 雄貴	54	吉住 千絵
27	柴田 綾子	55	渡邊 倭文子
28	澁江 美和子		

\*参加者ご本人の希望により、一部、氏のみ又はイニシャルでの表記になっています。

## 資料4 参加者アンケート結果

### 1. 討議会前、参加者アンケート集計

平成23年10月22日実施

回収数55人

【1】参加依頼を受け取った時、どう思いましたか（複数選択可）	人
1 面白そうだと思い、進んで参加しようと思った	19
2 内容が難しいと思ったが、参加してみたいと思った	26
3 区民の役割を果たすため、参加しようと思った	17
4 その他（*）	4
*何かなと思った、討議会の存在に驚いた、参加して主張が通るとは思えないが、など	
【2】参加を決めた主な理由は何でしょうか（複数選択可）	人
1 第二次実行計画に興味があったため	7
2 区民討議会に興味があったため	30
3 自分たちの区のことは自分たちで決めていきたいと思ったため	28
4 無作為抽出という手法に興味を持ったため	13
5 謝礼があったため	14
6 その他（*）	6
*その他の回答 よい経験になる、ちょっと参加してみようと思った、勉強しようと思った、 区の為になるなら、区に要望を出しているが区の応答に不満あり など	
【3】今まで参加したことのあるものを教えてください（複数選択可）	人
1 町会・自治会・地区協議会での活動	10
2 NPO・ボランティア活動	12
3 選挙での投票	35
4 区主催のシンポジウムや審議会などへの参加	3
5 地域での祭りやイベントなどへの参加	22
6 特にない	7
7 その他（*）	2
*その他の回答 書道教室で指導、選挙応援	
【4】討議会に参加するにあたってどのような考えをお持ちかお聞かせください（複数選択可）	人
1 区の実行計画について詳しく知りたい	26
2 他の討議参加者と交流を深めたい	7
3 今回の討議会の中で提案したい事がある	5
4 とりあえず様子を見てみたい	37
5 その他	2

## 2. 討議会後、参加者アンケート集計

平成23年10月23日実施

回収数55人

### 【1】 討議会に参加してどのようにお感じになりましたか（複数選択可） 人

1 面白かった	34
2 勉強になった	47
3 実行計画に対する関心が高まった	33
4 つまらなかった	2
5 その他（*）	4

#### \*その他の回答

- ・来なければ分からないことが多すぎた
- ・区取組みが区民に伝わっていない、こんなにお金を使っていることに驚いた
- ・難しかった
- ・事務的用語が多すぎ

### 【2】 今後、このような討議会のご案内が届いた時どうしますか（複数選択可） 人

1 何があっても参加する	4
2 日程が合えば参加する	40
3 テーマによっては参加する	17
4 参加しない	3
5 その他（*）	3

#### \*その他の回答

- ・もっといろいろなたくさんの人に経験してもらいたいから断る など

### 【3】 今回のような討議会は今後も推進したほうが良いと思いますか（複数選択可） 人

1 進めるべき	41
2 どちらともいえない	12
3 やめるべき	1
4 分からない	0
5 その他（*）	7

#### \*その他の回答

- ・この結果がどのように使われるかによる
- ・どの程度事業計画に反映されるのか継続して見守りたい
- ・区の活動のPRにつながるので行ったほうがよい
- ・分野によって総合的に考える必要があり発言が出しづらい項目があった
- ・区民の声を直接聞くことが出来るので良い
- ・表面的でなければ進めるべき
- ・ぜひ開かれた政治を行って下さい

## 【4】 今後または引き続き行いたいと思われるものはどれでしょうか（複数選択可） 人

1 町会・自治会・地区協議会での活動	22
2 NPO・ボランティア活動	18
3 選挙での投票	26
4 区主催のシンポジウムや審議会などへの参加	15
5 地域での祭りやイベントなどへの参加	18
6 特にない	3
7 その他（*）	2

\*その他の回答

- ・参加者にこの結果を必ず教えてください
- ・今回以外の活動・参加など知らないので、機会があり興味があれば参加したい

## 【5】 最後に何か一言あればご自由にお書きください

- ◆区の行事などに参加する気持ちがわきました。
- ◆より深く新宿区の行政の一端にふれることができました。一層の発展を祈ります。
- ◆やはり討議への参加度？のかたよりが気になりました。発言しない方は呼ばないようにしてほしい。大変勉強になりましたが、平均年齢がもう少し若くなれば批判ばかりではなく建設的な意見もでたのかな？と思いました。
- ◆事前の準備は大変だったと思いますが、住民参加のこのような企画は今後も続けていただきたいと思います。
- ◆班編成で同じ人（複数）と同席が続いた。
- ◆特に若い方の認識が高いのには感心致しました。
- ◆印刷物が多かった。特にカラー印刷が無駄のような気がします。一度民間企業に判断してもらったほうが良いと思います。
- ◆報酬が少なすぎる。
- ◆資料やクリアファイル等無駄があるのでは？と思った。
- ◆弁当の質を高めてもらいたい。
- ◆次回もあればぜひ参加したい。
- ◆方向性だけでも生かしてほしいです。
- ◆説明資料全部にページが書いてないなど資料が見にくい。見やすくわかりやすい資料をお願いします。次回改善してほしいと思います。
- ◆たいへん勉強になり、今後の人生のはげみになりました。
- ◆事前に討議内容のリサーチをしてもらいたい。
- ◆面白くなかった。
- ◆ありがとうございました。

- ◆すべての項目に発言できないが、専門的知識を要するところで発言したいと思った。
- ◆スタッフの皆さまありがとうございました。おつかれさまでした。
- ◆自転車について説明された課長さまに一言。社会人としての礼儀をわきまえてください。非常に横柄な態度で無礼と感じました。
- ◆人それぞれの意見が聞けて違いがあることがわかった。お弁当は少し不満でした。スタッフの皆様お世話様でした。
- ◆一区民として参加できたこと意義あり、感謝。結果知りたい。広報誌など。
- ◆大変勉強になりました。
- ◆討議の結果報告がほしい（個別に）。区長には参加してほしかった。
- ◆非常に良かったと思います。
- ◆勉強になりました。
- ◆書類にページ数を記載してほしい。討議しづらい、しょうがない議題がいくつかあった。
- ◆広く意見を聞く場としては有効だと思うが、責任を取らない人々の発言だけで政策が決まっていくとしたらこわいと思った。
- ◆テーマの数を絞って行う。複数ではなく深く討議したかった。
- ◆様々な世代の方と討議することができて楽しかったです。運営の方々がとても親切でわかりやすかったです。ありがとうございました。
- ◆説明する側はもっと素人目線で説明しましょう。知らない人への説明をしてください。数字がいっぱいあるものは素人では読み込めない。
- ◆区民のためになる大変素晴らしい討議会でしたので、参加人数の拡大を望みます。
- ◆新宿への関心が高まった。
- ◆もっと固い感じかと思ったが、2日間楽しくできました。良い経験ができたし、これからも続けてください。
- ◆説明した課長が最初に話した際にヒジをつきながら話をしていたのが不愉快でならなかった。
- ◆配布資料には通し番号を入れてほしい。ページ数も。この討議会の内容にメンバーを2日間も拘束する必要があるのか疑問。Aグループの運営スタッフに風邪をひいている方がいた。大勢の人が集まる場所なのでマスク着用など配慮してほしい。
- ◆討議会の結果がどのように活かされるのかを楽しみにしています。
- ◆課長さんのあいさつに対する対応がとてもおどろいた。風邪引きの職員はマスクを使用してほしかった。
- ◆ぜひ区民の声を生かして欲しいです。



## 資料5 参加希望者アンケート結果

区民討議会の参加依頼に対し、参加申込をされた区民の方にアンケートをお願いしたところ、89名の方からご回答をいただきました。

### アンケート集計

質問1. 今回のご参加に際して苦勞なさった点、悩んだ点がありましたか？ 人

1 特になかった	54
2 予定を変更した	14
3 開催場所（区役所）が遠い	1
4 謝礼が安すぎる（二日で12,000円）	4
5 その他（*）	19

\* 「その他」の主な回答

- ・2日連続など拘束時間が長い（8人）
- ・興味があるが、具体論でない
- ・どのような事を討議するのか具体的にわからなかった為
- ・若くなくても良いのでしょうか？
- ・別の予定が急に入らないか心配になった
- ・行政に対して知識がないので資格があるのか
- ・自分につとまるか不安
- ・日程があっていた
- ・勉強が忙しい
- ・区民の自覚を新にしたい
- ・子どもの保育
- ・多少考えた

質問 2. 参加を決めた理由は何でしょうか？ 人

1	第二次実行計画策定に興味があったため	31
2	区民討議会に興味があったため	47
3	自分たちの区のこと自分たちで考えたいと思ったため	49
4	無作為抽出の手法に興味を持ったため	13
5	謝礼があったため	18
6	その他（*）	7

\* 「その他」の主な回答

- ・ 公共政策に強く関心を持っていたため
- ・ 社会のためにできることをしたかったため
- ・ 納税者として財源の使い方に興味を持ったため
- ・ 第一次実行計画の成果がどのようなものだったのか興味がある
- ・ 善処すべき意見を述べたいと思った
- ・ これもなにかの運だと思ったため
- ・ 就職前に良い経験になると思ったため

質問 3. ご自身のことについて、お差し支えない範囲でお答えください。

		人
◎性 別	1 男性	31
	2 女性	53
	*無回答	5
◎年 齢	1 10代	0
	2 20代	13
	3 30代	14
	4 40代	18
	5 50代	9
	6 60代	15
	7 70代	15
	8 80代以上	5
◎職 業	1 会社員・公務員	19
	2 パート・アルバイト	12
	3 自営業	5
	4 経営者・会社役員	6
	5 専業主婦／主夫	12
	6 学生	6
	7 無職	14
	8 その他（*）	13

\* 派遣社員、契約社員、有限会社社員、フリー、音楽家、華道教授など

## <自由記入欄>

### (新宿区の課題・関心事)

- ◆私が住んでいる地域は保守的と言われていました。この地域で互助の考え方が定着するため自分に何が出来るか、参加することで考えていけたらと思っています。
- ◆防災、危機管理、省エネに強い関心があります。特に新宿区は地下施設も多く、大規模災害に対する備えは急務だと考えます。
- ◆特に地下鉄東西線の早稲田駅よりの夏目坂通りの地域がさびしくなりました。何か良い考えはないだろうかと思います。私は現在79歳と3カ月になる高齢者です。杉並区に35年住んでいましたが、その後東京を離れ、5年前に文京区、新宿と住むようになりました。
- ◆寺や神社が多い。街は灼熱なのにそこだけ緑も多い。公共の場に緑を増やせないのか。
- ◆現実的で前向き 心豊かな社会を実現したいと考える。
- ◆今年は大震災などの思いがけない災害に備えた準備が必要と考えています。東北大震災の3月11日の新宿区の対応（帰宅困難者）については他の区に比べると遅かったと思います。
- ◆新宿在住の若い世代に活力を発信したい。
- ◆国際都市東京の「新宿のまち・ひと・くらし」について皆様と話し合えることは楽しみです。

### (区民参加・討議会参加)

- ◆地域社会のために役立てることができれば幸いです。こういった活動があることを初めて知り、勉強になりました。
- ◆具体的なことは、討論会あるいはしかるべきところで立案されると思いますが、いつも役所の文書はかたく無表情で、心がそそられない。しかし区民として興味があるので是非参加したい。
- ◆とても楽しみにしております。
- ◆区民討議会は今後も続けてほしい。
- ◆このような手間をかけた政治は大切だと思います。区政が身近に感じました。
- ◆60歳過ぎて、区政のことは良く分かりません。それでも良いのでしょうか。
- ◆新宿区の取り組みがどのようなものでその成果がどうだったのかを知る機会が少ないように思います。また、どの様な施設・サービスがあり、利用できるのかが、いまいち分かりません。もったいないことだと思います。
- ◆普段、区のことを考える機会がないのでこういったアンケートをするだけでも興味を持ててよかったです。
- ◆新宿区に住み始めて10年経ちましたが、今まで地域に貢献したことがありませんでした。これを機に少しでも地域に貢献できたら嬉しいです。

(討議会の意見反映)

- ◆そもそも「区民の声」なるものが、本当に反映されるのか、あるいはこの討議会の内容が本当に「区民の声」なのかは疑問。「総合的に判断」する中でどちらにしる無視される可能性は高いでしょう。政策担当者の意に沿えぬ場合に限って
- ◆今回の討議会の結果が単に開催したということにとどまらず今後の区政に有効に活用されることを望みます。
- ◆意見が果たして計画策定にどの様に反映されるのか？をお教えてください。特に権限と責任について(形だけの参加とならないことを期待しています)

(謝礼)

- ◆区民討議等参加するに対して謝礼の事は考えた事が無い。
- ◆謝礼はなくて良いと思う。
- ◆サービス業に関しては、土日出勤の為、日給に見合う謝礼が良いかと。
- ◆週一回で二週間にわたる方が参加しやすいと思います。謝礼はこれ以上多くする必要はないと思います。

## 資料6 不参加者アンケート結果

区民討議会の参加依頼に対し、参加申込をされなかった区民の方にアンケートをお願いしたところ、187名の方からご回答をいただきました。

### アンケート集計

質問1. 今回ご参加いただけない理由をお聞かせください。(複数回答可)	人
1 すでに予定が入っている	88
2 2日間連続して参加するのは難しい	84
3 1日あたりの開催時間が長い	58
4 開催場所(区役所)が遠い	5
5 実行計画に興味が無い	12
6 その他(*)	43

\*その他の主なものとしては

- ・療養中のため(10人)
- ・高齢のため(7人)
- ・仕事のため(6人)
- ・転居のため(5人)
- ・育児のため(3人)
- ・不在のため(2人)
- ・要介護のため
- ・障害のため
- ・入院中
- ・体力的に自信がない
- ・親の介護
- ・妻の介護
- ・出産予定
- ・夜中仕事のため昼はつらい
- ・休日は実家に帰省する
- ・責任をもった意見を私が言えるとは思えない
- ・1200人で60人であれば自分でない方に対応できると思ったから

質問 2. 今後、このような会議を開催する場合、  
どのような条件でしたら参加しやすいですか？（複数回答可） 人

1 日程が合えば参加したい	110
2 開催場所を複数にして、近くにする	15
3 謝礼をもっと高額にする	9
4 テーマをもっと親しみやすいものにする	34
5 その他（*）	31

\*その他の主なものとしては、

- ・拘束時間が短ければ（9人）
- ・参加は難しい（7人）
- ・体調による（3人）
- ・参加する意思がない（3人）
- ・夕方からなら（2人）
- ・テーマの説明を行う
- ・テーマを具体的に
- ・災害対策について
- ・60名とはいわず地域ごとに大まかにミーティングし、多くの意見を取りまとめた方が  
良いのでは

質問 3. ご自身のことについて、お差し支えない範囲でお答えください。

		人
◎性別	1 男性	72
	2 女性	102
	*無回答	13
◎年齢	1 10代	0
	2 20代	11
	3 30代	24
	4 40代	25
	5 50代	34
	6 60代	46
	7 70代	24
	8 80代以上	20
◎職業	1 会社員・公務員	49
	2 パート・アルバイト	17
	3 自営業	25
	4 経営者・会社役員	15
	5 専業主婦／主夫	33
	6 学生	2
	7 無職	28
	8 その他	11

## <自由記入欄>

### (開催日時)

- ◆ 1日の開催時間は3時間が限度と思う。
- ◆ こんなこと二度とはないだろうから参加したかったけど残念です。日曜だけとか仕事が無いときだったらとつくづく思いました。
- ◆ フルタイムで働く者に休日2日間を使わせるのは平日できない所用を済ませる人も多く無理がある。必然的に参加できる人間に偏りが起こり健全な話し合いになるのか疑問である。拘束時間を工夫するなど必要ではないか。
- ◆ せっかくの機会に参加できないのは非常に残念なのですが、当方サラリーマンのため、土日は貴重なプライベートの時間でありそれを全て費やすのはかなり厳しいです。でも若葉地区住民として参加したい意欲はもっております。
- ◆ 1日の拘束時間が長い上に2日連続というのは普通に平日働いている者には少々大変です。
- ◆ 今回は日程が合わず参加できません。悪しからず、ご了承くださいませ。
- ◆ 新宿区のためにいろいろ参加して協力したいと思いますが、予定が入っていて残念でたまりません。
- ◆ またこのような機会があれば参加したいと思います。
- ◆ 11/30までに立ち退きで10月中には転居の予定になっているため不参加とします。
- ◆ 土日が仕事の人もたくさんいますので参加したくてもできません。日程をゆとりのあるものにしていただければと思います。
- ◆ 現在ホテルでの仕事に従事しており、土日は休むことはできない状態ですので申し訳ございません。またの機会があれば参加したいと思います。

### (仕事)

- ◆ 今回娘宛にいただきましたが娘は現在海外で仕事しておりますので参加は不可能です。
- ◆ できれば出席したかったのですが、仕事が入っているので断念します。
- ◆ 1200人の中に選ばれながら参加できないのは残念です。仕事の都合で行けません。次回を期待しています。
- ◆ 土曜日も仕事のため参加できません。
- ◆ 土曜日も仕事ですので残念です。
- ◆ 現在仕事をしています。来年までの予定です。平成25年から自由になりますのでいろいろなことに参加したいです。

### (参加方法)

- ◆ インターネットを通じて自宅から参加できる形ですとよかったです。
- ◆ 討議以外の方法による区民の声を収集する機会を設けて欲しい、webでの意見を伝えられるなど、土日勤務なので参加が難しいです。

### (病気・要介護・体調不良)

- ◆本人は「要介護 4」で参加できる身体・頭脳は現在ありません。この設問も本人は理解と記入不可能のため代理記入しました。せっかく送りいただいたのにお役に立てず申し訳ありません。
- ◆要介護 3 のため参加不能
- ◆興味はありましたが自分は精神病のため長時間のこういった場が苦手でした不参加としました。無理をすればいけないこともないでしょうが、そこまでの興味ではありませんでした。
- ◆今まで病気一つしなかったのに 5 月に急に心臓病で入院手術しました。たくさん本を読んでまだいろいろのことを学びたかったのに残念です。

### (高齢)

- ◆高齢のため外出は難しい。
- ◆年齢を考えますと以後も 2 日間 10-17 時の参加には無理かと思われます。ご協力できず申し訳ありません。

### (育児)

- ◆ご案内いただきましたが、子どもの幼稚園行事が 22 日にあるために参加できません。機会がありましたらまたよろしくをお願いします。
- ◆子どもが小さいので託児があっても長時間は無理

### (討議会への期待)

- ◆区民討議会開催は非常にいい企画と思います。今後も区民との会話の機会を期待致します。
- ◆第二次ですと第一次は済んだであろうが、戦後民主主義は板についたようだな。すいぶん民主的な手続きですな。いっそのこと、区議会議員もこの方向で選出したら、無報酬で
- ◆このようなことは大変良いことです。健康な人はどんどん参加してほしいです。
- ◆区民が討議会に参加するのは非常に大事なことだと思います。今回は都合がつかず残念ですが、またこのような機会があることを望みます。
- ◆今回ご案内をいただいてこうした討議会があるのを初めて知りました。また機会があれば参加したいと思います。
- ◆区民討議会の開催を初めて知りました。もっと頻繁にやったらいいと思います。とても参加したかったです。

### (討議会のテーマ・内容)

- ◆テーマをもっと具体的に示すこと（例:安全な街づくり）今回のテーマはあまりにも抽象的すぎる、よくわからない。
- ◆実行計画、区民討議会についてホームページを見るようになっていますが、パソコンを使用しないので内容がわかりません。テーマを具体的に教えておいてほしいと思いました。
- ◆平日はフルタイムで働いているのでせっかくの土日に長時間拘束されるのはつらいです。また、テーマも具体的な内容がわからず難しい文言の羅列で何を話し合うのかまったくわかりません。たとえば・・・というような具体的なことが書いてあれば興味を持ったかもしれません。



- ◆ 説明文の中に簡単なテーマ等を記入してあると良いと思う。
- ◆ 「新宿区第二次実行計画策定」とは何か？その説明を行うことが肝要。何について討論を行うのか分からなければ参加する気持ちをかきたてることは難しい。
- ◆ 討議内容が具体的でない。
- ◆ テーマがあらかじめ決まっていて、自分の生活に密着しているものであれば参加し意見したい。
- ◆ もう少し具体的な情報を提示してほしい。

### (要望・関心事)

- ◆ 以前歩道橋のあったところの配慮として横断歩道をつけていただきたい（明治通り日本赤十字前）。
- ◆ 自転車よりも歩行者優先でバリアフリーの街づくりを希望します。
- ◆ 新宿区の行政計画の中身がよくわかっていないので出席しても意見がだせず聞いているだけではとめます。いろいろな事があるのでこのままで安全なのか心配しています。他国の人を多く見ることが多くなり、今後の街づくりには行政の方々の力が必要なのは。
- ◆ 区の意見をすいあげるのは良いことだと思いますが、子ども達やお年寄りに優しい区政であってほしいと思います。働くお母さんたちを支援する、保育所の充実などもよろしくお願いします。
- ◆ 「たばこ防止条例」を行っているが家の前や小道に吸殻を捨てている。大通りを注意してもそういうところにシフトしているだけなのではないか。
- ◆ 放射能は大丈夫なのでしょうか？新宿にはホットスポットはないのですか？
- ◆ 階段が多く老人には歩きにくいのでなんとかできないものなのでしょうか？
- ◆ 街灯をふやし明るい街にしてもらいたい（エコとは真逆になるがLEDなど使用して）
- ◆ ゴミのポイ捨てを減らす運動をしてほしい。
- ◆ 災害時に道路が狭くて心配です。火災が起きたら逃げられない気がします。

### (その他)

- ◆ 主人が該当しておれば意味があり残念でした。
- ◆ 転居したので区政のことはよく分からないが、今のところ不満はありません。出張所等にアンケートハガキがあると意見があるときに言い易い。
- ◆ 私のような平凡な主婦にはグループにわかれて意見を交換するなど役目は果たせません、あしからず。
- ◆ 週3日、シルバーセンターの仕事をしている。
- ◆ 60人分の謝礼や昼食代・・・参加者集めだけでもこれだけのお金をかけるものなんですか？税金を安く願う者にとっては空論です。
- ◆ 謝礼が高い。
- ◆ このような意義ある会に抽出頂き大変光栄に思っております。新宿が大好きで私も既に25年程居住させて頂いており、住めば住むほど新宿区に愛着を感じ嬉しく思います。どうぞ今後ともよろしくお願い致します。どうもありがとうございました。

## 資料7 区民討議会準備会委員名簿

小針 憲一	学識経験者 市民討議会推進ネットワーク事務局長 各地の市民討議会の開催支援 *準備会会長
長野 基	学識経験者 首都大学東京准教授 和光市「大規模事業検証会議」委員長など
吉田 純夫	学識経験者・専門家 市民討議会推進ネットワーク代表 各地の市民討議会の開催および支援
針谷 弘志	区職員委員（総合政策部企画政策課長）
松田 浩一	区職員委員（総合政策部副参事）
田中 雅美	区職員委員（総合政策部企画政策課長補佐）

---

## 第二次実行計画策定に向けた 区民討議会実施報告書

平成23年12月 発行

編集・発行：新宿区 総合政策部企画政策課  
東京都新宿区歌舞伎町1-4-1  
電話 (03) 3209-1111

印刷物作成番号  
2011-13-2101

この印刷物は、業者委託により600部印刷製本しています。その経費として、1部あたり735円(税込み)がかかっています。ただし、編集時の職員人件費や配送経費などは含んでいません。



古紙配合率70%再生紙を使用しています

